

SUITA CITY

吹田市景観まちづくり計画 — 2022 — ◆





目次

序章 計画改定にあたって

1 景観まちづくり計画改定の背景.....	3
2 景観まちづくり計画の位置づけ	7
3 景観について.....	8

第1章 吹田らしい景観の特性

1 吹田らしさをあらわす景観の特性.....	17
2 景域.....	35

第2章 景観まちづくりの目標と方針

1 本市の景観の将来像	41
2 景観まちづくりの基本目標と基本方針	42
3 景域別景観まちづくり方針	46

第3章 景観まちづくりの推進に向けて

1 推進方策	149
2 景観まちづくり計画の運用	154

参考資料

参考1 アンケート調査結果について	参考 1-1
参考2 審議会等名簿.....	参考 2-1
参考3 景観まちづくり計画改定の検討過程	参考 3-1

序 章 計画改定にあたって

- 1 景観まちづくり計画改定の背景
- 2 景観まちづくり計画の位置づけ
- 3 景観について

1 景観まちづくり計画改定の背景

(1)景観まちづくり計画改定の背景

景観まちづくり計画の策定

本市では、潤いがあり地域の特色ある景観づくりを総合的・計画的に推進するため、平成5年（1993年）に「吹田市都市景観形成基本計画」を策定し、安全性・利便性などとともに、美しさや快適さに配慮したまちづくりの取組を進めてきました。こうした中、平成16年（2004年）の景観法^{*1}制定を受けて、平成19年（2007年）に、地域らしさと潤いのある景観を形成し、快適な暮らしの環境の創造に資するとともに、市民、事業者、専門家等及び行政の協働による取組により、次代につなぐ良好な景観を「まもり、つくり、はぐくむ」ための基本的な方向性を示すものとして「吹田市景観まちづくり計画」を策定し、市民との協働により美しく魅力ある景観をもったまちとすることを「景観まちづくり」と位置付けました（以下、平成19年（2007年）策定の計画を「前計画」という）。

前計画に基づく景観に関する取組

前計画策定から10年以上が経過する中で、市内では、吹田操車場跡地における北大阪健康医療都市（健都）の整備やおおさか東線開通による南吹田駅開業、エキスポシティをはじめとする大規模な施設跡地の土地利用転換や千里ニュータウンの再生に向けた住宅団地等の建替えなど、様々な状況の変化がみられました。

本市は平成20年（2008年）に景観行政団体^{*2}となり、平成21年（2009年）4月に「吹田市景観まちづくり条例^{*3}（以下、「条例」という）」及び「吹田市景観まちづくり計画を推進するための景観形成基準^{*4}（以下、「景観形成基準」という）」を施行しました。

条例による届出は毎年250件程度あり、本市では吹田市景観アドバイザー会議を活用しながら協議を行い、景観に配慮した建築物等となるよう誘導を行ってきました。事業者に対して、景観形成基準に基づき色彩基準等の遵守を求めだけでなく、デザインマニュアルなどのツールを活用し、周辺と調和した計画となるように誘導してきました。

また、大規模な開発行為などの際には景観形成地区^{*5}の指定に向けた協議を積極的に行っており、吹田市景観まちづくり審議会への諮問を経て、令和3年（2021年）11月末時点で31地区を指定し、それぞれの地区の特性を活かしながら景観形成に関する基準を定め、良好な景観まちづくりを進めてきました。

その他にも、ガイドラインといった地域のルールづくりや、吹田市景観アドバイザー派遣制度、景観まちづくり活動補助金を活用した景観への取組支援、「吹田市景観まちづくり賞」や「吹田のいいでしょこのまち作品展」の実施など、良好な景観形成に対する誘導、支援、啓発などを継続的に行ってきました。

また、令和2年度（2020年度）には中核市への移行とともに「吹田市屋外広告物条例」を施行し、地域の特性や周辺と調和した屋外広告物となるよう規制・誘導を進めてきました。

今日の景観は、前計画に基づく多くの取組により、時間をかけて醸成された、たまものであり、良好な景観を次代につなぐため、今後も引き続き取組を続けなければなりません。

計画改定の背景

前計画策定から10年以上が経過する中で、市内でも少子高齢化の進展や、地球温暖化による環境問題の深刻化、インターネットやSNSといった高度情報社会の進展など、本市を取り巻く状況が変化してきており、本市においては吹田市第4次総合計画の策定、都市計画マスタープランの中間見直し、第2次みどりの基本計画の策定及び改訂など、上位関連計画の策定、見直しなども進み、本計画の改定においても、こういった状況の変化への対応や各種計画、施策などとの整合を図っていく必要があります。

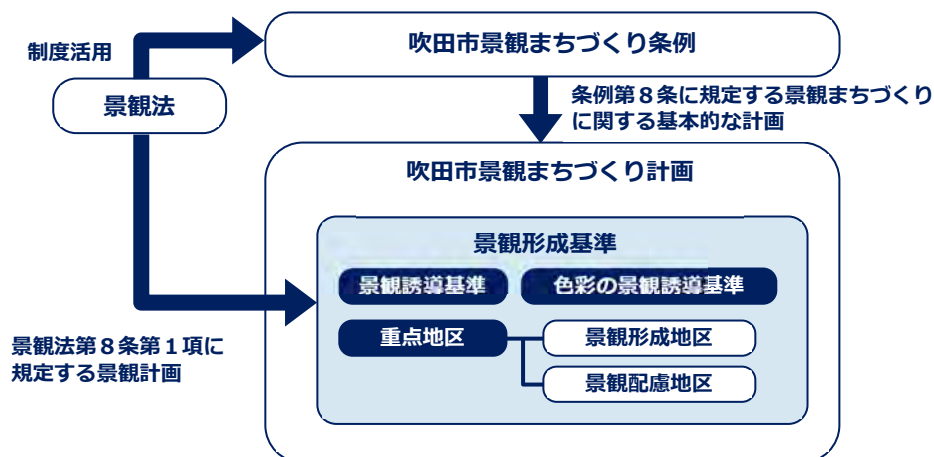
また、景観まちづくりは市民や事業者など一人ひとりが身近な通りや地域の景観をより良くしようとする取組の積み重ねであり、それらが市全体の景観の向上につながります。

そのため、これまで以上に市民や事業者との間で本市の景観の特徴や良さ、景観まちづくりの方向性を共有し、その実現を図っていくことが重要です。

景観まちづくりは時間をかけて持続的に取り組んでいくものであることから、前計画の理念や考え方は継承しつつ、上記の状況変化などを踏まえ、本市の景観まちづくりのより一層の推進を図るため、計画の改定を行うこととしました。

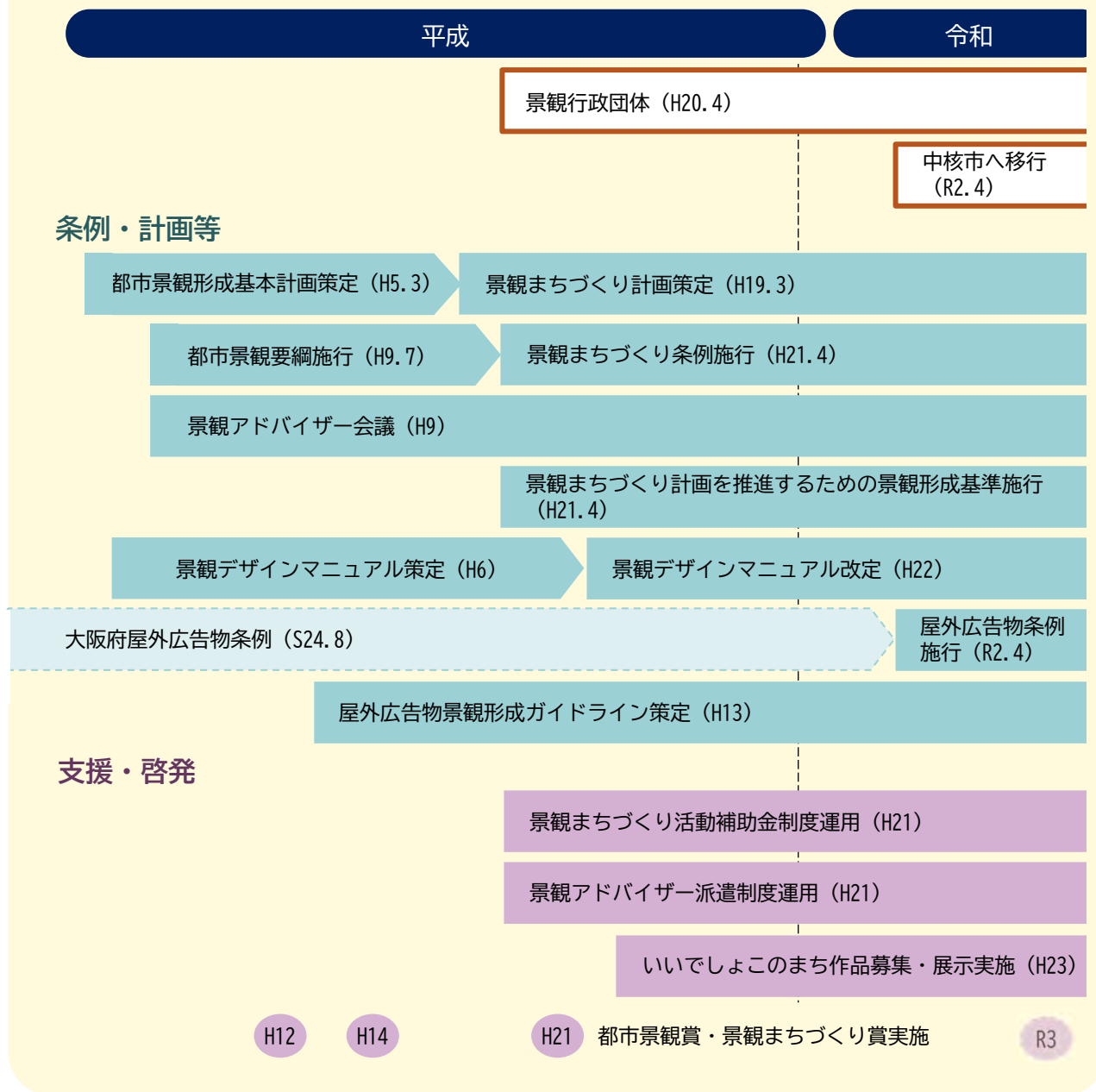
- *1 景観法：都市や農山漁村等において、良好な景観の形成に関する基本理念や国等の責務を位置づけ、景観計画の策定、景観計画区域及び景観地区等における規制及び支援等を定めた我が国で初めての景観についての総合的な法律。平成16年（2004年）に公布、施行。
- *2 景観行政団体：景観法第7条第1項に基づき、景観計画の策定等、景観法に基づく諸政策を実施することができる地方公共団体。
- *3 吹田市景観まちづくり条例：景観まちづくりに関する基本理念や施策の基本となる事項などを定めることにより、景観まちづくりを総合的かつ計画的に推進し、地域らしさと潤いにあふれ、次代に誇れる美しいまちをまもり、つくり、はぐくむことを推進するための条例。
- *4 吹田市景観まちづくり計画を推進するための景観形成基準：景観法第8条第1項に規定する景観計画として、景観計画区域及び良好な景観の形成に関する方針を定め、計画区域内の建築物の建築等、工作物の建設等、開発行為等について、届出・勧告を基本とする規制誘導を行うもの。

景観形成基準の位置づけ



- *5 景観形成地区：景観計画区域内で、特に重点的に良好な景観の形成を図る必要があると認める地区。土地所有者の意見を聴いて指定。

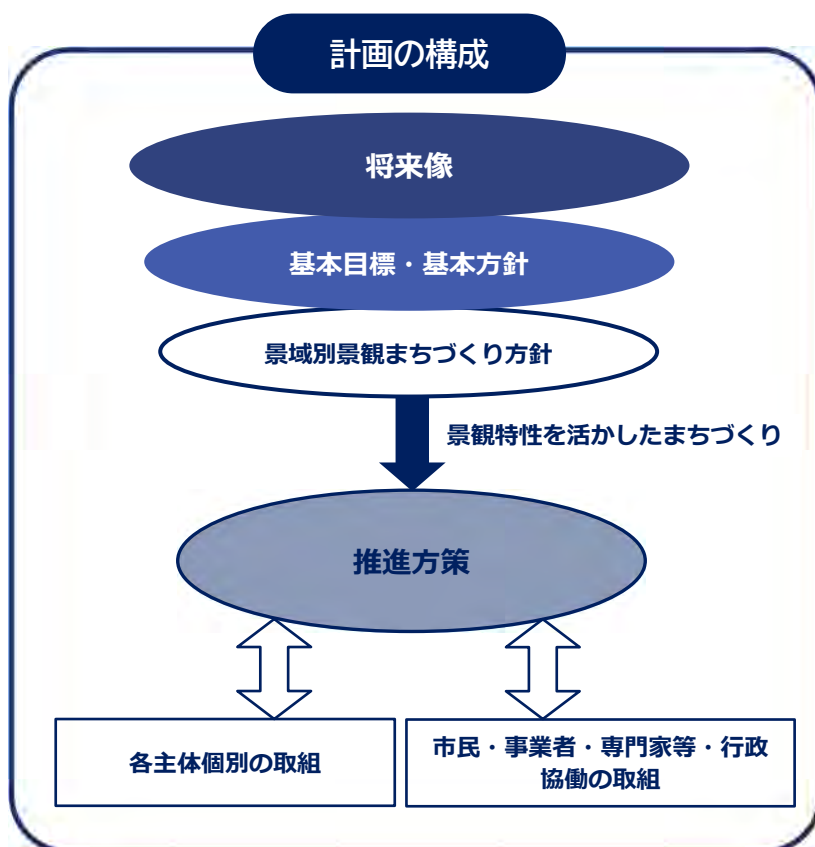
吹田市の景観まちづくりの主な取組



(2)計画改定の視点

本計画の改定は次の3つの視点に基づいて行います。

- 吹田の景観の特性を再確認します。
- 景観特性である「地形」、「歴史」、「土地利用」、「都市活動・暮らし」がおおむね共通する空間の範囲（景域）ごとに、景観まちづくりの方針を示します。
- 景観をより良くするための方策をわかりやすく示します。

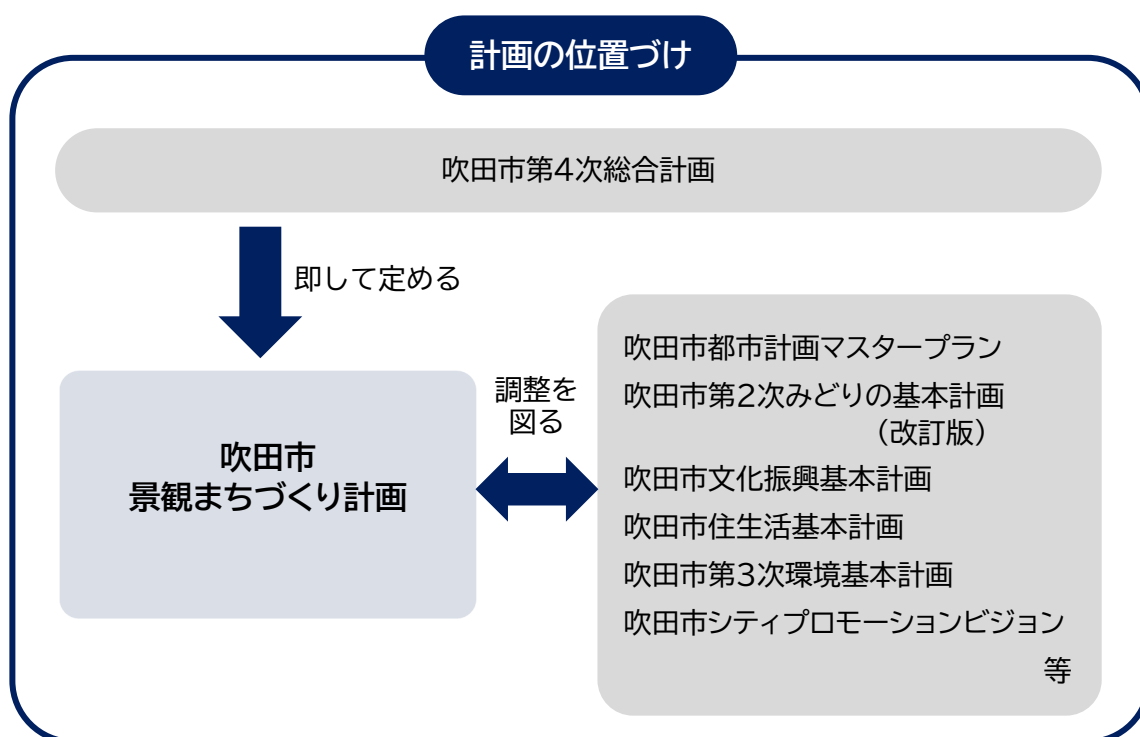


2 景観まちづくり計画の位置づけ

本計画は、吹田市第4次総合計画の将来像である「まちの魅力や強みをさらに高めながら、確実に将来世代へつなぎ、だれもが安心してすこやかで快適に暮らしつづけられるまち」の実現に向け、景観面からのまちづくりの基本的な方向性を示すものであり、各関連計画との調整を図り、定めるものです。

また、本計画を推進していくためには、様々な施策との連携による総合的なまちづくりを行うことが重要です。

景観は時間をかけて形成されていくものであるため、次代を見据えた長期的な視点での取組を基本とします。また、社会情勢の変化や土地利用状況の変化、総合計画・関連計画の見直しの状況により、必要に応じて本計画の見直しを行うものとします。



3 景観について

(1)景観とは

目で眺め、心にきざむ風景

景観とは、遠くの山並みや自然、まちを構成する建物など、私たちが眺めるまちの風景であり、そこにはその場所の歴史や地域の文化が表れています。

また、一日の生活の中でも朝起きて窓から眺める風景、職場や学校へと向かう道すがらの風景、仕事の帰りに家の灯りや街路灯などが温かい光で迎えてくれる風景などがあり、一年を通じた暮らしの中でも、桜をはじめとする花々や新緑が芽吹く春、祭りなど人々の活動が映える夏、色鮮やかな紅葉などを楽しめる秋、澄み渡った風景を感じられる冬など、景観は私たちの生活や体験にも密接に関係しているもので、心の中に広がる心象風景も景観の一つといえます。

体験するものであり、表現し、働きかけるもの

私たちが何気なく着ている服や、日常の様々な活動、人々の暮らしの様子も、景観を構成する要素であり、都市という空間を舞台として展開される人々の多様な活動が総合的に表現されたものを景観とすることができます。

私たちがまちの中で表現し、まちと人が相互に働きかけることを意識すれば、まちの中での体験も豊かになり、まちに対する愛着もいっそう強くなることでしょう。



千里山



千里南公園

私たちの敷地からつくり出せるもの

都市の中には、道路などの公的な空間と、建物の敷地などの私的な空間があります。私的な空間が公的な空間に触れる「境界」の領域は、多くの人の目に触れる機会が多く、景観に果たす役割が大きい重要な部分です。

つまり、敷地の中の建物や外構も景観の要素の一つであり、景観は、私たちの敷地からつくり出すことができるものといえます。

さまざまな要素が折り重なった総合的なものであり、地域らしさを表すもの

私たちが周りの風景を眺めるときは、目に入ってくる道路・建物・緑・人などを総体として捉えているように、景観は都市を構成するさまざまな要素が折り重なった総合的なものです。

そして、歴史やにぎわい、緑、眺望の良さといった、場所や地域の特性が高まると、「地域らしさ」が備わった景観となります。

個々の規模・形態・色彩などの要素が全体として調和することにより、それぞれの地域らしさが表現され、良好な景観をつくり出すことができるといえます。



円山町

市民共有の財産

景観は、道路や公園、建物など公共や民間の様々なもので構成されますが、まちのイメージや文化を表すものであるという意味で、極めて公共性が高く、市民共有の財産ともいえるべきものです。

今ある景観は、市民・事業者・専門家等及び行政が協働してはぐくんできたものであり、景観資源としてまちに関わる全ての人々が享受するものです。また、今後新たに建てられる建物などもその後長年に渡り地域の景観資源となっていく予定です。



健都ライブラリー

SDGs と景観

SDGs (Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)) の略称で、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標で、2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

SDGs というと、国や都道府県、市町村が行う施策と考える人もいますが、実は SDGs の考え方は、以下のように私たちの身近な景観まちづくりにも関わっています。

**地域のまちなみや雰囲気と調和したお店を見つける**

まちに調和した建物や看板の店をみつけたら、そこを訪れ、買い物をして支えることにより、良い雰囲気の店で構成された良好な景観が形成されていくことにつながります。

⇒ゴール 11.住み続けられるまちづくりを

職場が行う地域活動に参加し、地域の人と交流する

地域貢献の一環として職場が行う地域の清掃活動などに積極的に参加することにより、まちを綺麗に保つだけでなく、地域の人々との交流が生まれ、新しい活動（アクティビティ）が生まれていくことにつながります。様々な活動も景観を形づくる重要な要素です。

⇒ゴール 8.働きがいも経済成長も

庭木は 50 年後を楽しみに植える

家を建てる時、今の見映えの良さから大きな庭木を新たに植えてしまうと、すぐに敷地をはみ出し伐採しなければいけなくなるかもしれません。それより、家や住む人と一緒に成長していく過程を楽しむような樹木を植えることで、まちの景観も一緒にはぐくんでいくことにつながります。

⇒ゴール 12.つくる責任 つかう責任

(2)景観まちづくりとは

大規模な建物を建てることや、歴史ある景観を保全することだけでなく、一人ひとりが通りや地域の景観をより良くしようとする取組も「景観まちづくり」です。ひとつの影響はたとえ小さくても、この個々の取組が積み重なることで、景観は少しずつ、着実に良くなっていきます。

人々の暮らしと調和した、暮らしやすいまちをまもり、つくり、はぐくむこと

景観は人々のさまざまな営みの総合的表現であり、人々の暮らしの中に溶け込んでいるものといえます。そのため、良好な景観をつくることは、単に美しいだけでなく、朝から夜まで私たちが一日の生活を過ごす場所として、親しみのある快適な生活空間をつくることです。

心がなごむ、心地よさをもたらすなど、暮らしの中で心を豊かにする景観をまもり、つくり、はぐくむことが大切です。

地域らしさをまもり、はぐくむこと

歴史を感じさせる景観やにぎわいのある景観、落ち着いた住宅地など地域ごとの特色ある景観は、地域固有の自然条件をもとに、市街地形成や様々な活動や暮らしの営みなどの積み重ねによって形成されたものです。このような地域の特性を再認識し、地域らしさをつくり出している景観資源などの保全・育成を図ることが必要です。それぞれの地域らしさを踏まえたデザインを施すなど、地域らしさを活かした景観をまもり、はぐくむことで、さらに魅力ある良好な景観が形成され、良い状態で次代に引き継いでいくことができます。



内本町

市民、事業者、専門家等、行政が積極的に取り組むこと

良好な景観をはぐくむには、市民・事業者・行政のそれぞれが保有し管理する分野において、周辺と調和のとれた景観まちづくりを行うことが大切です。

また、これまでは行政による公共事業の実施や事業者による面的開発などによってまちづくりを進めてきましたが、都市が成熟してくる中で、生活や活動の主人公である市民や事業者、専門家等が景観面からのまちづくりに主体的に取り組み、行政と一緒に地域で景観を考え、協働して取り組んでいくことが大切です。また、共通の将来像の実現に向けて、それぞれの主体が積極的に個々の取組を行うことで、さらにその実現は確かなものとなります。

まちづくりとして、時間をかけてはぐくむこと

景観は、時間をかけて積み重ねることで形成されるものであり、次代を見据えた長期的視点で景観をまもり、はぐくむことが大切です。施設の新設や更新にあたっては、長期的評価に耐えうる良質な景観を形成するよう努めなければなりません。

そして、つくられた施設や空間の一つ一つをまもり、はぐくむこと、適切な維持管理を十分に行うことによって良好な景観を保っていくことが大切です。



第3回景観まちづくり賞表彰式

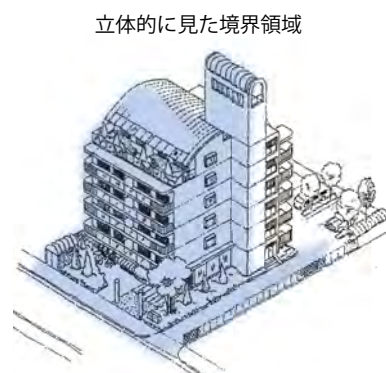
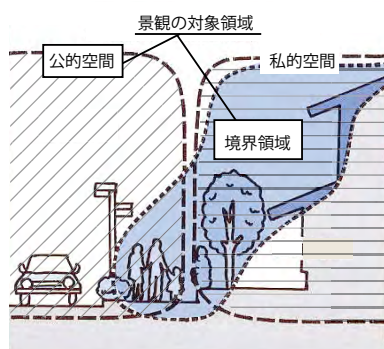
(3)景観の対象領域と捉え方

都市の空間は、所有関係によって「公的空間」と「私的空間」に大きく分けることができます。

公的空間と私的空間の接点部は景観形成上きわめて公共性が高く、重要な「境界領域」として分類できます。

景観は、道路や河川などの公的空間だけでなく、これらと接する塀や生垣、玄関・アプローチなどの敷際^{しきぎわ}*、建築物の屋根や外壁などの境界領域が重要な役割を担っています。

本計画では、この「公的空間」と「境界領域」を『景観の対象領域』としています。



また、景観は見る人の位置と対象とするものとの距離によって捉え方が異なります。身近に建築物などを見る「近景」、連なったまちなみが見える「中景」、そして遠くのまちなみを眺める「遠景」の三つです。景観形成においてはこれらの視点において『景観の対象領域』の連続性や調和を確認することが大切です。



* 敷際：道路などの公共空間に接する敷地のうち、通りなどから見える部分。

第1章 吹田らしい景観の特性

- 1 吹田らしさをあらわす景観の特性
- 2 景域

1 吹田らしさをあらわす景観の特性

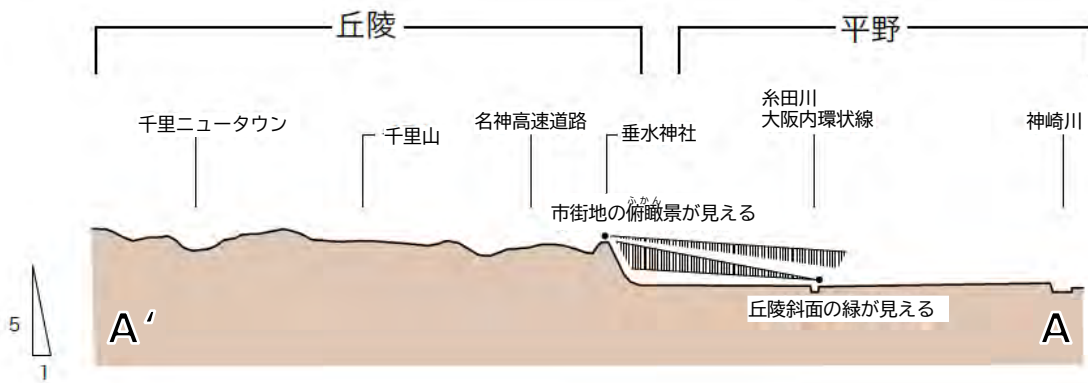
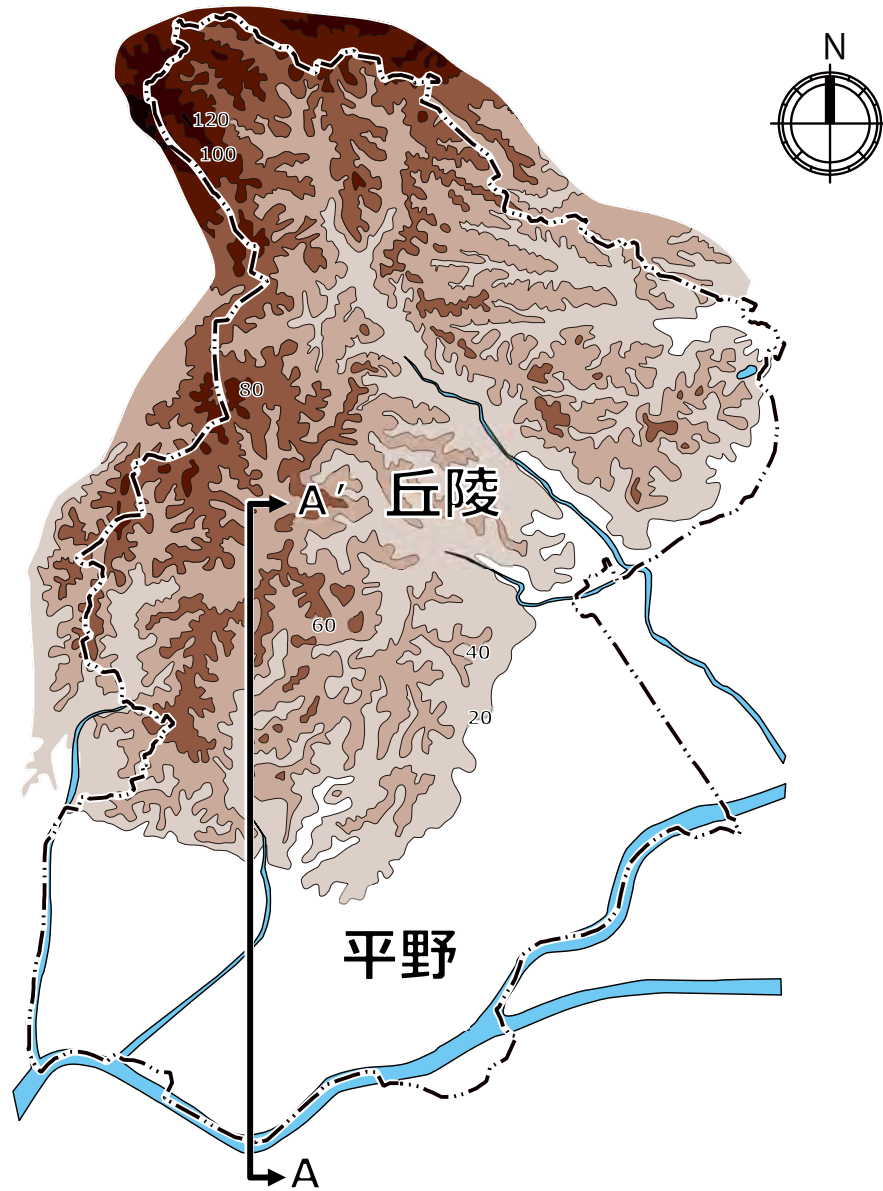
本市は北部の千里丘陵から南部の河川にいたる地形に変化のあるまちとなっており、これら地形の起伏や河川の流れが景観の基盤を形成しています。また、時代の流れとともに市街地が形成され、住宅地や商業地などの土地利用が図られてきました。都市の中では人々の様々な活動や暮らしの営みがみられ、これらが相まって吹田の景観特性をつくっています。

景観特性を捉える要素



(1)地形

吹田市の景観の基盤となる地形



A'-A 断面

■平野と丘陵からなる景観

本市の地形は、南部の標高 10m程度の低地部に流れる神崎川・安威川沿いの平野と、中央部から北部にかけて、かつて竹林や斜面の緑が豊かに広がっていた標高 20m～100m にわたる千里丘陵によって構成されています。

これら骨格的な地形により、「平野の景観」と「丘陵の景観」が形づくられており、平野の景観は、古くからまちなみが形成されてきた旧市街地で緑やオープンスペースの少ない傾向がみられ、耕地整理や土地区画整理事業によって都市基盤が整備された地域では、通りの先まで見通すことができる整然とした景観になっています。また、丘陵の景観は、千里ニュータウン地域が大半を占め、計画的に市街化されたところが多く、起伏に富み高台からの緑豊かな見晴らしに優れ、地形を活かしてつくられた勾配のある道路が変化のある景観をつくり出しています。千里丘地域では、眼下に平野のまちなみが広がり、建物の屋根越しに市街地や集落を見渡すことができ、吹田らしい景観を楽しむことができます。



千里丘



南金田

■おだやかな河川の流れが織りなす潤いのある空間

本市の南端部を東から南西、大阪湾へと流れる神崎川や安威川沿いには、起伏の緩やかな平坦地が広がり、また、丘陵からは高川や糸田川、山田川などの中小河川が流れています。

橋の上からの眺めは、見通しが良く、特に高浜橋は、神崎川と安威川の合流する様子や美しい夕日が眺められ印象的です。また、その橋も、欄干や欄柱、照明灯などのデザインを楽しむことができ、夜にはライトアップされ、橋そのものの眺めも景観の一つの構成要素となっています。水辺の景観は、水の音や水面のきらめきなどから涼しさや心地よさが感じられ、市内に多くの河川が流れている吹田らしい景観の特徴といえます。



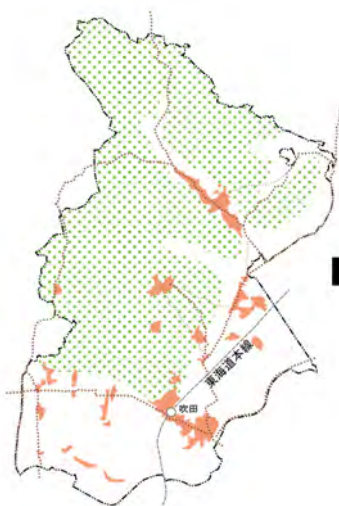
神崎川・安威川

(2)歴史

本市の市街化は、神崎川・安威川沿いに水陸運の中継点として形成された高浜町・南高浜町周辺、旧街道や河川沿いなどに発展した山田・佐井寺・榎坂・岸部などの旧集落を母体としながら、明治期に内陸型工場の立地が進み、大正期には国鉄（現JR）の吹田操車場や千里山における郊外型住宅地の開発などにより南部から中部にかけて進みました。

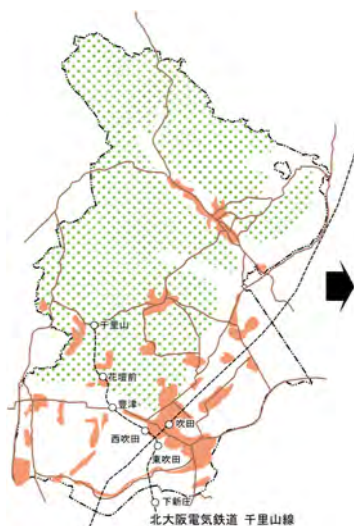
- 平野部の道沿いや山田川沿いなどを中心に集落があり、現在も歴史的なまちなみが残されています。これら集落以外には、農地や林地などが広がっていました。
- 明治9年（1876年）の大阪～京都間の鉄道開通により、国鉄吹田駅が開業しました。当時の駅舎は、アサヒビール吹田工場正門前あたりにありました。

明治時代

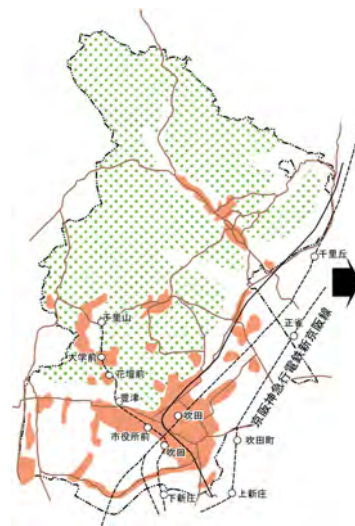


- 昭和15年（1940年）に当時の吹田町と岸部村、千里村（ちさとむら）、豊津村が合併し吹田市が誕生しました。
- この頃に国鉄吹田駅を中心とする市街地が拡大し、また大正時代に大阪市から移転してきた関西大学周辺でも新たな市街地が広がり、人口も大きく増加しました。

大正時代



昭和時代・初期



※緑地の分布状況は、1/50,000地形図(国土地理院発行)をもとに概ねの位置を図示している。

- 大正13年（1924年）に国鉄吹田駅は現在の位置に移転し、駅前に形成された商店街は北摂随一の商店街と言われ、遠方からの買い物客でにぎわいました。
- 国鉄吹田操車場や千里山の郊外型住宅地開発等により、市南部から中部の市街化が進みました。
- 千里山では、田園住宅都市開発という目標のもと、西洋式のまちづくりが行われました。

第1章 吹田らしい景観の特性

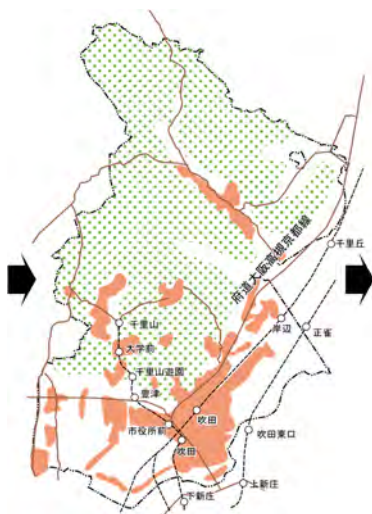
1 吹田らしさをあらわす景観の特性

昭和30年代からは、北部では千里ニュータウンの開発を始めとする市街化や、南西部では南吹田地域の土地区画整理事業などにより、全市域にわたって急速に市街化が進みました。昭和50年代からは、国鉄吹田駅前第一種市街地再開発事業が行われ、平成にかけては佐井寺東、南、北の各地区の土地区画整理事業の実施により、現在では全域が市街地となっています。

- 昭和30年頃まで市街地は現在のJR吹田駅と阪急電鉄千里線沿線が中心となっていました。以降、各地で宅地開発が進められ、下新田村および山田村との合併もあり、人口は8万人を超えるようになりました。
- これら広がった市域が、千里ニュータウンや日本万国博覧会（大阪万博）、大学などの用地として活用され、新しい時代の基礎となりました。

- 佐井寺北地区や高塚緑住地区等の土地区画整理事業をはじめとしたまちづくりが進み、市域全体に市街地が広がりました。
- 吹田操車場跡地は市街地の整備を進め、平成27年（2015年）に北大阪健康医療都市（健都）と名付けられました。平成30年（2018年）に市立吹田市民病院、令和元年（2019年）に国立循環器病研究センターが移転開業しました。
- 平成31年（2019年）には南吹田駅が開業しました。
- 大規模な開発行為などへの景観形成地区の指定を行い、31地区（令和3年（2021年）11月末時点）を指定しています。

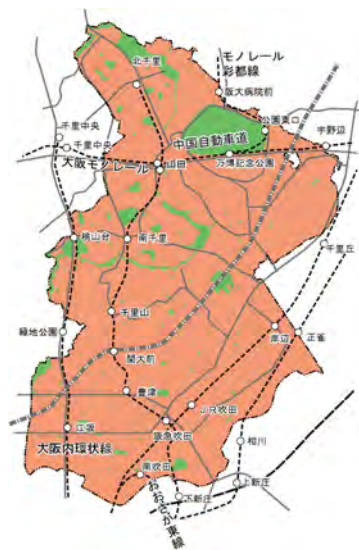
昭和時代・戦後



昭和時代・高度経済成長期



平成時代～現在



- 昭和36年（1961年）に開発が始まった千里ニュータウンでは、中高層住宅地や戸建住宅地が計画的に配置されました。
- 市南西部などにおいて土地区画整理事業の実施により、道路や公園が整備されました。
- 昭和45年（1970年）の日本万国博覧会（大阪万博）を契機としてまちづくりの機運はさらに高まりました。国鉄吹田駅前第一種市街地再開発事業もこの時期に実施しています。

歴史を伝える景観

●人々の営みの中で作られてきた都市の景観

景観は「目で見える環境」と言われます。私たちのまわりを取り巻くもの全てが環境ですが、そのうち目に見えるものが景観です。都市の環境は、目に見えるものだけでも地形の高低差や河川、樹林などの自然の環境、道路や公園、建物などの構造物をはじめ様々な要素で構成されています。自然の環境であっても人の手が加わっている場合がほとんどでしょう。人を取り巻く環境は人がつくってきたともいえます。

都市には歴史があります。歴史とは人々の営みの経過のことです。人々の営みの中で環境がつくられ、景観が作られてきました。景観の背景には歴史があって、景観から歴史を読み解くこともできるのです。



現在の景観には各時代の歴史が積み重なっている（佐井寺）

●吹田の歴史を振り返れば

古代の大規模な瓦窯があって…、中世には吹田城が築城され…、近世には水運や街道など交通の要衝で…、近代にはビールと鉄道のまちと呼ばれ…、高度経済成長期には千里ニュータウンが建設、日本万博博覧会も開催され…。こうした吹田の歴史はみなさんもよくご存知のことでしょう。各時代の痕跡は現在の景観に表れています。



地域の人々の暮らしを見守ってきた噴水（千里山）

●身近なところにある歴史と景観

市史に掲載されるような吹田市全体にとって重要な歴史でなくても、個人の思い出と結びついているような身近な歴史もあります。卒業式の日々に記念写真を撮った小学校の校門は今も変わらずにあるとか、少し前まで農地が残っていたところにいつのまにかマンションが建っている…などなど。身近なところにも歴史があって、それを伝える景観が見つかります。



マンションの擁壁に刻まれた上の川旧水路をモチーフとしたデザイン（垂水町）



泉殿宮の参道口の鳥居の跡（西の庄町）

(3)土地利用

本市は、旧集落や丘陵地の住宅、工業のまちから発展し、現在では商業施設や業務施設、大学なども多数立地した学術文化のまちとしての性格も備わっています。

全体的には、生活を中心とした便利で住みやすい複合型都市であり、住宅地を中心に、駅前などにある商業・業務地、河川沿いなどの工業地、複数の鉄道路線や幹線道路が市内を通り、市民の憩いの場として親しまれる公園や緑地など、景観においても複合型の都市が形成されています。



北千里駅周辺



江坂駅周辺

■住宅地

市全域にわたって住宅地が広がっており、計画的に開発された千里ニュータウンをはじめ、駅前再開発や土地区画整理事業による市街地の形成が図られ、整備された区域は市域の約三分之一を占めているほか、古くからのまちなみが形成されてきた旧市街地など、多様なまちなみがみられます。千里ニュータウンでは、整備後50年余りが経過する中で、再生の取組が進められ、ニュータウンらしい開放感を活かした団地の建替えや民間マンションの建設が行われています。

また、令和12年度（2030年度）の完成を目標として、佐井寺西土地区画整理事業が施行されるなど、新たなまちづくりの動きも続いています。



竹見台

第1章 吹田らしい景観の特性
1 吹田らしさをあらわす景観の特性

■商業・業務地

J R吹田駅周辺においては地域に根付いた商店街、万博記念公園や岸辺駅周辺などにおいては大型の商業施設などが立地し、広告物や照明などによって日常的なにぎわいのある景観を形成しています。

江坂駅周辺は、交通利便性の高さから、様々な業務施設が集積したオフィス街として多くの人が集まり働く場となっています。飲食店を含む店舗ビルも多く立地し、個性的な建物や屋外広告物のデザインを楽しむこともできます。

岸辺駅北側の吹田操車場跡地において、北大阪健康医療都市（健都）の開発が行われ、平成30年（2018年）より各種施設が開業しています。



J R吹田駅南口

■工業地

市内の生産施設は、主にJ R東海道本線や神崎川沿いに多く立地しており、規模の大きな生産工場や全国トップシェア企業が集積しています。これらの企業では、壁面の広告物の工夫により、さりげなく事業のPRを行うなど、景観への配慮がみられます。また、道路や鉄道といった交通基盤が充実している強みを活かした物流拠点も形成されています。



アサヒビール吹田工場

■鉄道網や幹線道路

本市は、JR東海道本線・おおさか東線、大阪メトロ御堂筋線、北大阪急行電鉄、阪急千里線・京都線、大阪モノレール本線、大阪モノレール彩都線といった複数の鉄道路線が市内を通り、15の旅客駅と1つの貨物ターミナル駅が設置されています。また、名神高速道路、中国自動車道、近畿自動車道といった高速道路のほか、大阪高槻京都線や新御堂筋（国道423号）、大阪中央環状線、大阪内環状線（国道479号）等の広域幹線道路が縦横に整備され、交通の要衝となっています。これら道路や鉄道などによる交通の軸は本市の景観の骨格となり、丘陵や河川などによる自然景観に変化を与えるとともに、本市の景観に活気やにぎわいなどをもたらしています。また、市内には街路樹等により特徴的な景観をもち、道路愛称のある道路が24路線あり、市内各所で通りの景観を演出しています。



新御堂筋

■公園・緑地

丘陵には、万博記念公園をはじめ千里緑地や大阪大学などのまとまった緑が分布しており、平野と丘陵の境となる千里丘陵のふもとには、紫金山公園や垂水神社などがあります。また、平野には江坂公園や味舌水路など多くの公園や緑地が整備され、神崎川や安威川も貴重なまとまった緑空間を形成しています。民間企業などにおいても緑空間やオープンスペースなどを確保し、地域に潤いを与えています。



紫金山公園



アメニティ江坂

第1章 吹田らしい景観の特性
1 吹田らしさをあらわす景観の特性

吹田市の土地利用区分



(4)都市活動・暮らし

本市は全域が市街化されており、市内の至るところで市民だけでなく市外から通勤、通学、買い物などに訪れる人々による様々な活動や営みが日々展開され、それらが景観を構成する要素になっています。「暮らす」、「働く」、「学ぶ」、「楽しむ」、「自然と眺望を味わう」に分けて、都市活動や暮らしをみていきます。

■暮らす

市内には、千里ニュータウンなどの計画的に整備された住宅地や、古くからまちなみが形成されてきた旧市街地などがあり、それぞれの住宅地において近所を散歩する人や、公園で遊ぶ人、スポーツする人、買い物をする人など、多様な暮らしが営まれています。

日常的な利便性の高さなどを活かした暮らしや、近年では「スマートシティ」といった、再生可能エネルギーの有効活用などに力を入れたスマートな暮らしをめざす動きがあります。



江坂公園

第1章 吹田らしい景観の特性
1 吹田らしさをあらわす景観の特性

■働く

江坂駅周辺をはじめ、オフィスビルが建ち並ぶ駅前等では、通勤や休憩時間帯などオフィス街ならではの景観がみられます。

商店街などに立地する路面店舗や開放感のある業務施設などにおいては、人々の働く姿や行き交う様子を見ることができ、まちの活気やにぎわいがあります。



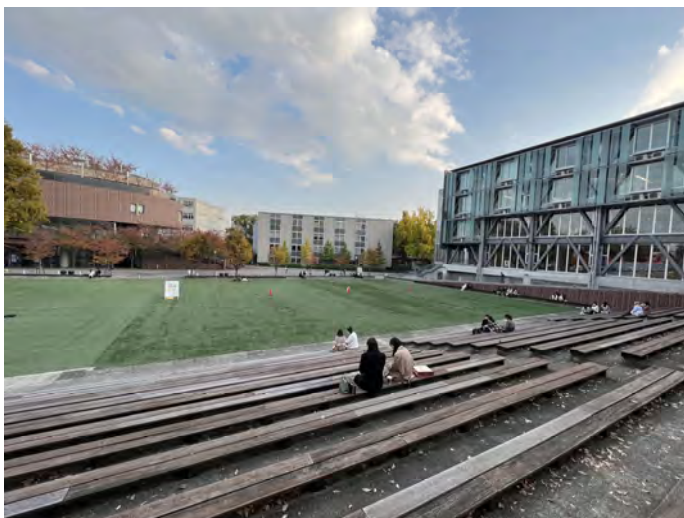
江坂

■学ぶ

市内には5大学（大阪大学、関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学）、1研究機関（国立民族学博物館）が立地しており、それらの敷地を合わせるとその規模は約120haと、市域の約3%に相当する面積となります。

市内の大学生数は大阪府で最も多く、それぞれのキャンパスでは学生が勉学やスポーツに励む姿がみられるとともに、学生が地域のまちづくり活動に参加したり、公開講座などにより市民が各大学を訪れたりする姿も多くみられ、大学の周辺には学生向けの店が連なるエリアもあり、若者ならではのまちのにぎわいがあります。

また、市内には図書館やスポーツ施設、文化施設など気軽に利用できる生涯学習施設があり、多くの人々が日常的に利用しています。



関西大学

■楽しむ

万博記念公園周辺には、商業施設や大規模なスタジアムが立地し、週末などには広域から多くの人々が訪れ、にぎわいを形成しています。また、JR吹田駅周辺の地域など、古くから店舗が集積する地域においても、地元住民によるイベントが行われるなど、市内外から多くの人を呼び込む魅力的なまちが形成されています。

山田伊射奈岐神社の太鼓神輿、吉志部神社の例大祭（秋祭り）など古くからある社寺では年間を通じて多様な祭事が執り行われており、地元住民などが訪れ楽しむ姿がみられます。

また、昭和45年（1970年）から毎年夏に行われ、市民全体が盛り上がるイベントである吹田まつり（令和2年（2020年）から「すいたフェスタ」に名称変更）、各地域での盆踊りや納涼祭などが開催され、多くの人々が季節ごとに各地でハレの日を楽しんでいます。



エキスポシティ

■自然と眺望を味わう

万博記念公園などまとまった緑のある空間や、紫金山公園など、市内には身近に自然に触れ、楽しめる場所があり、親子連れなど多くの人を訪れ、自然を楽しみながらくつろぐ姿がみられます。

千里ニュータウンの幹線道路は広々として見通しもよく、遠方の箕面山系や周囲の住宅群などが街路樹などの緑と調和して見え、美しい通りの景観が楽しめます。

河川沿いではジョギングやサイクリングを楽しむ人、犬の散歩をする人、川風に当たりながら川の眺めを楽しむ人などの姿がみられ、特に神崎川沿いでは、美しい夕日や夜景を眺めることができます。



万博記念公園

眺望

●距離による景観の見え方の違い

視点から対象までの距離は、景観の見え方に影響する大事な要素です。対象までの距離によって、近景・中景・遠景に分けられます。

「近景」は樹木や住宅の個々の特徴が把握できる距離、「中景」は個々の特徴までは分からないものの風景のまとまりとして把握できる距離、「遠景」は高層の建物や稜線などの地形のアウトラインが際立つ距離とされています。

●丘陵から「見下ろす」眺望と平野から「見上げる」眺望

眺望は、数 100 メートルから数 10 キロメートルもの距離にある対象を眺める景観であり、中景～遠景にあたります。

吹田市は北部の千里丘陵と南部の神崎川・安威川へと広がる平野による、変化に富んだ地形を有しており、市内の様々な場所から眺望の景観を楽しむことができます。



丘陵端部に位置する住宅地（円山町）からの市街地を「見下ろす」眺望



平野にある市街地（垂水町）から丘陵斜面の緑を「見上げる」眺望

●移動しながら眺める景観

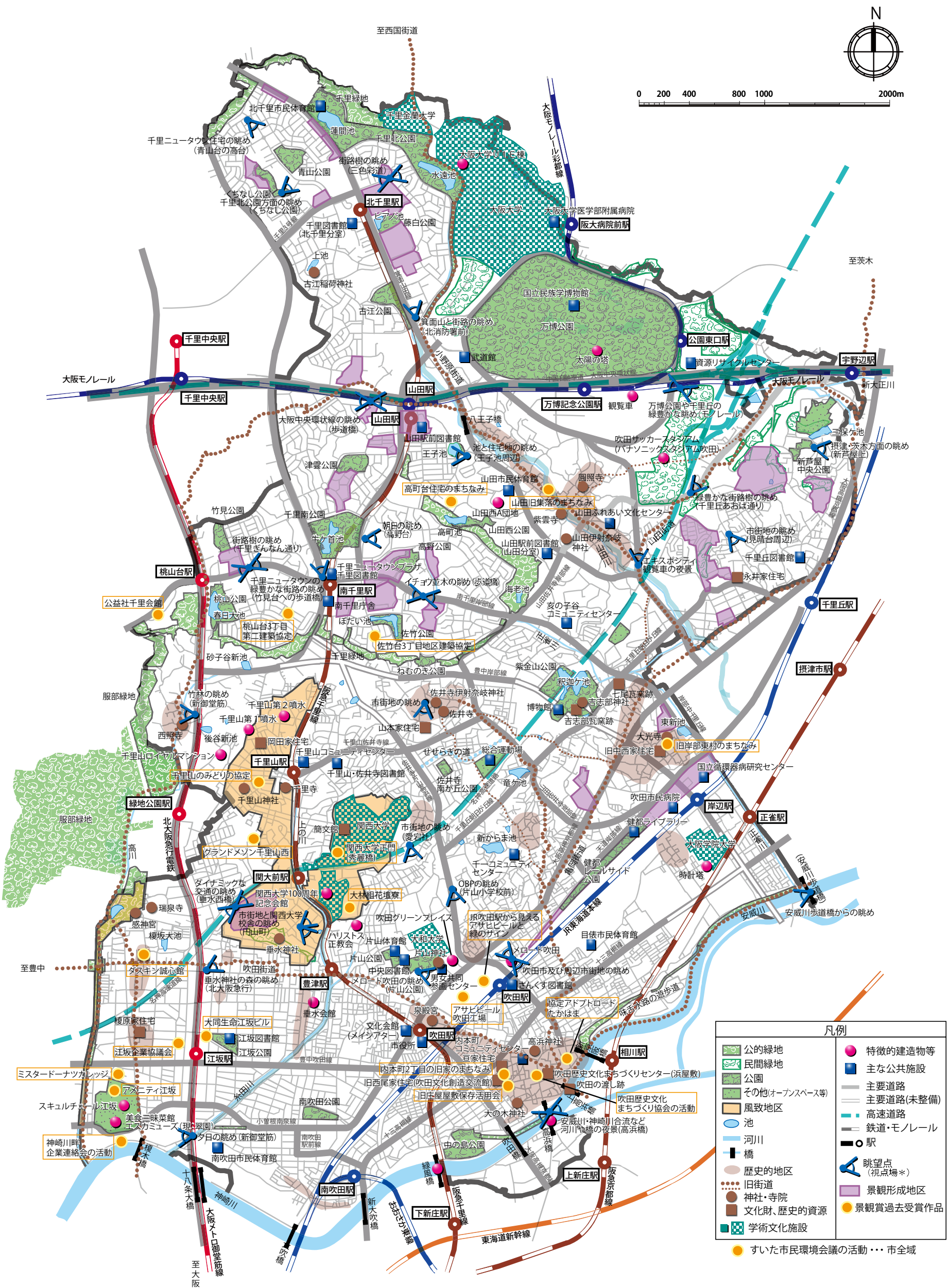
普段の生活で、歩きながら、車を運転しながら、電車に乗りながら、移り変わっていくまちなかの風景を眺めることはないでしょうか。

曲がりくねった路地裏を散策するときの期待感、モノレールに乗っている時に遠くに見えた太陽の塔がだんだん近づいてくる時の高揚感など、風景に動きがあることで豊かな体験が生まれます。見る人が移動することで変わっていく風景の時間的なまとまりは「シークエンス景観*」とよばれるもので、これも景観の一部なのです。

* シークエンス景観：視点を移動させながら次々に移り変わるシーンを継続的に体験する景観。道路からの自動車等や電車の車窓からみる景観のことをいいます。

第1章 吹田らしい景観の特性
1 吹田らしさをあらわす景観の特性

市内の景観資源



(令和3年(2021年)11月末時点)

*視点場:視点が位置する場所のうち、主に道路や公園など公共性の高い場所を示します。車両等の移動する視点場も含まれます。

2 景域

(1)景域とは

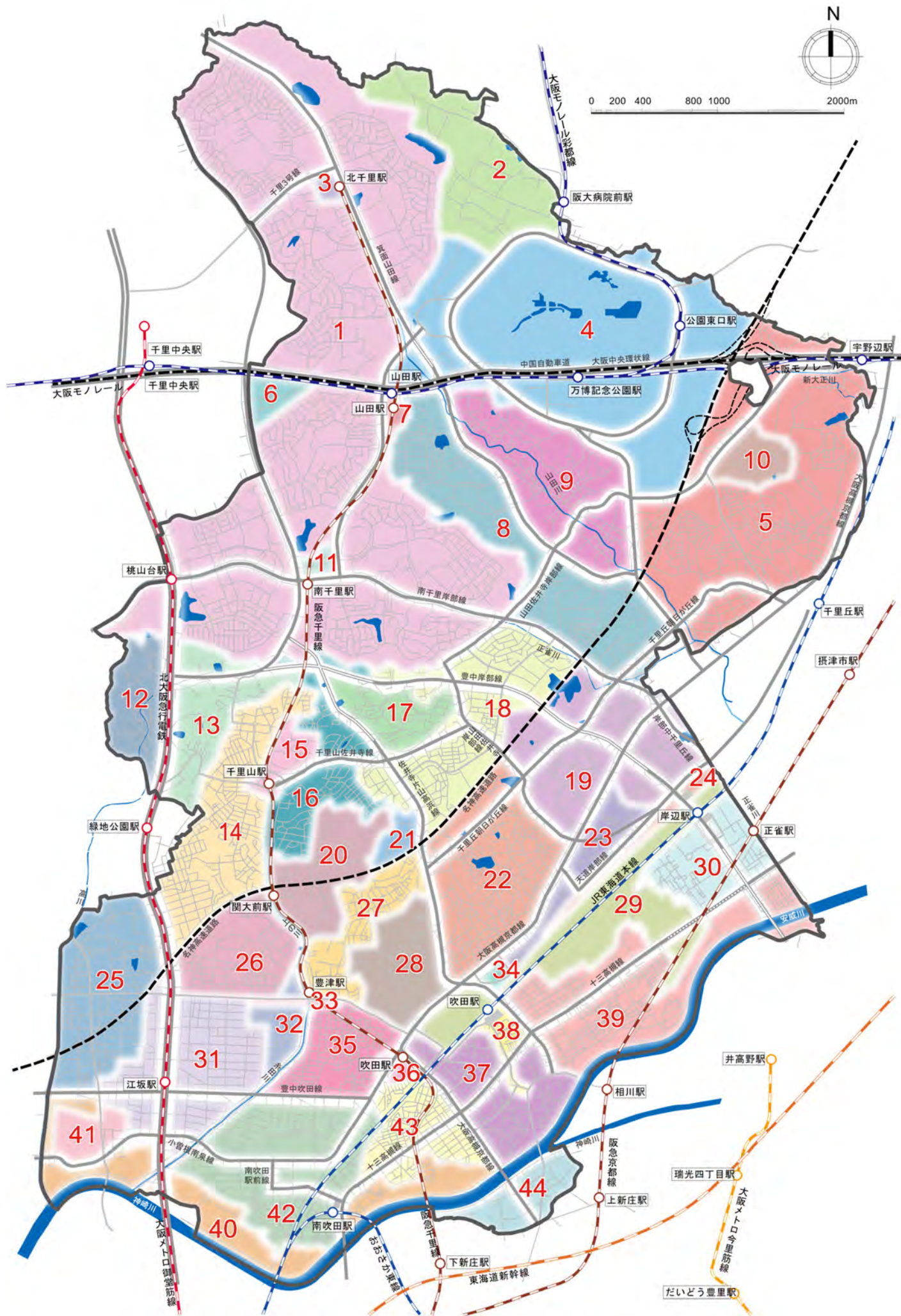
本市の4つの景観特性である「地形」、「歴史」、「土地利用」、「都市活動・暮らし」がおおむね共通するひとまとまりの空間の範囲を、本計画では「景域けいいき」と呼びます。

本計画では、市全体を対象とする景観特性と景観まちづくりの方針を示すとともに、景域毎の特性に応じたより細やかな方針を示します。

景観特性を捉える要素



市内の景域



(令和3年(2021年)11月末時点)

景域番号	景域の名前	景域番号	景域の名前	景域番号	景域の名前	景域番号	景域の名前
1	千里ニュータウン界隈	13	千里山竹園界隈	25	江坂町界隈	37	内本町・南高浜町界隈
2	大阪大学界隈	14	千里山西界隈	26	円山町界隈	38	JR吹田駅南口界隈
3	北千里駅界隈	15	千里山駅東側界隈	27	山手町界隈	39	JR以南(東部)界隈
4	万博記念公園界隈	16	千里山東界隈	28	出口町・片山町界隈	40	神崎川沿い(南吹田の工業地)
5	千里丘界隈	17	佐井寺界隈	29	吹田貨物ターミナル駅・吹田機関区界隈	41	芳野町界隈
6	津雲台7丁目界隈	18	佐井寺南・五月が丘界隈	30	岸部南界隈	42	南吹田駅界隈
7	山田駅界隈	19	岸部界隈	31	江坂駅界隈	43	JR以南(西部)界隈
8	山田西界隈	20	関大前駅界隈	32	垂水町2丁目界隈	44	東御旅町・西御旅町界隈
9	山田東界隈	21	上山手町界隈	33	豊津駅界隈	45	幹線道路・鉄道沿線
10	千里丘界隈(ミリカセンター跡地)	22	原町・朝日が丘町・藤が丘町界隈	34	JR吹田駅北口・片山商店街界隈		
11	南千里駅界隈	23	岸部中・片山町界隈	35	泉町界隈		
12	春日界隈	24	北大阪健康医療都市界隈	36	阪急吹田駅界隈		

景域を定める景観特性は時間の経過とともに変化していくものも含まれるため、それらに伴い、今後、景域も変わっていく可能性があります。

第 2 章 景観まちづくりの目標と方針

- 1 本市の景観の将来像
- 2 景観まちづくりの基本目標と基本方針
- 3 景域別景観まちづくり方針

1 本市の景観の将来像

住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人のすべてに快適な都市空間の実現を図るため、地域の特性を活かし、市民、事業者、専門家等、行政がそれぞれの役割のもとで、景観に関する取組を積み重ねるとともに、互いに協働して良好な景観をまもり、つくり、はぐくむことに努めます。

吹田市景観まちづくり条例の「地域らしさと潤いにあふれ、次代に誇れる美しいまち」を本市の景観の将来像とし、市民共有の財産として、景観の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりを進めます。

吹田市がめざす景観の将来像

地域らしさと潤いにあふれ、
次代に誇れる美しいまち

2 景観まちづくりの基本目標と基本方針

将来像を実現するため、次のとおり基本目標を設定し、それら目標を達成するための道筋として、目標ごとの基本方針を示します。

基本目標

(1)地形を活かした「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

市南部から北部にかけて河川、平野、丘陵と移り変わっていく本市の地形上の特性を活かした、緑豊かで、潤いのある景観をまもり、はぐくむとともに、身近な場所においても緑化を進めるなど、潤いのある景観をつくり、はぐくみます。

(2)市民がまちを住みこなす*1 ことによる「生きる景観」*2 をまもり、はぐくむ

市民が主体的に周辺の景観に対して考え、自らまちに働きかける能動的な住み方をすることにより、いきいきと生きていることが実感できる、魅力ある「生きる景観」をまもり、はぐくみます。

(3)景観の特性を尊重した「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

本市の景観をより魅力あるものにするために、景域ごとの景観の特性を尊重し、調和の中にも個性がある景観をつくり、はぐくみます。

*1 住みこなす：地域や自らの活動を取り巻く周辺環境への働きかけに能動的に取り組むこと。定住することだけでなく、学ぶ、働く、楽しむなど様々なシーンにおける働きかけを含みます。

*2 「生きる景観」：人々の日常生活の中で身近にみられるまちの景観であり、特にいきいきと生きていることが実感できる個性や魅力ある景観のことをいいます。

基本方針

(1)地形を活かした「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

緑の保全と育成を進めます

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

潤いのある水辺景観の育成を進めます

- 水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

共生の景観保全・整備を進めます

- 多様な生物と共生できる環境の保全に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

(2)市民がまちを住みこなすことによる「生きる景観」をまもり、はぐくむ

良好な住環境の保全・育成を進めます

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。

歴史的な景観の保全・整備を進めます

- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の^{みち}径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。

いきいきとした暮らしの舞台となる景観づくりを進めます

- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

(3)景観の特性を尊重した「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

地域に調和するまちづくりを進めます

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 道路・鉄道の遮音壁や高架下、線路周辺の緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。

シンボルとなる景観を創造します

- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。

特徴ある景観の活用・演出を進めます

- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。

- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

夜間景観

景観は昼だけに目にするものではなく、わたしたちは夜も戸外で景観を目にしています。例えば、会社や学校帰りに通る道の風景、ショッピングや外食などに出かける時のまちの風景などです。吹田市内には、暮らしの場や買い物、働く場所、学ぶ場所など様々な場所があり、夜間景観も多様です。

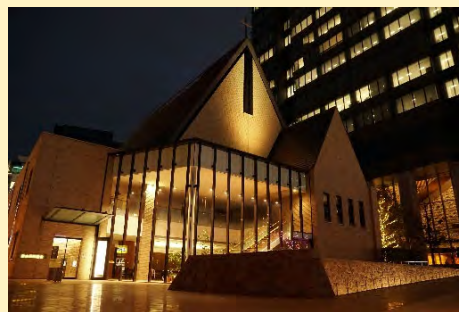
家に帰る時には、温かく優しい光の演出があると、ほっとするような気持ちになりますし、夜に外出するときには、陰影が意図された魅力的な光などにワクワクする気持ちになるでしょう。

屋外空間の照明をデザインすることで、「駅から家に帰る時に通りたくなる道」「夜のお出かけの待ち合わせがしたくなる場所」など、アクティビティに選ばれる空間になり、そんな魅力的な空間が増えれば、吹田の夜のアクティビティ全体が豊かになっていくかもしれません。また、神社など地域の資源をライトアップすることで、地域のシンボルとしての存在感を演出することもできます。

何を照らすか（建物、樹木など）、どんなふう to 照らすか（全体を明るく照らす、一部を照らして陰影を強調する）など、様々なデザインの工夫が可能です。



ワクワクするような光に包まれた商業施設の例



教会をライトアップしている例

3 景域別景観まちづくり方針

それぞれの場所に適した景観まちづくりを進めるため、第1章で示した景域ごとに、景観特性を整理し、景域別の景観まちづくり方針を示します。

景観まちづくりを進める手順

■景観まちづくりの将来像、基本目標、基本方針を意識する

景観の将来像

地域らしさと潤いにあふれ、
次代に誇れる美しいまち

景観まちづくりの基本目標・基本方針

「潤いのある景観」を
まもり、はぐくむ

- ・緑の保全と育成
- ・潤いのある水辺景観の育成
- ・共生の景観保全・整備

「生きる景観」を
まもり、はぐくむ

- ・良好な住環境の保全・育成
- ・歴史的な景観の保全・整備
- ・いきいきとした暮らしの舞台となる景観づくり

「調和と個性のある景観」を
つくり、はぐくむ

- ・地域に調和するまちづくり
- ・シンボルとなる景観を創造
- ・特徴のある景観の活用・演出

■景域別景観まちづくり方針を確認する

景観特性

地形

歴史

土地利用

都市活動・
暮らし

景観まちづくり方針

「潤いのある
景観」

「生きる
景観」

「調和と個性
のある景観」

公共空間との
関係

周辺からの
見え方

周辺の
景観資源

■景観まちづくりを進める

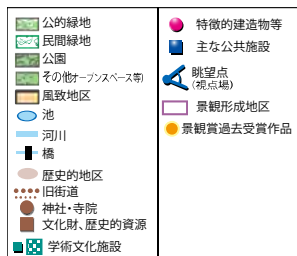
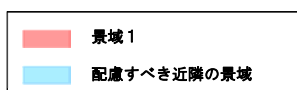
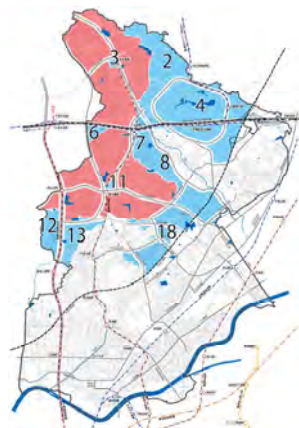
(近接する景域の景観特性や方針も意識する)

本市の景域

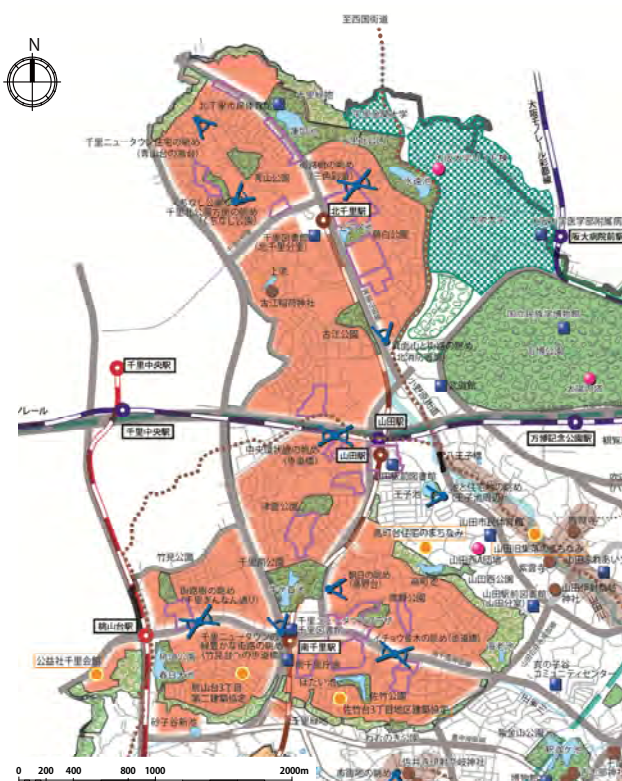
景域番号	景域の名前	景域番号	景域の名前
1	千里ニュータウン界隈	24	北大阪健康医療都市界隈
2	大阪大学界隈	25	江坂町界隈
3	北千里駅界隈	26	円山町界隈
4	万博記念公園界隈	27	山手町界隈
5	千里丘界隈	28	出口町・片山町界隈
6	津雲台7丁目界隈	29	吹田貨物ターミナル駅・吹田機関区界隈
7	山田駅界隈	30	岸部南界隈
8	山田西界隈	31	江坂駅界隈
9	山田東界隈	32	垂水町2丁目界隈
10	千里丘界隈（ミリカセンター跡地）	33	豊津駅界隈
11	南千里駅界隈	34	JR吹田駅北口・片山商店街界隈
12	春日界隈	35	泉町界隈
13	千里山竹園界隈	36	阪急吹田駅界隈
14	千里山西界隈	37	内本町・南高浜町界隈
15	千里山駅東側界隈	38	JR吹田駅南口界隈
16	千里山東界隈	39	JR以南（東部）界隈
17	佐井寺界隈	40	神崎川沿い（南吹田の工業地）
18	佐井寺南・五月が丘界隈	41	芳野町界隈
19	岸部界隈	42	南吹田駅界隈
20	関大前駅界隈	43	JR以南（西部）界隈
21	上山手町界隈	44	東御旅町・西御旅町界隈
22	原町・朝日が丘町・藤が丘町界隈	45	幹線道路・鉄道沿線
23	岸部中・片山町界隈		

(令和3年(2021年)11月末時点)

景域1 千里ニュータウン界限



● すいた市民環境会議の活動…市全域



計画的に開発された、緑豊かで風格やゆとりのある住宅地の景観

地形

起伏のある土地に広がるエリアで、谷筋に沿って道路が配置されるなど元々の地形を活かしながら開発が行われています。そのため、坂道なども多くあり、坂の上からの屋根並みや緑、坂道の下からの石垣の眺めが印象的です。

歴史

千里ニュータウンは、昭和30年代から開発が進められ、佐竹台の整備を皮切りに、概ね、高野台、津雲台、古江台、藤白台、青山台、桃山台、竹見台といった順で、各地で入居が開始されました。

現在、まちびらきから50年以上が経過し、関係自治体などによりニュータウンの再生に向けた「千里ニュータウンまちづくり指針」が策定され、持続的なまちづくりに向けた取組が進められています。

土地利用

近隣住区論に基づき計画的に整備された市街地は、広々とした道路や敷地面積が広く緑豊かな敷地など、ゆとりある暮らしを実現できる環境が備わっており、風情や風格のある住宅地が広がっています。

集合住宅を中心とするエリアでは、様々なタイプの集合住宅が整備され、現在もスターハウスなど特徴的な住棟や、平行配置と囲み型配置などの住棟をみることができます。ただし、整備から50年以上が経過し、中には老朽化も進行している集合住宅もみられ、建替えなども進んできています。

千里ニュータウンでは、地区計画や、良好な住環境をつくるガイドラインである「千里ニュータウンまちづくり指針」において、建築物の形態、用途等の制限が定められており、ゆとりある環境が保全されています。

土地利用

大小様々な公園・緑地が整備されているほか、街路樹や住宅敷地内の緑も充実しており、暮らしの中で緑豊かな景色が身近なものとなっています。

桃山台や佐竹台、高野台、古江台、青山台、津雲台では建築協定を締結するなど、自主的に住環境の維持、保全に取り組まれています。



敷際の豊かな緑



石垣などによる沿道景観



ゆとりある幅員の道路



緩やかな傾斜とカーブによる見え隠れ



桃山公園



メタセコイヤの並木道

緑豊かな環境の保全と良好な住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 豊かな緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川やため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 多様な生物と共生できる環境の保全に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や石垣、また並木や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 戸建住宅地では、建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、風格ある質の高い景観の形成を図る。
- 集合住宅地では、敷地内の豊かなオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図り、開放感があり洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 大阪モノレールや大阪中央環状線の遮音壁や高架下、また線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる、自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 2, 3, 4, 6, 7, 8, 11, 12, 13, 18, 45

第2章 景観まちづくりの目標と方針

3 景域別景観まちづくり方針



建替えられた集合住宅



豊かな緑に囲まれた集合住宅



開発当時の住棟が残る住区



中層の住宅によるまちなみ



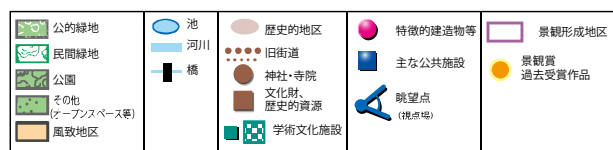
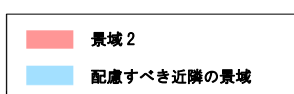
近隣センター



建替えられた府営住宅

景域2

大阪大学界隈



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

緑の中に立地する大学を中心とした日本有数の学術・研究拠点

地形

比較的平坦な丘陵地に位置しています。

歴史

高度経済成長期から平成にかけて、大阪大学の移転、立地が進められ、大阪大学近傍には千里金蘭大学が開学しています。

土地利用

緑に囲まれるように大学施設が立地し、敷地内にはゆとりある通路が整備され、学舎や病院などの建物が建ち並んでいます。また、通路沿いをはじめ、敷地内には管理された緑が数多くあります。

都市活動・暮らし

わが国有数の学術・研究拠点として、多くの学生などが通い、学ぶとともに、様々な活動を楽しむ姿がみられます。



大阪大学



千里金蘭大学

豊かな緑の保全を図りながら、にぎわいと落ち着き、開放感のある景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 大学内の豊かな緑を保全し、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 緑あふれる学術・研究機関として、周辺の緑空間などと調和した景観づくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

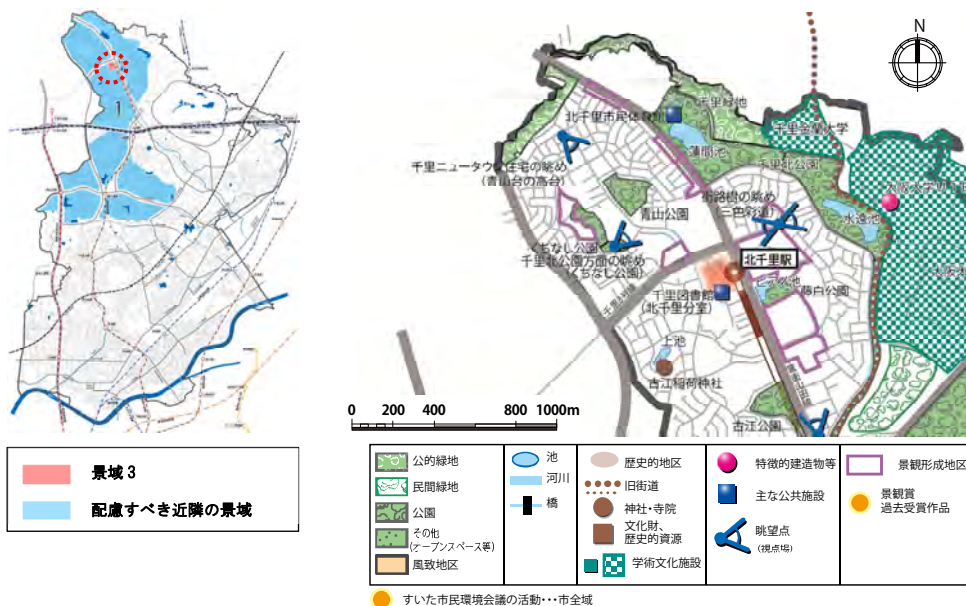
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは周辺の緑との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 大阪モノレールの高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 4, 45

景域3 北千里駅界隈



日常的な便利施設が集積し、豊かな緑が身近にある駅前の景観

景観特性

地形

丘陵の谷筋に位置しており、高低差を活かしたまちなみの変化を楽しむことができます。

歴史

北千里駅前は千里ニュータウンの計画段階より商業・業務核となる地区センターとして位置付けられており、昭和42年(1967年)に北千里駅および北地区センターが開業し、今日まで発展してきました。

土地利用

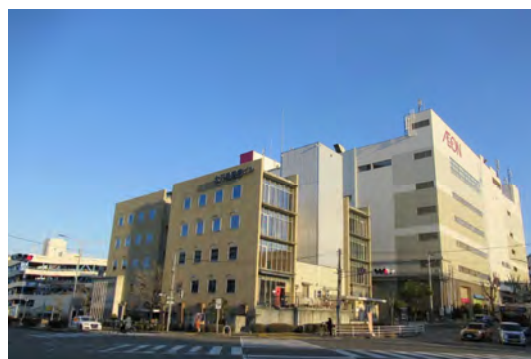
商業施設や公共施設などが集積しており、北千里小学校跡地における複合施設の建設や地区センターにおける再開発事業の検討が進められています。

都市活動・暮らし

周辺に大小様々な公園・緑地が整備されており、利便性ととともに身近に緑に触れられるまちとなっています。また、徒歩圏に大阪大学や千里金蘭大学が立地し、学生など若者が多く行き交っています。



駅前広場



駅前の商業施設

駅前としてのにぎわいを形成し、周辺と調和した落ち着いた落ち着きのある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる駅前の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりのある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてのにぎわいの中にも落ち着いた落ち着きのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 45

景域4 万博記念公園界隈



景域4
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観望点)	
その他 (ゾーンスペース等)	風致地区	文化財、 歴史的資源	学術文化施設	

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

大阪を代表する緑豊かな公園とその周辺における文化・スポーツ・レクリエーション施設による景観

地形

市北部の丘陵地であり、壮大に広がる緑が周辺道路や大阪モノレールから眺められます。

歴史

昭和 45 年（1970 年）に開催された日本万国博覧会（大阪万博）の会場跡地を、自然に回歸させるように整備された、緑の空間を中心とするエリアとなっています。平成 22 年度（2010 年度）には、南側エリアを特別用途地区「スポーツ・レクリエーション地区」に指定し、その後、商業施設を中心とした大規模開発が行われました。

土地利用

万博記念公園は、敷地内外に多数の樹木を有し、豊かな緑の空間を形成しています。園内には、太陽の塔や国立民族学博物館などの文化・芸術施設、サッカー場や野球場、テニスコートなどのスポーツ施設があり、文化・スポーツ・レクリエーションの拠点として多くの人に親しまれています。

万博記念公園駅の南側エリアには、大型のエンターテインメント商業施設やサッカースタジアムが立地しています。また、日本最大級の観覧車は遠方からも眺められ、ライトアップも美しく吹田のランドマークとなっています。



モノレールと万博記念公園



エキスポシティ

景観特性

都市活動・暮らし

四季折々の公園内の花や緑の観賞、園内の各種イベント・エンターテインメント商業施設やサッカースタジアムに訪れる多くの人々にぎわっています。また、大阪モノレールや、大阪中央環状線を利用する人々の目にも触れ、吹田のまちのイメージに結びつくものとなっています。

緑を保全し、公園としての憩いやにぎわいをはぐくむとともに、 大阪を代表する緑豊かで文化的な景観をつくる

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 万博記念公園の豊かな緑の保全、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 文化・スポーツ・レクリエーション拠点として、にぎわいと楽しさの感じられる景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

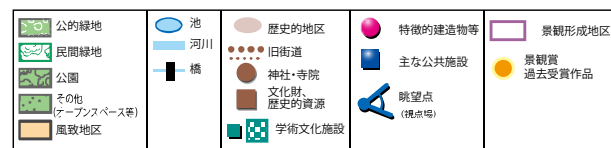
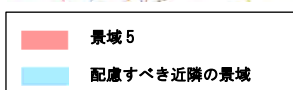
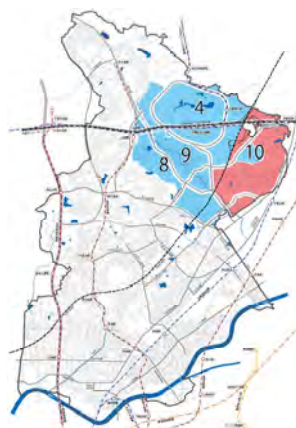
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 商業施設やスタジアムなどのオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、にぎわいとともによりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、にぎわいのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 大阪モノレールや大阪中央環状線の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 太陽の塔や観覧車など、大規模建造物のライトアップ等による特徴的な夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1、2、5、7、9、45

景域5 千里丘界限



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

なだらかな丘陵地に沿って走る入り組んだ坂道と緑豊かな住宅地

地形

千里丘陵の南東端に位置し、斜面地が多く起伏に富んだ地形となっています。

歴史

名神高速道路の開発時期に前後して千里丘周辺から住宅地化が進められたほか、広大な敷地をもつ企業施設が立地しました。近年、企業施設が移転した跡地や斜面地を利用した住宅地開発なども進んでいます。

土地利用

丘陵の斜面に沿って住宅地が形成されています。幹線道路沿道では商業施設なども立地しています。

都市活動・暮らし

斜面の住宅地からは、屋根並みを見晴らすことができ、広々とした眺めを楽しむことができます。新芦屋中央公園では散歩する人もみられ、憩いの場となっています。



丘陵からの眺め



ゆるやかな斜面地上の住宅地

斜面緑地の緑をまもり、ゆとりと落ち着きのある住宅地景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川やため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

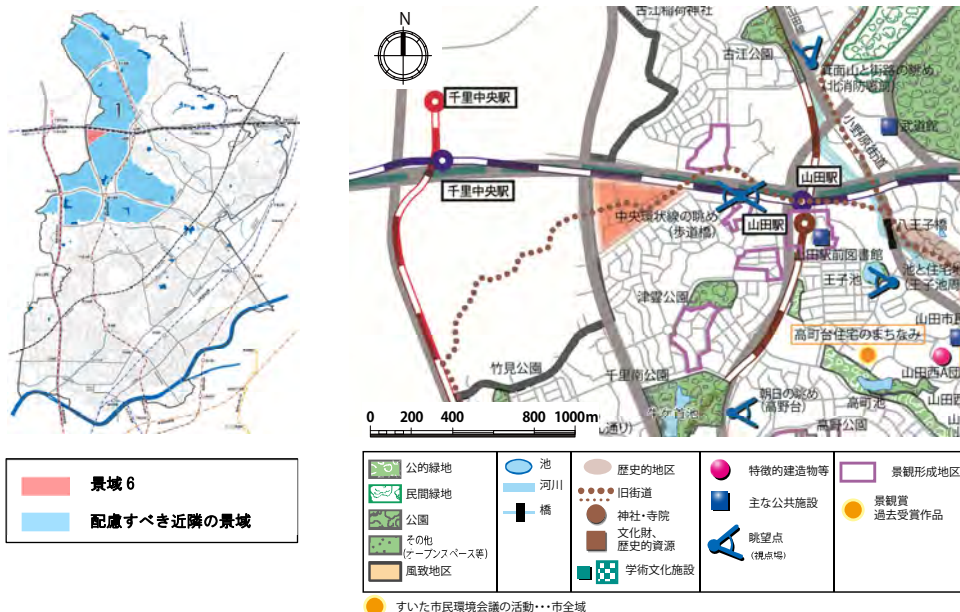
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 大阪モノレールや大阪中央環状線などの遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 4, 8, 9, 10, 45

景域6 津雲台7丁目界隈



生産流通施設などが立地する業務・商業地

景観特性

地形

緩やかな東斜面の丘陵地ですが、細かな起伏がある地形となっています。

歴史

千里ニュータウンの開発により整備された、ニュータウン内では珍しい工業系用途地域が指定されたエリアとなっています。

土地利用

生産流通施設が立地しているほか、景域の南部を走る千早さくら通り沿いには国産車や外車のディーラー等が立地しています。景域の北部を走る大阪モノレールからは景域の屋根並みを見渡すことができます。

都市活動・暮らし

生産施設や自動車ディーラーなどの施設で、働く人々や訪れる人々の姿がみられます。



千早さくら通り沿いに立地する自動車ディーラー

周辺との調和を図りつつ、業務・商業地としてゆとりある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいの感じられる景観づくりに努める。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 大阪モノレールや大阪中央環状線の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 45

景域7

山田駅界限



■	景域7
■	配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動…市全域

景観特性

周辺住民の生活を支える商業・業務機能が立地した駅前を中心とする景観

地形

丘陵に位置し、大阪中央環状線と千里けやき通りの交差点に面しています。

歴史

山田駅周辺において、土地区画整理事業などにより開発が進められるとともに、地域の人々によりまちづくりが進められてきました。

土地利用

阪急山田駅の西側にはバスターミナルと一体的に整備された複合型の大型商業施設が立地しています。また、駅の東側は子育て青少年拠点夢つながり未来館や、医療ビルが立地するなど利便性の高い駅前となっています。

都市活動・暮らし

駅前を中心に、商業施設のほか、医療施設や市の子育て支援施設などの公益施設も集積しており、鉄道を利用する人や周辺住民の日常生活を支えています。



山田駅前



駅前の商業施設

多くの人が利用する駅前として、にぎわいの中にもまとまりのある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

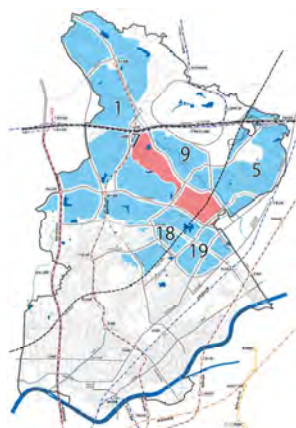
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりのある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてにぎわいの中にもまとまりのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 大阪モノレールの高架下や線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 4, 8, 45

景域8 山田西界限



景域8
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視座場)	
その他 (オープンスペース等)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動…市全域

景観特性

面的に開発された集合住宅地と王子池のほとりに佇む戸建住宅地の景観

地形

丘陵に位置しており、坂道が多く、起伏に沿って視点が移り変わるのを楽しむことができます。

歴史

昭和 50 年代から民間事業者や大阪府住宅供給公社などによる住宅建設が進んだ地域です。

土地利用

集合住宅が主体です。暖かい色合いの外壁の集合住宅が通りに沿って連続し、落ち着いた景観を形成しています。また、王子団地から高町池付近の住宅地にかけては、敷際の緑が印象的な戸建住宅地の景観が形成されています。

王子池ではビオトープや親水空間が整備され、山田上王子池公園として親しまれています。

都市活動・暮らし

集合住宅地のゆとりあるオープンスペースや公園では子どもたちが遊んだり、住民が会話したり、思い思いの過ごし方をしています。

山田西近辺の千里緑地ではヒメボタルの生息環境の保全に地域で取り組んでおり、身近な自然環境として大切にされています。



集合住宅地内のオープンスペース



沿道の集合住宅

緑豊かでゆとりと潤いある住宅地景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 千里緑地の豊かな緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- ため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 多様な生物と共生できる環境の保全に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や並木などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

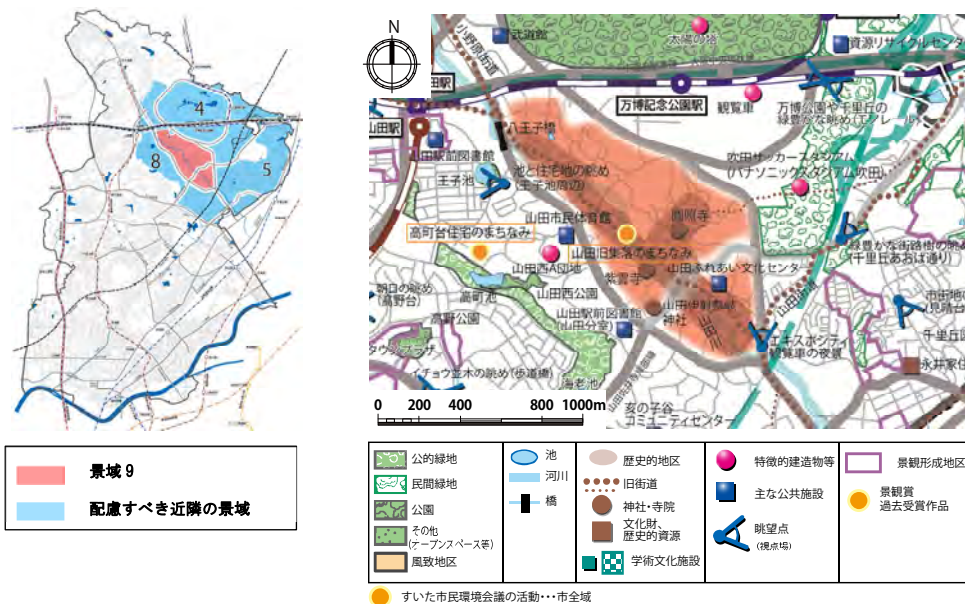
- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 大阪モノレールや大阪中央環状線の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 5, 7, 9, 18, 19, 45

景域9

山田東界限



旧街道や歴史的資源が残るまちなみと潤いのある住宅地

地形

山田川がまちを縫うように流れており、橋の上から川の流れを感じることができます。

歴史

旧小野原街道と旧山田街道の結節点に位置しており、かつて「山田千軒」と称されるほどに建物が軒を連ねていました。旧山田街道沿いや東側に広がる集落内の道などのゆるやかに曲がった道に沿って、屋敷の門と高い板塀、大きく重厚な瓦屋根が見えます。千里丘陵の中間に位置する高庭山には千里ニュータウンを含む地域を守護する山田伊射奈岐神社が鎮座しています。

土地利用

住宅を中心とした土地利用ですが、集合住宅をはじめとする開発により、景観の変化がみられます。近年では、昔ながらの建物を活かしてリノベーションされた店舗等もみられます。

都市活動・暮らし

旧街道の歴史に根差した、地域コミュニティが生まれ、市指定有形文化財である山田伊射奈岐神社本殿で行われる祭りなども地域の歴史的景観の重要な要素となっています。

景観特性



歴史を感じるまちなみ



山田伊射奈岐神社

旧集落や旧街道、河川が一体となった歴史を感じさせる景観を まもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋などのデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中でも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみ^{みち}をまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 4, 5, 8, 45

景域 10 千里丘界限(ミリカセンター跡地)



景域 10
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観点場)	
その他 (オープンスペース等)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

大規模施設跡地を活用して開発された、緑豊かでオープンスペースのある住宅地

地形

丘陵地の上にあり、遠くからもまとまった緑を背景に望むことができます。

歴史

放送局が立地していた跡地を活用して、平成 20 年代に大規模開発が行われ、住宅を中心としたまちが形成されています。

土地利用

緑に囲まれるように、丘陵の斜面に沿ってゆるやかにカーブする道路沿いには、集合住宅を中心とする住宅地や商業施設、スポーツ施設などが立地しています。

地区の東側には開発以前の既存樹が保全され、集合住宅の敷地内にも住む人々の憩いとなる豊かな緑が配置されています。

都市活動・暮らし

住宅地や沿道からは、周辺の屋根並みを見晴らすことができ、変化に富んだ眺望を楽しむことができます。緑豊かな住環境の中、比較的若い世代が居住しており、地域コミュニティが形成されています。



豊かな街路樹の道路



ミリカシティの集合住宅

豊かな緑の保全を図りながら、開放感ある住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑の保全、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- ため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中でも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

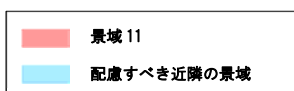
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 5, 45

景域 11 南千里駅界隈



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観点場)	
その他 (ゾーンベース等)		文化財・ 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

日常的な便利施設が集積し、にぎわいと明るく活気のある駅前の景観

地形

丘陵地の起伏のあるエリアで、高低差を活かしたまちなみの変化を楽しむことができます。

歴史

南千里駅前には千里ニュータウンの計画段階より商業・業務核となる地区センターとして位置付けられており、昭和 38 年（1963 年）に南千里駅（開設時は新千里山駅）、地区センターが開業しました。

施設の老朽化などから平成 20 年頃より駅前の再整備が進められ、駅前広場や図書館、ショッピングセンターなどが整備されました。

土地利用

駅直結の商業施設などが集積し、駅前広場とそれを囲む建築物が一体となってにぎわいを演出しています。また、駅南側では北部消防庁舎等複合施設の建設が進められています。

都市活動・暮らし

駅前交通広場の「まるたすひろば」ではマルシェなどのイベントが開催され、住民や訪れた人などが交流し、楽しむ姿がみられます。また、千里南公園などが近くにあり、利便性ととも身近に緑に触れられるまちとなっています。



「まるたすひろば」でのマルシェ



駅前の景観

駅前としてのにぎわいと交流の場にふさわしい良好な景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりのある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてのにぎわいと交流の場にふさわしい景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように、照明灯の色温度や、配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 45

景域 12 春日界限



景域 12
配慮すべき近隣の景域



● 市市民環境会議の活動・・・市全域

丘陵地にある畑が残り、緑豊かな旧集落の景観

地形

丘陵の端に位置し、西端には服部緑地の小高い緑が見え、起伏があります。また、高川に沿って、一部樹木や草花などの緑がみられます。

歴史

千里の集落をつなぐ街道沿いに発達した集落で、周りは千里丘陵の雑木林に囲まれていました。街道沿いには、西照寺があります。

土地利用

住宅が主体となった土地利用で、集落の中には田畑の豊かな緑があります。

西側に服部緑地、北側に千里緑地が隣接しています。

集落の周りでは集合住宅や戸建住宅の建設が進んでおり、集落を中心とする景観の保全と、それらに調和する景観誘導が課題となっています。

都市活動・暮らし

新御堂筋からは、服部緑地を背にした旧集落の家並みを望むことができます。

景観特性



集落内の歴史を感じさせる建物



集落内の豊かな緑

旧集落のまちなみや豊かな緑をまもり、それらに調和する 住宅地景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 新御堂筋や北大阪急行電鉄の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

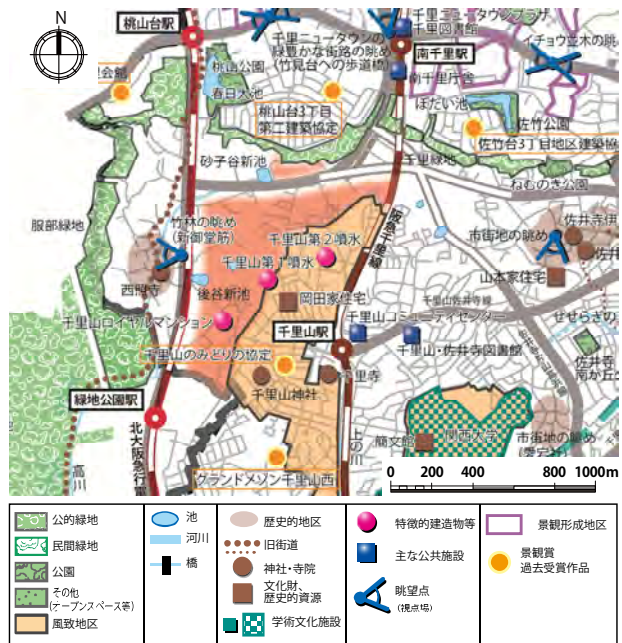
配慮すべき近隣の景域

景域 1, 13, 45

景域 13 千里山竹園界隈



● 景域 13
■ 配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

丘陵地にある畑や竹林が多く残る緑豊かな住宅地

地形

丘陵に位置し、起伏があります。

歴史

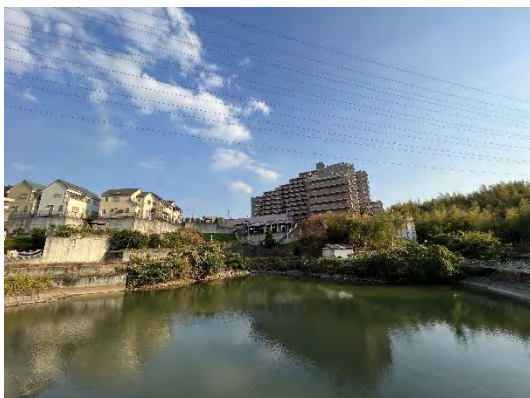
竹林が多くあり緑豊かな地域でしたが、近年の開発により戸建住宅や集合住宅が建ち並び、緑が失われつつあります。

土地利用

新御堂筋沿いに位置しながらも、昔ながらの風景と共に、いまだ多くの緑が残る住宅地です。

都市活動・暮らし

生活道路を主としており、静かな生活が保たれています。また、近年の住宅地開発により、比較的若い世代も居住するエリアとなっています。



後谷新池越しに眺める林地



緑に囲まれた集合住宅

緑豊かな風景をまもり、地形を活かした丘陵地の住宅地景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- ため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

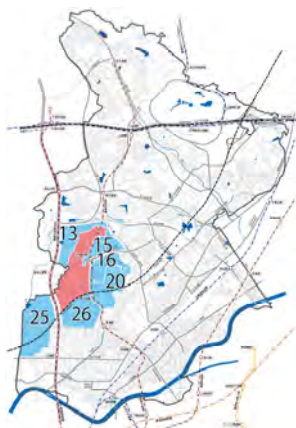
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 新御堂筋や北大阪急行電鉄の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

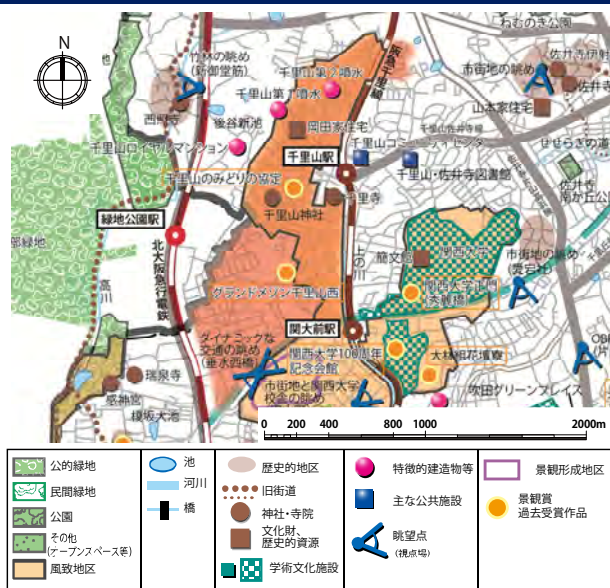
配慮すべき近隣の景域

景域 1, 12, 14, 16, 45

景域 14 千里山西界限



景域 14
配慮すべき近隣の景域



すいた市民環境会議の活動...市全域

緑豊かで落ち着いたまちなみの住宅地

地形

丘陵に位置し、起伏があります。

歴史

千里山住宅地は大正末期に現在の阪急千里線の開通に伴い、イギリスのレッチワースをモデルに開発された閑静な戸建住宅地です。

洋風や和洋折衷の建築、目を引く煉瓦塀など、当初のモダンな建築様式を今もみることができ、成熟した住宅地の風情のある景観を形成しています。

千里山駅前にある千里山第一噴水、第二噴水は大正期に計画されたもので、放射状道路の中心となっており、木々に囲まれた空間に水を湛えている様子は、まちに潤いを与える大きな要素となっています。

また、宮殿建築の様式を持つ千里寺本堂や有形文化財の岡田家住宅など、歴史資源が継承されています。

土地利用

戸建住宅が中心で、その多くが風致地区に指定されており、石垣や生垣があり緑豊かな環境が形成されています。

都市活動・暮らし

千里山駅から千里山第一噴水にかけては、小さい商業店舗が建ち並ぶ、近隣住民が集う場となっており、にぎわいの中にも風格と落ち着きのあるまちの玄関口となっています。



千里山第一噴水



モダンなデザインの風格ある住宅地

景観特性

にぎわいのなかにも落ち着きのある駅前の景観をつくり、 緑豊かな風格のある住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、風格ある質の高い住宅地の景観の形成を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 13, 15, 16, 20, 25, 26, 45

景域 15 千里山駅東側界隈



● 景域 15
■ 配慮すべき近隣の景域



● 公的緑地	● 池	● 歴史的地区	● 特徴的建造物等	■ 景観形成地区
■ 民間緑地	● 河川	● 旧街道	■ 主な公共施設	● 景観賞 過去受賞作品
● 公園	■ 橋	● 神社・寺院	● 眺望点 (視座場)	
● その他 (オープンスペース等)	■ 学術文化施設	● 文化財・ 歴史的資源		
■ 風致地区		■ 学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動…市全域

にぎわいのある駅周辺の商業施設と住宅地の景観

地形

丘陵に位置し、緩やかな起伏があり、区画道路は曲がりくねった坂道になっています。

歴史

千里山団地は、昭和 32 年（1957 年）に千里ニュータウンに先駆けて開発された住宅団地で、ショッピングセンターや小学校とともに整備され、その後、駅前交通広場も完成しました。

桜の名所としても知られていた、都市再生機構による団地は建替えられ、分棟化されて周辺のまちに溶け込むようなデザインとなっています。

土地利用

都市計画道路や駅前広場などの整備、また、日本で最初に開発された公的住宅の老朽化に伴う建替えなどにより更なる空間整備が進められ、集合住宅の建ち並ぶ景観となっています。千里山駅前にはスーパーや公共施設を含む複合施設があり、複合施設前のオープンスペースが駅前広場と一体となってゆとりある景観を形作っています。

都市活動・暮らし

駅周辺では行き交う人やバスを待つ人の姿も見え、にぎわいの感じられる景観となっています。駅の周辺には複合施設のほかスーパーなども立地し、利便性の高い暮らしを営むことができる環境となっています。

かつてあった校舎の木材を利用して建てられた千里山・佐井寺図書館（ちさと図書館）の玄関前にはクスノキの大木があり、昭和初期の学校風景を今に伝えています。



千里山駅の駅前広場と複合施設



都市再生機構の団地

景観特性

落ち着いた住宅地景観と、活気を感じられる駅前の景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前として活気を感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を迎えるような光の演出に取り組むとともに、駅前にふさわしい照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 16, 45

景域 16 千里山東界隈



景域 16
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観望場)	過去受賞作品
その他 (オープンスペース等)		文化財 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

入り組んだ道路で構成される戸建住宅を中心とする住宅地の景観

地形

丘陵に位置し、緩やかな傾斜のある地形となっています。

歴史

戦前は農地や樹林地が広がる丘陵地を形成していましたが、高度経済成長期以降に住宅地として開発されました。

土地利用

入り組んだ道路で構成された住宅地で、戸建住宅を中心とする土地利用となっています。一部には中低層の集合住宅の立地もみられ、千里山駅に近い幹線道路沿いでは、商業施設も立地しています。また平成 30 年（2018 年）に千里山佐井寺線が開通しており、無電柱化の取組がなされています。

都市活動・暮らし

庭木や生垣などの敷地内の緑が、潤いのあるまちなみを形成しており、地域住民の暮らしの営みを感じさせる景観が形成されています。



地形に起伏のある住宅地

敷地内や敷地の緑により、落ち着いたある住宅地景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中でも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 13, 14, 15, 17, 18, 20, 45

景域 17 佐井寺界隈



■	景域 17
■	配慮すべき近隣の景域



	公的緑地		池		特徴的建造物等
	民間緑地		河川		主な公共施設
	公園		橋		眺望点 (視点場)
	その他 (オープンスペース)		歴史的地区		神社・寺院
	風致地区		旧街道		文化財、 歴史的資源
			神学文化施設		景観賞 過去受賞作品

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

丘陵斜面の起伏が豊かで細い路地が入り組んだ旧集落の景観

地形

丘陵斜面の窪地にあたり、集落内の起伏が豊かです。

歴史

佐井寺地域は、鎌倉時代に山岳仏教の地でもあったと言われています。佐井寺伊射奈岐神社は、社伝によると5世紀にはこの地に祀られていたといわれ、佐井寺は創建650年ごろとも735年ともいわれています。かつて佐井寺観音への参拝客でにぎわいました。本堂や本殿などは風格ある景観を構成する重要な要素となっています。

集落には茅葺きや瓦屋根が残り、歴史を感じさせる趣ある景観となっています。

土地利用

昔ながらの家屋や比較的新しい家々が、細く曲がりくねる道に沿って建ち並んでいます。

都市活動・暮らし

手入れされた庭木が塀越しに見えるなど、空地は少ないながらも緑豊かな環境となっています。

佐井寺伊射奈岐神社は小高い丘に位置しており、境内からは市街地が眺められます。



集落の風景



昔ながらの佇まいを残す家屋

起伏のある地形になじみ、集落の特徴を尊重した歴史を感じさせる景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

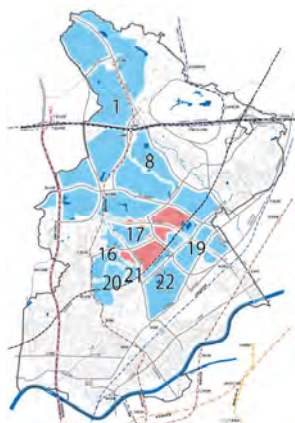
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 夜は帰宅する人を迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

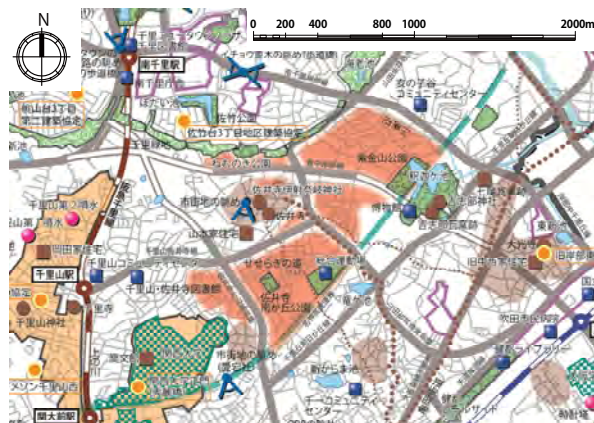
配慮すべき近隣の景域

景域 16, 18, 45

景域 18 佐井寺南・五月が丘界隈



■ 景域 18
■ 配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視点場)	
その他 (ゾーンスペース等)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

土地区画整理事業によって面的に整備された住宅地の景観

地形

丘陵に位置し、ゆるやかな起伏があります。

歴史

土地区画整理事業によって面的に整備されました。

ゆったりとした歩道のあるせせらぎの道がシンボルロードとして整備され、水にまつわる吹田の歴史について水景施設を用いて伝承しています。

土地利用

戸建住宅と集合住宅からなる住宅地です。佐井寺南が丘公園周辺には店舗や飲食店が立地しています。また、名神高速道路沿いにある総合運動場は伸びやかなグラウンドと豊かな緑が印象的です。

都市活動・暮らし

せせらぎの道周辺などではジョギングや散歩をする人の姿がみられ、また、佐井寺南が丘公園は地域の憩いの場となっており、親子でにぎわっています。



せせらぎの道



集合住宅の並ぶ景観

緑豊かで潤いがあり、周辺と調和する良好な住宅地景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 名神高速道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

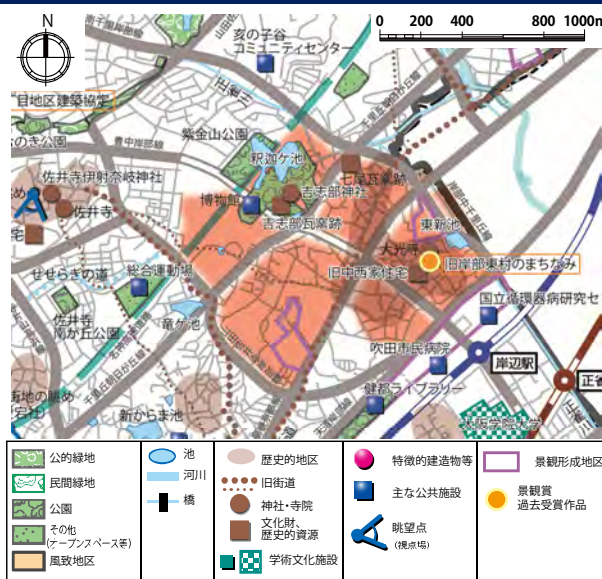
配慮すべき近隣の景域

景域 1, 8, 16, 17, 19, 20, 21, 22, 45

景域 19 岸部界限



景域 19
配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動…市全域

千里丘陵のふもとで旧街道の面影のあるまちなみと路地が入り組んだ旧集落の景観

地形

千里丘陵の南側のふもとの平地で、エリアの北側にかけて少しずつ地盤が高くなっています。紫金山公園などの丘陵の端部に位置する緑が平野からの眺めの背景となって見え、緑豊かなまちの印象を高めています。

紫金山公園にある釈迦ヶ池をはじめ、東新池などのため池の水辺の景観があることも特徴です。

歴史

吉志部神社の周辺で旧亀岡街道に沿って近世に形成された古くからの集落を中心に、住宅地が形成されていきました。

地域内には、国登録有形文化財に登録されている江戸時代後期の大型民家建築である旧中西家住宅、和洋折衷の仏堂である大光寺太子館があります。

紫金山公園の史跡周辺は歴史をテーマとした環境整備が行われ、自然色舗装や案内板なども整備され歴史的景観が楽しめます。

土地利用

大部分は戸建住宅ですが、一部に農地もあります。木造の古民家も残り、細く入り組んだ路地沿いに板塀や民家の外壁が連続し、集落の空間構成が受け継がれています。また、板塀越しに見える緑など建物の密度が高いながらも緑が豊かな印象を受けます。

釈迦ヶ池と紫金山からなる紫金山公園には博物館が位置し、自然景観をよくとどめ、豊かな緑のまとまりが地域のランドマークになっています。



集落の景観



紫金山公園

都市活動・暮らし

集落内では手入れされた生垣や庭木などが多くみられます。吉志部神社では現在も伝統的な祭礼が行われ、地域住民の手によりまもり受け継がれています。

紫金山公園では、コバノミツバツツジの咲く里山として市民参加による保全活動が進められています。

緑豊かで歴史や文化、集落の特徴を尊重した景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 紫金山公園の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 河川やため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 多様な生物と共生できる環境の保全に努める。

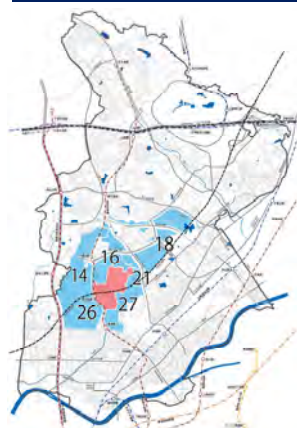
「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板、説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

景域 20 関大前駅界隈



景域 20
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	眺望点 (観望場)	
その他 (オープンスペース等)	歴史的地区		
風致地区	旧街道		
	神社・寺院		
	文化財・ 歴史的資源		
	学術文化施設		

● さいたま市民環境会議の活動・・・市全域

緑豊かな大学と落ち着きのある住宅地の中にある商店街

地形

丘陵の南端に位置しています。

歴史

関西大学は大正 11 年（1922 年）に本市に移転され、キャンパスには、秀麗橋をはじめ、暖かみのある素材が用いられた洗練されたデザイン建物が並んでいます。

土地利用

広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ大学の景観は、地域のシンボルになっています。関大前駅から大学正門までの通りは、飲食店等が立ち並びにぎわいのある商業空間を形成している一方、通りの横には静かな戸建住宅地が広がっています。

都市活動・暮らし

学生街には狭い道路に店舗が軒を連ね、色とりどりの多数の屋外広告物が掲出され、行き来する学生の姿により活気があります。キャンパス内の広々としたオープンスペースには、クスノキなどの大木が育っており、地域の人々の憩いの場にもなっています。すぐそばの住宅地では落ち着きのある暮らしが営まれています。



関西大学秀麗橋



キャンパス周辺のにぎわいある景観

景観特性

大学の豊かな緑と落ち着いたのある住宅地をまもり、にぎわいの中にも調和のある商業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 大学内の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いたの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

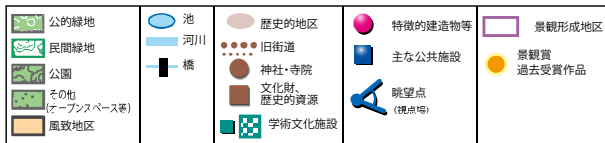
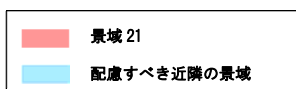
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてにぎわいの中にも調和のある商業景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁の緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着いたのあるまちなみの形成を図る。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 16, 18, 21, 26, 27

景域 21 上山手町界隈



● 市民環境会議の活動・市全域

景観特性

丘陵地にあり、細い路地が入り組んだ旧集落の景観

地形

丘陵地に位置しています。

歴史

古くから集落が形成されてきました。愛宕社が小高い場所にあります。

旧集落の中には大きな門、蔵、生垣や庭木のある屋敷が、細く曲がりくねる道に沿って建っています。

土地利用

近年、戸建住宅や集合住宅も増えつつあり、集落の風情ある景観との調和が課題となっています。

都市活動・暮らし

集落の周辺には畑がみられ、暮らしの中で緑が目映る環境となっています。

細い路地を歩けば、小さな鳥居と愛宕社へつづく階段が現れ、階段を上れば吹田のまちなみを見下ろすことができ、眺望を楽しむことができます。



旧集落の風情ある景観



愛宕社参道

畑の緑をまもり、集落の特徴を尊重した風情ある景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

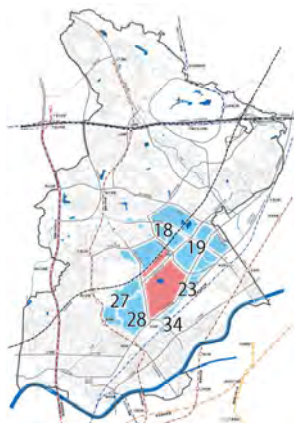
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

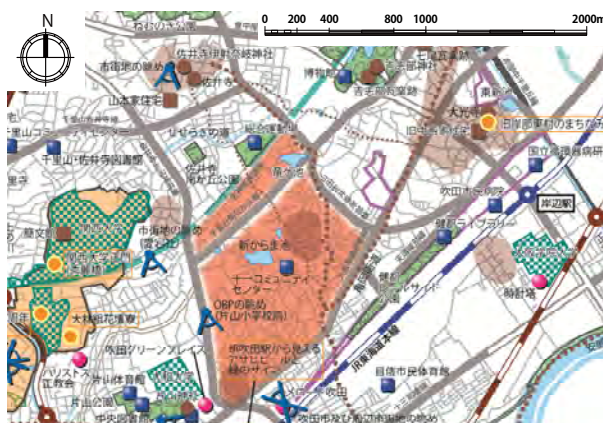
配慮すべき近隣の景域

景域 18, 20, 27, 45

景域 22 原町・朝日が丘町・藤が丘町界隈



■ 景域 22
■ 配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視点場)	
その他 (オープンスペース)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

旧集落の面影が残り、自然発生的に形成された住宅地の景観

地形

千里丘陵南端部の崖線に位置する南向きの斜面となっており、地形に沿って曲がった細い通りが入り組んでいます。この地域にはため池があり、水辺の景観もみられます。

歴史

旧亀岡街道沿いに形成された集落の周辺に自然発生的に住宅地が形成されました。

土地利用

丘陵地に形成された旧集落を中心に広がった戸建住宅地です。一部には石積みや板塀、漆喰塀、土壁の蔵などもあり、集落の面影を残しており、丘陵の端部に位置することから眺望に優れています。

都市計画道路（千里丘朝日が丘線）が平成 25 年（2013 年）に完成し、沿道には、新たな戸建住宅や集合住宅などが建ち並び、景域内にある片山浄水所では更新作業が行われるなど、集落の面影が残る一方で新たなまちなみの景観も形成されています。

都市活動・暮らし

地域内には生垣や庭木、田畑があり、伝統的な意匠の建物と相まって、地域住民の暮らしの営みを感じさせる景観が形成されています。

景観特性



戸建住宅地の景観



旧集落の面影の残る景観

地形を活かした眺望や、歴史あるまちの風情を継承した景観を まもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- ため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむ。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 18, 19, 23, 27, 28, 34, 45

景域 23 岸部中・片山町界隈



景域 23
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観望場)	
その他 (オープンスペース等)		文化財、 歴史的資源	学術文化施設	
風致地区				

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

幹線道路沿いの商業施設などによるにぎわいと、住宅地が共存する景観

地形

平坦な地形が広がっています。

歴史

戦前から、大阪高槻京都線沿いには住宅が立地していましたが、多くは農地となっていました。戦後に市街化が進み、昭和40年代半ばには、ほぼ景域全体が市街地となっています。

土地利用

戸建住宅を中心とする土地利用となっていますが、一部に集合住宅の立地もみられ、また、大阪高槻京都線沿いには商業施設や工場などが建ち並び、それらが共存する土地利用となっています。

都市活動・暮らし

大阪高槻京都線沿いでは、にぎわいや活気のある暮らしの活動があり、また、吹田のランドマークであるメロート吹田を眺められ、幹線道路から一步奥に入れば、落ち着いた暮らしが営まれています。



戸建住宅地の景観



集合住宅地の景観

落ち着いたある住宅地をまもり、潤いある住宅地景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中でも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

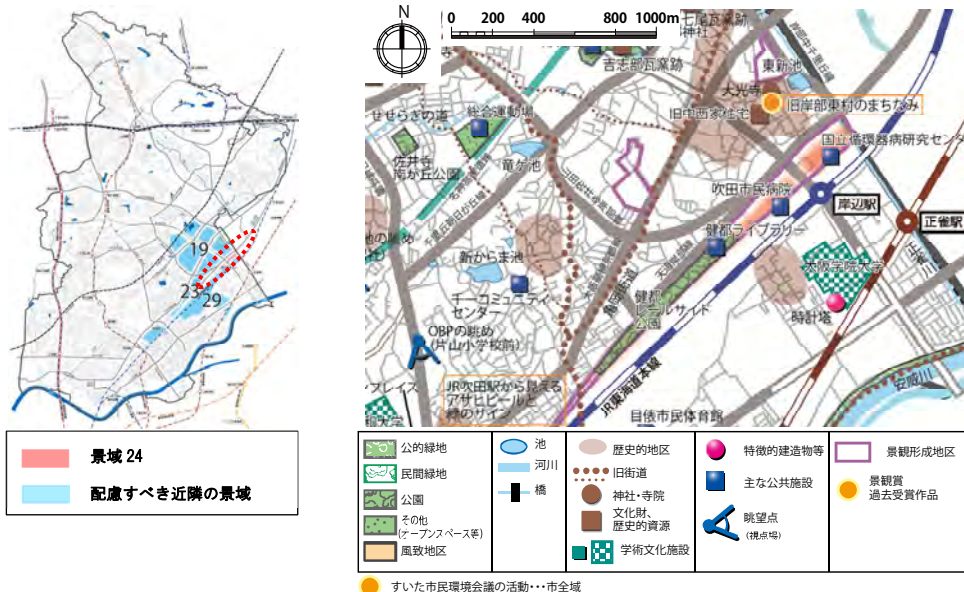
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 19, 22, 24, 34, 45

景域 24 北大阪健康医療都市界隈



緑の遊歩道でつながる健康・医療のまち

地形

J R東海道本線に沿って平坦な地形が広がっています。

歴史

吹田操車場は、大正 12 年（1923 年）の操業以来東洋一の規模を誇る物流拠点として、重要な役割を担ってきました。昭和 59 年（1984 年）にその役割を終え、多くの議論を経る中で、日本一厳しいといわれる環境影響評価をクリアするなど、吹田貨物ターミナルとして生まれ変わりました。

残りの区域（1.4 h a）では、東部拠点のまちづくり計画をはじめ、市民参加のまちづくりが進められ、土地区画整理事業による基盤整備の下、国立循環器病研究センターの誘致や市立吹田市民病院の移転などを核とする、北大阪健康医療都市（健都）が整備されました。

土地利用

国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、商業施設などが立地し、地区内はみどりの基本計画において緑化重点地区に指定され、緑の遊歩道や敷地の緑化が進められています。

都市活動・暮らし

国立循環器病研究センターや市立吹田市民病院の移転開業、健康医療関連企業・研究機関の誘致により、医療機関と健康医療関連企業などが集積した国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）の形成をめざす取組が進められています。

健都ライブラリーでは、健都レールサイド公園における積極的かつ継続的な健康づくりを支援する拠点として、健康に ①気づき ②楽しみ ③学べる の 3 つの柱による多世代が集い、交流し、健康寿命延伸（生涯活躍）につながる場をめざす取組が進められています。

緑の遊歩道や健都レールサイド公園では、散歩や健康づくりのための運動をする人の姿や、子どもたちが遊ぶ姿、また、健都ライブラリーで学ぶ人の姿などがみられます。

建物敷地の緑化により、ゆとりと潤いのある景観をはぐくみ、医療拠点としてふさわしい景観をつくる

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 健都レールサイド公園や緑の遊歩道の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公園、緑の遊歩道との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、医療拠点としてふさわしい景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 19, 23, 29, 45



国立循環器病研究センター



健都レールサイド公園と健都ライブラリー

景域 25 江坂町界隈



● 景域 25
● 配慮すべき近隣の景域



● 公的緑地	● 池	● 歴史的地区	● 特徴的建造物等	● 景観形成地区
● 民間緑地	● 河川	● 旧街道	● 主な公共施設	● 景観賞 過去受賞作品
● 公園	● 橋	● 神社・寺院	● 眺望点 (視点碑)	
● その他 (オープンスペース)		● 文化財、 歴史的資源		
● 風致地区		● 学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

旧集落のまちなみを残し、住宅地が広がる落ち着いた景観

地形

平坦な地形が広がり、豊中市との市境には天井川である高川が流れています。

歴史

榎坂や蔵人といった旧集落があったエリアであり、榎原家住宅（有形文化財）、感神宮（素盞鳴尊神社）など風格のあるまちなみを構成する多くの歴史的資源が残っています。

ダスキン誠心館は庄屋屋敷の再整備を通して現代へと受け継がれ、企業の研修施設として活用されています。

土地利用

戸建住宅を中心とする土地利用となっており、エリア北部などに農地も残っています。

都市活動・暮らし

高川沿いには松並木や遊歩道などがあり、地域の人々に親しまれています。



蔵人集落



感神宮（素盞鳴尊神社）

歴史あるまちの風情を継承した、潤いのある景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川やため池などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 名神高速道路の遮音壁などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 31, 40, 45

景域 26 円山町界隈



景域 26
配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

垂水神社の緑を望む、豊かで風格のある住宅地

地形

千里丘陵の端に位置しています。垂水神社を頂点に南北、東西ともに坂になっており、垂水神社のまとまった緑が、眺めの背景となって見え、緑豊かなまちの印象を高めています。

歴史

垂水神社が、豊かな森に包まれるようにして鎮座しており、昭和初期に面的に整備された円山町では、桜並木の通りを中心に、石垣や生垣の連なる風格ある住宅地景観が形成されています。また、近年、大規模な宅地開発が行われ、無電柱化により広がりのあるまちなみが形成され、良好な景観をつくり出しています。

土地利用

風格ある緑豊かな住宅地です。老朽化し伐採された桜の切り株や、住宅の建替えなどとともに生垣や石垣の減少などがみられ、地域の調和と、敷地の保全が重要です。

都市活動・暮らし

円山町の桜並木は素晴らしく、桜越しに市街地を眺めることができ、垂水西橋からは名神高速のダイナミックな交通景観が見られ、眺望に優れています。

一部の地区が都市計画法に基づく風致地区に指定され、緑化率などの基準が定められ、緑豊かなまちなみが保全されています。



風格ある生垣と石垣



垂水神社

豊かな緑をまもり、ゆとりと地域との調和を持たせ風格のある住宅地をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 垂水神社の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や石垣、また並木や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

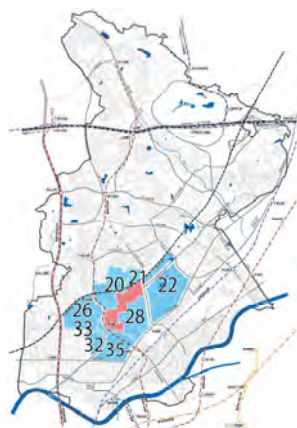
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、風格ある質の高い住宅地の景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 20, 27, 31, 32, 33, 45

景域 27 山手町界隈



 景域 27
 配慮すべき近隣の景域



 公的緑地	 池	 歴史的地区	 特微的建造物等	 景観形成地区
 民間緑地	 河川	 旧街道	 主な公共施設	 景観賞 過去受賞作品
 公園	 橋	 神社・寺院	 眺望点 (視点等)	
 その他 (例: アスレチック)		 文化財・ 歴史的資源	 学術文化施設	
 風致地区		 市民環境会議の活動・・・市全域		

景観特性

ゆるやかな斜面地に広がる閑静な戸建住宅地の景観

地形

平野から丘陵へ向かう緩やかな斜面地に位置しています。景域内には、糸田川の支流である山の谷川が流れています。

歴史

高度経済成長期以降に宅地化が進められ、昭和 50 年代には、ほぼ現在のまちの姿が形成されています。

土地利用

戸建住宅を中心とする土地利用となっていますが、一部に中層の集合住宅などもみられます。

都市活動・暮らし

住宅の建替えなどにより、比較的若い世代も居住し、昔から暮らす人々と共に、落ち着いた暮らしが営まれています。



戸建住宅地の景観



山の谷川沿いの住宅

閑静な住宅地としての落ち着きや安らぎを感じられる景観を まもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 20, 21, 22, 26, 28, 32, 33, 35, 45

景域 28 出口町・片山町界隈



景域 28
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視点場)	
その他 (オープンスペース)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

片山公園のまとまった緑を中心に大学や公共施設などにより形成される景観

地形

J R吹田駅の北側に位置し、平野から丘陵へ向かう緩やかな斜面地となっており、南側沿道からは片山公園の大木を望むことができます。

歴史

片山神社は、平安時代に地域で焼き物に関わる人が陶芸の祖神として素戔鳴尊を祀ったことを由来としています。

昭和 40 年代に片山公園周辺に公共施設が立地し、近年には公園東側に大和大学や商業施設などが開学、整備されました。

土地利用

片山公園や企業所有の庭園など、多くの緑があり、片山神社の赤い鳥居が目を引きます。

また、その周辺には大学、図書館などの公共施設、商業施設などが立地しています。

都市活動・暮らし

大学へ通学する学生や企業関係者が行き交っています。また、多くの市民が図書館や体育館などで楽しみ、公園や庭園でくつろぐといった多様な活動が行われています。



片山公園の桜



大和大学

公園や敷地内の緑を活かした潤いある空間をつくり、まもるとともに、にぎわいや暮らしの活動をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 片山公園や大学内の豊かな緑などを保全し、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地形になじみ、周辺の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは公園などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

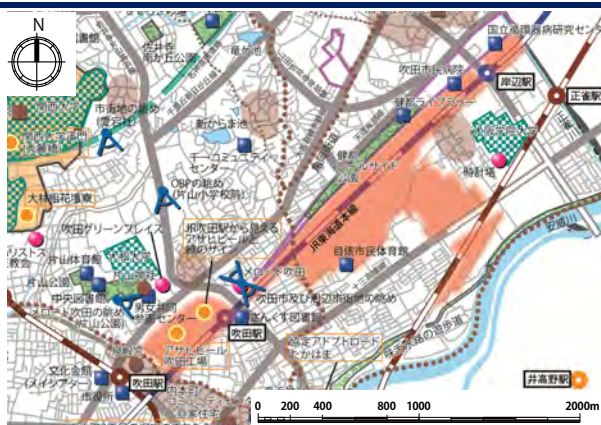
配慮すべき近隣の景域

景域 22, 27, 29, 35, 37, 45

景域29 吹田貨物ターミナル駅・吹田機関区界隈



景域 29
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観点場)	
その他 (オープンスペース等)		文化財、 歴史的資源	学術文化施設	
風致地区				

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

平坦かつ広大な鉄道施設および周辺の生産流通施設による特徴的でダイナミックな景観

地形

平坦な地形が形成されています。

歴史

明治期から鉄道関連施設が立地し、当時の駅前に誕生した重厚なレンガ造りのアサヒビール工場は現在も地域のシンボルとなっています。

土地利用

貨物駅、機関区を中心に、隣接する工業系用途地域に生産施設、流通施設が立地し、鉄道沿いからは列車を含めた動きのある風景が眺められます。アサヒビール工場の敷地の豊かな緑が現代的で活気ある産業景観を形成しています。

都市活動・暮らし

鉄道関連施設、生産流通施設で働く人が中心ですが、これら施設を見学するために訪れる人もみられます。

鉄道を利用する人から見える景色は、まちのイメージと結びつくものとなります。



アサヒビールの赤レンガ建物



貨物ターミナルの広大な空間

歴史ある鉄道関連施設、生産流通施設のある特徴的な景観を まもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑の保全、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間づくりに努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 24, 28, 30, 34, 37, 38, 39, 45

景域 30 岸部南界隈



景域 30
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視座場)	
その他 (オープンスペース)		文化財 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

落ち着いた住宅地の中にある大学の洗練された美しい
まちなみと、駅周辺のにぎわいがある景観

地形

平坦な地形が広がっています。

歴史

大阪学院大学は、昭和 34 年（1959 年）に関西経済学院商業高等学校として現在の地に開校、昭和 38 年（1963 年）に大阪学院大学が開学しました。大学敷地内は緑が豊かで日本造園学会賞を受賞しています。近年では、大阪学院大学高等学校校舎が建設されました。

また、周辺には住宅地が広がり、一部には古くからの集落があります。

土地利用

大阪学院大学のまとまった敷地と住宅地が混在しており、大学周辺はレンガ調に統一された校舎と大学敷地内の緑豊かな高木が調和し、美しく印象的なまちなみが形成されています。また、近年建設された大阪学院大学高等学校校舎は、地域の景観を特徴づけるものとなっています。

岸辺駅の周辺では商業施設が立地し、にぎわいの景観が形成されています。

都市活動・暮らし

駅周辺は地域住民の生活を支える店舗が立地し、にぎわいを生み出しています。大学周辺は秋になると木々が紅葉し、季節を感じることができます。



緑豊かな大阪学院大学



岸辺駅南側の商業施設

大学の緑や街路樹をまもり、活気の中にも落ち着きのある景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 大学内の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、活気の中にも落ち着きのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線や阪急京都線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 29, 39, 45

景域 31 江坂駅界限



● 景域 31
● 配慮すべき近隣の景域



交通の利便性が高く商業施設、オフィス、集合住宅が共存する景観

地形

平坦な地形が広がっています。また、エリアの東端に糸田川が流れています。

歴史

昭和 30 年代より、千里ニュータウンの建設や日本万国博覧会（大阪万博）の開催を機に新御堂筋（国道 423 号）、大阪メトロ御堂筋線の延伸整備が進められるとともに、土地区画整理事業が実施され、大阪府下でも有数の商業・業務地に発展しました。

土地利用

江坂駅周辺には高層の商業・業務施設や飲食・レクリエーション施設等が集積し、にぎわいのある景観が形成されています。集合住宅も建ち並び、利便性の高い洗練された暮らしの場ともなっています。

平野の大きな緑の核としての江坂公園は、都市型公園として再整備され、都会のオアシスとして親しまれています。

また、大同生命江坂ビルは、ビル内庭園がある珍しいオフィスビルです。オフィスで働く人々にとって、癒しの空間となっており、地域の人々の生活に溶け込んだ江坂を代表するランドマークになっています。

都市活動・暮らし

商業・業務地として発展した江坂駅界限では、地域社会と企業間の親睦と融和を図り、地域の発展促進を目的とし、企業自治会として江坂企業協議会が組織され、地区内の美化（一斉清掃、アドプトロード）、路上駐輪・駐車対策の他、防犯活動などにより、地域のイメージを向上させる活動が行われています。



駅前の商業施設



江坂公園と隣接するオフィスビル群

景観特性

沿道の街路樹や植栽の保全・育成、広告物の整理を進め、魅力とにぎわいのある拠点としての景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 江坂公園の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

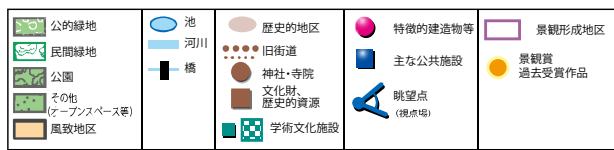
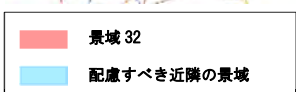
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公園などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、洗練された質の高い景観の形成を図り、駅周辺は魅力とにぎわいのある商業景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 新御堂筋や北大阪急行電鉄の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 25, 26, 32, 35, 40, 41, 42, 45

景域 32 垂水町2丁目界隈



● 優れた市民環境会議の活動...市全域

景観特性

糸田川沿いの開放的なまちなみと、細く入り組んだ路地のある住宅地

地形

平坦な地形が広がっており、糸田川沿いには見通しの良い景観が広がっています。

歴史

まじなわて
雉子騒の碑が建てられており、その道路には、雉子鳴き道と愛称が付けられ、古くからの言い伝えが残る歴史ある集落の面影が残るまちです。「騒」とあるように、もともとは水田が広がる地域でしたが、戦後に宅地化が進みました。

土地利用

川沿いには集合住宅が建ち並び、また、細い路地沿いには昔ながらの戸建住宅が建ち並ぶ土地利用となっています。

都市活動・暮らし

糸田川の堤防には遊歩道が整備され、日常的に散歩やジョギングをする人の姿がみられ、ゆったりとした時間を過ごしています。



雉子鳴き道



糸田川沿いの遊歩道

潤いと安らぎが感じられる身近な水辺空間と、落ち着いたある住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 街路樹により潤いを高め、舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 26, 27, 31, 33, 35

景域 33 豊津駅界隈



- 景域 33
- 配慮すべき近隣の景域



- | | | | | |
|------------------|----|---------------|--------------|---------------|
| 公的緑地 | 池 | 歴史的地区 | 特徴的建造物等 | 景観形成地区 |
| 民間緑地 | 河川 | 旧街道 | 主な公共施設 | 景観賞
過去受賞作品 |
| 公園 | 橋 | 神社・寺院 | 眺望点
(視点場) | |
| その他
(ゾーンベース等) | | 文化財、
歴史的資源 | | |
| 風致地区 | | 学術文化施設 | | |
- すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

駅前を中心に地域に親しまれる商業施設が立地する景観

地形

千里丘陵南端部の崖線に位置し、平地が広がっています。

歴史

千里丘陵の南側にあり、「糸田川・上の川改修記念碑」など水にゆかりのある史跡が残っています。

土地利用

駅周辺には身近な買い物が楽しめる商業施設が集積し、にぎわいのある景観が形成されています。

都市活動・暮らし

通勤・通学で駅を利用する人、駅前で身近な買い物を楽しむ人など、日々の暮らしのにぎわいが形成されています。

駅からは線路に沿って、上の川が眺められますが、近年遊歩道整備の計画により安全な歩行者空間の創出が期待されます。



駅前の商店街



駅前の景観

駅前のにぎわいの中にもすっきりとした景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさが感じられる、駅前の景観づくりに努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前のにぎわいの中にもすっきりとした景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 26, 27, 32, 35

景域 34 JR 吹田駅北口・片山商店街界隈



景域 34
配慮すべき近隣の景域



昔ながらの専門店と新たなアーケードでつながる商店街と、吹田のランドマークのある駅前の景観

地形

平坦な地形が広がっています。

歴史

片山商店街は、大阪高槻京都線の沿道に形成され、高度経済成長期に発展していきました。

JR吹田駅北口では再開発が行われ、平成8年(1996年)に事業が完了しました。メロード吹田は遠方からのランドマークとなっています。駅前広場はゆったりとしており、アサヒビール工場や片山商店街などへの玄関口となっています。市街地再開発事業に合わせて歩道・車道のデザインを工夫し、境界部をゆるやかに区切り電線を地中化するなど、ゆったりとした、歩いて楽しい道が整備され、「ブーメランストリート」と愛称が付けられました。

土地利用

片山商店街は、アーケードによって連続性のあるにぎわいの景観が形成されています。空き店舗もみられるようになっており、にぎわいや景観の面でも課題となっています。



メロード吹田



片山商店街

景観特性

都市活動・暮らし

片山商店街では、地域の人々に長く親しまれる商店街やスーパー、新たに開店した店舗などを利用する人々の姿がみられ、地域の小学校の児童が描いた児童絵画展が開かれるなど、地域コミュニティと密着した空間となっており、また、近隣の大学へ通う学生の姿もみられます。

風格のある駅前の景観をつくり、回遊性とにぎわいのある商業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、回遊性とにぎわいのある商業景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などをはかり、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 22, 23, 29, 38, 39, 45

景域 35 泉町界隈



	景域 35
	配慮すべき近隣の景域



	公的緑地		池		歴史的地区		特徴的建造物等		景観形成地区
	民間緑地		河川		旧街道		主な公共施設		景観賞 過去受賞作品
	公園		橋		神社・寺院		眺望点 (視点地)		
	その他 (オープンスペース)				文化財・ 歴史的資源				
	風致地区				学術文化施設				

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

入り組んだ細い道路があり、さまざまな住宅が建ち並び
密集住宅地

地形

吹田市役所の西側に位置し、本景域や周辺には平坦な地形が広がっています。また、西端に糸田川が流れています。

歴史

農地が広がっていましたが、豊津駅に近い景域の北側に住宅が立地しはじめ、高度経済成長期にかけて市街地が広がっていきました。

土地利用

入り組んだ細い生活道路が主であり、戸建住宅や低層の集合住宅、文化住宅などが混在する土地利用となっています。また、大阪内環状線沿いには、ロードサイド型の商業店舗などが建ち並び、にぎわいと活気があります。

都市活動・暮らし

さまざまな住宅が混在する密集住宅地であり、日々の暮らしの営みを感じさせる景観が形成されています。糸田川沿いの遊歩道は地域の人々に親しまれており、古くから続く地域の催事は「吹田市有形民俗文化財」に指定され、伝統を継承しています。



更新が進みつつある戸建住宅地



公園と隣接した集合住宅

住宅地としての落ち着きや安らぎを感じられる景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 27, 28, 31, 32, 33, 36, 37, 42, 43, 45

景域 36 阪急吹田駅界隈



	景域 36
	配慮すべき近隣の景域



景観特性

駅前、市役所・文化会館が立地する市の顔となる景観

地形

平坦な地形が広がっています。阪急吹田駅の上空を通る高架道路が特徴的です。

歴史

阪急京都・千里線の前身となる北大阪電気鉄道が大正 10 年（1921 年）に十三～豊津間の営業を開始した際に吹田駅（当時は西吹田駅）も開業され、その後駅前の特性を活かし、市役所、文化会館（メイシアター）、商工会議所など公共施設の立地が進みました。

土地利用

市の公共施設が集積する土地利用が形成され、文化会館（メイシアター）はいずみの園公園と隣り合い、オープンスペースを活かしたゆとりある景観が形成されています。

都市活動・暮らし

本市の顔として多くの市民に利用され、地域活動の拠点にもなっています。いずみの園公園でくつろぐ人の姿もみられます。



メイシアター



吹田市役所

公共施設のオープンスペースを活かし、まちの顔となる文化の薫り高いシンボル施設の景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

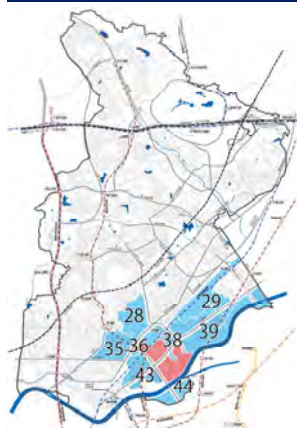
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、まちの顔となる文化の薫り高い景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 吹田高架橋の高架下や阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 35, 37, 43, 45

景域 37 内本町・南高浜町界隈



景域 37
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (観望点)	
その他 (オープンスペース)		文化財、 歴史的資源		
風致地区		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

吹田発祥の地で、歴史的資源が多く残り、旧街道の面影のある
まちなみと潤いのある住宅地

地形

地域の南側は神崎川・安威川に接しており、開放的な河川空間と潤いある川辺の平野が広がっています。

歴史

吹田の渡しから旧亀岡街道の入り口として栄えた吹田発祥の地で、かつての雰囲気伝えるように、細い通り沿いには板塀や漆喰塀、生垣などが並んでいます。また、旧集落の曲がりくねった道がまちなみに変化をもたらしています。

浜屋敷周辺は歴史をテーマとした環境整備が行われ、自然色の舗装や案内板なども整備され、歴史的景観を楽しめるようになっています。

土地利用

戸建住宅を中心とした土地利用の市街地が形成され、高浜神社や浜屋敷などの景域を特徴づける資源があります。昔ながらの屋敷など比較的大きな敷地もみられることから、建替えや敷地分割の際などには景観の継承と周辺景観への配慮が大切です。

都市活動・暮らし

地域の人たちによる歴史的なまちなみを活かした活動やアドプトロードの活動が行われています。

高浜橋からは、川の合流点の特徴的な風景や対岸の建築物群、美しい夕日・夜景などが眺められます。



高浜橋



旧亀岡街道

川沿いの建物から河川の眺望を楽しめる景観をつくり、旧街道の面影を尊重した歴史を感じさせる住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

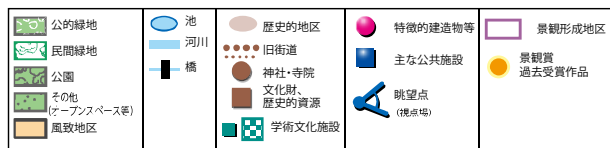
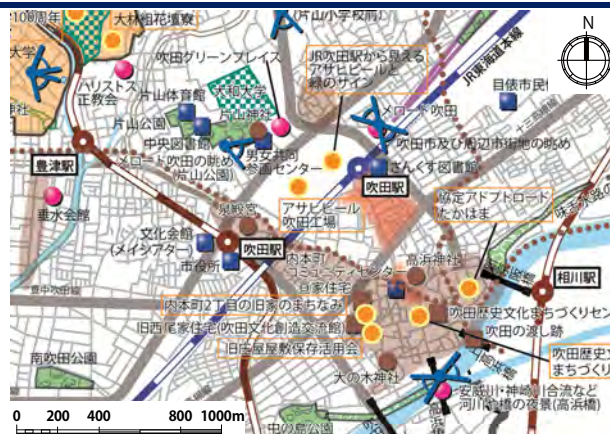
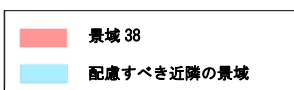
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- J R東海道本線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物や川に架かる橋などは、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 高浜橋のライトアップ等による特徴的な夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 28, 29, 35, 36, 38, 39, 43, 44, 45

景域 38 JR 吹田駅南口界隈



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

駅前広場を中心に、にぎわいある古くからの商業地

地形

平坦な地形に位置し、JR東海道本線と旧疎開道路に囲まれた景域となっています。

歴史

駅前には昭和後期の再開発によって駅前広場とともに商業業務と集合住宅の複合施設が整備され、さらに駅前広場は、バスの乗り換え利便性向上やバリアフリー化などによる再整備を行い、平成 23 年（2011 年）に新たに生まれ変わりました。

土地利用

吹田の玄関口として多くの人が集まる本市南部を代表する商業・業務地で、古くから商業の中心地として発展してきました。旭通商店街は歩道の拡幅などの再整備により、広々とした歩道に駐輪スペースの確保や植樹帯が設置されています。旭通商店街の西側には、衣料品店や食品店の並ぶ吹田市唯一の全天候式アーケードの新旭通商店街があります。

都市活動・暮らし

複数の商店街が個性のある通りを形成し、市民の生活利便を支えています。吹田さんくす夢広場ではさまざまなイベントが行われ、にぎわいを生み出しています。



吹田さんくす



旭通商店街

玄関口としての風格のある駅前風景をつくり、にぎわいのある商業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

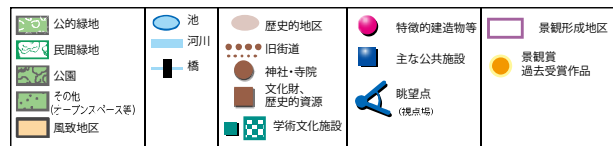
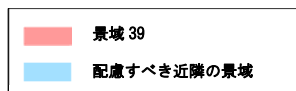
- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてにぎわいのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前としてふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 29, 34, 37, 39, 45

景域 39

JR 以南(東部)界限



● 市市民環境会議の活動...市全域

景観特性

川沿いの平坦なまちにおける下町風情の残る住宅地の景観

地形

平野に位置し、安威川に面した平坦な地形の景域となっています。安威川の近くには味舌水路を活用した遊歩道が整備されています。

歴史

古くから水田があり、戦前の耕地整理により整然とした通路が張り巡らされ、これらは現在の区画道路の基礎となっています。

戦後から高度経済成長期にかけて自然発生的な宅地化により市街地の拡大が進み、また、川沿いの川園町では府営住宅が整備されました。

土地利用

戸建住宅や集合住宅を中心とする土地利用となっていますが、十三高槻線沿いでは、商業業務施設も立地しています。

都市活動・暮らし

昔からこの地に暮らしている人が多く、高齢化が進んでいますが、下町的な地域の風情が感じられます。また、地域住民などによるアドブトリバーの取組も継続的に行われています。



集合住宅（団地）のまちなみ



安威川の河川敷

落ち着きと安らぎのある昔ながらの住宅地の景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋などのデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

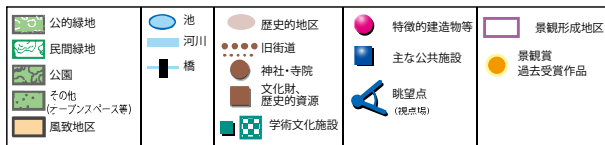
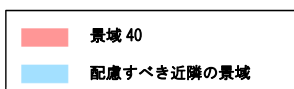
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線や阪急京都線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 29, 30, 34, 37, 38, 45

景域 40 神崎川沿い(南吹田の工業地)



神崎川に沿った開放的な河川空間と工場などが立地する景観

地形

市域を東西に流れる神崎川に沿って、広々とした水辺の景観が広がっています。

歴史

ももとは湿地が広がる地域で、大正期以降に神崎川沿いに工場の立地が進みました。

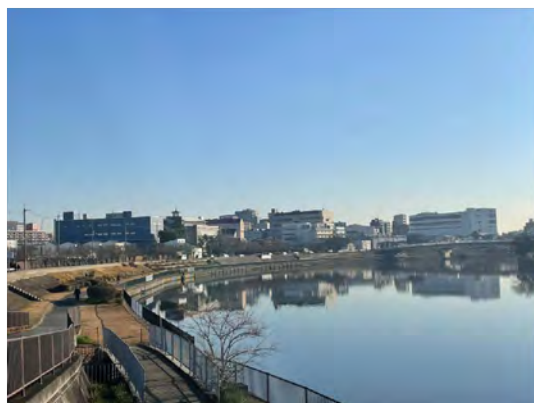
土地利用

神崎川沿いには、流通などの業務系施設や工場が立地し、周囲の緑化や外壁デザインの工夫などによる景観への配慮もみられます。

都市活動・暮らし

川沿いの生産流通施設に多くの就業者が働くとともに、隣接する住宅地と共存した暮らしが営まれています。天気の良い日には川沿いを散歩する人々の姿がみられ、桜の季節には神崎川沿いに立地する企業による春まつりが開かれるなど、川沿いでは様々なアクティビティが繰り広げられています。

景観特性



神崎川沿いの景観



大吹橋からの眺め

対岸からの見え方にも配慮し、地域に溶け込み人々に親しまれる潤いある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 中の島公園の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

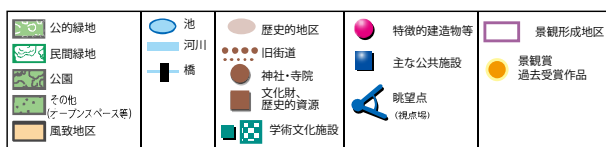
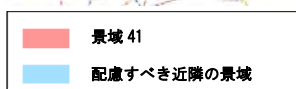
「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物や川に架かる橋などは、水面に映えるような演出に努める。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 25, 31, 41, 42, 43, 44, 45

景域 41 芳野町界隈



● 市市民環境会議の活動...市全域

景観特性

産業と住宅が共存する市街地と、大規模で緑あふれるレジャー施設から形成される景観

地形

市の南西端の神崎川に近接する低地に位置しています。

歴史

業務施設を中心とする地区でしたが、紡績工場の跡地を活用して、スポーツ施設や庭園などのレジャー施設が整備されました。

土地利用

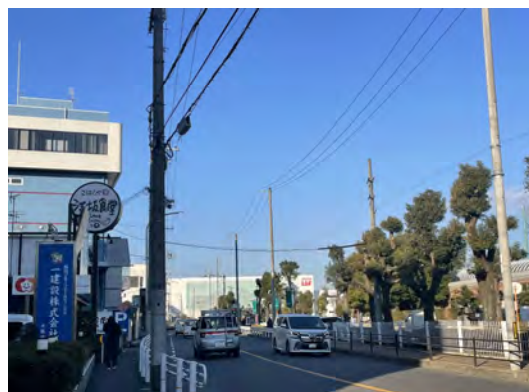
アメニティ江坂では、スポーツを中心とする大型レジャー施設や彫刻の美術館、手入れの行き届いた緑の景観が形成されています。周辺には業務施設や結婚式場、住宅による複合市街地が形成されています。

都市活動・暮らし

平日は業務施設で働く人、週末などはレジャー施設で余暇を楽しむ人による活動や景観が形成されています。



アメニティ江坂



幹線道路沿いの業務施設

にぎわいのある景観をつくり、敷地内の緑を活かした潤いある景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 大規模施設の緑などの景観資源をまもり、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

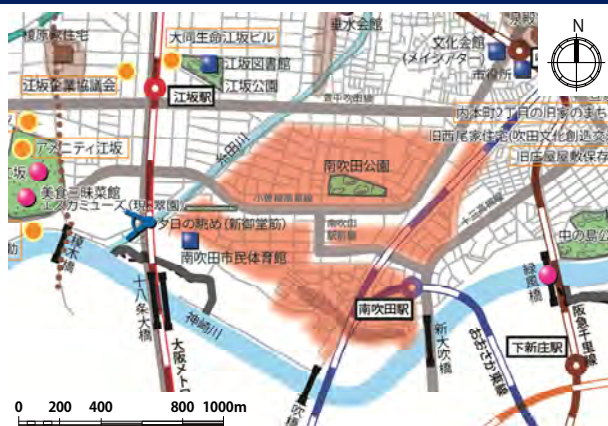
配慮すべき近隣の景域

景域 31, 40, 45

景域 42 南吹田駅界隈



景域 42
 配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞 過去受賞作品
公園	橋	神社・寺院	眺望点 (視点塔)	
その他 (オープンスペース等)		文化財、 歴史的資源	眺望点 (視点塔)	
風致地区		学術文化施設		

● ずいた市民環境会議の活動…市全域

平坦な地形に、面的開発により戸建住宅や集合住宅が立地する景観

地形

平坦な地形が広がっており、景域の西側には糸田川が流れています。

歴史

もともとは湿地が広がる地域であり、昭和期以降、南吹田一帯で土地区画整理事業が行われ、道路などの都市基盤が整いました。

土地利用

昭和45年(1970年)の日本万国博覧会(大阪万博)開催以降、周辺の開発にあわせて、南吹田でも工場や倉庫などの立地が進みました。一帯の区画整理事業を通して、戸建住宅や集合住宅も建ち並んでいます。住宅地に位置する南吹田公園は地域の緑の核として、地域の人たちに親しまれています。

平成31年(2019年)春に南吹田駅が開業し、周辺の幹線道路の整備も行われ、交通の利便性が高まりました。また、駅開業と共に整備された駅前広場にはかつてこの地域で水路から田へ水をくみ上げていた「ドンゴロス風車」をモチーフとしたモニュメントが設置され、昼夜ともに駅前のシンボルとなっています。



南吹田駅



フラワーロードの美化・環境維持活動

景観特性

都市活動・暮らし

南吹田駅まちづくり推進市民協議会が地元関係者により設立され、まちづくりのルールづくりや花いっぱいのみちづくりなどの取組が行われています。

穂波町自治会によりフラワーロードの美化・環境維持活動が継続して行われています。

緑やゆとり空間をまもり、南吹田駅前広場を新しい景観のシンボルとしてはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 南吹田公園の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- おおさか東線の高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を迎えるような光の演出に取り組むとともに、駅前にふさわしい照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 31, 35, 40, 43, 45

景域 43 JR 以南(西部)界隈



■	景域 43
■	配慮すべき近隣の景域



	公園の緑地		池		歴史的地区		特微的建造物等		景観形成地区
	民間緑地		河川		旧街道		主な公共施設		景観賞 過去受賞作品
	公園		橋		神社・寺院		眺望点 (観望場)		
	その他 (オープンスペース)				文化財・歴史的資源				
	風致地区				学術文化施設				

● ずいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

幹線道路沿いの商業施設などによるにぎわいと下町風情の残る住宅地の景観

地形

平坦な地形が広がっており、JR東海道本線や阪急千里線が通っています。

歴史

古くから水田があり、戦前の耕地整理により整然とした通路が張り巡らされ、これらは現在の区画道路の基礎となっています。

戦前から幹線道路沿いには住宅などが広がっていましたが、その他の農地だったところも戦後から高度経済成長期にかけて宅地化が進みました。

土地利用

戸建住宅や集合住宅を中心とする土地利用となっていますが、大阪内環状線沿いなどでは、商業業務施設も立地しています。

都市活動・暮らし

昔からこの地に暮らしている人が多く、高齢化が進んでいるところもありますが、下町的な風情が感じられるまちとなっています。



戸建住宅を中心とする景観



幹線道路沿いの商業施設・集合住宅

落ち着いたある住宅地の雰囲気をまもりつつ、幹線道路沿道のにぎわいをつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線や阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 35, 36, 37, 40, 42, 45

景域 44 東御旅町・西御旅町界隈



景域 44
配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

神崎川に沿った開放的な河川空間と工業地、住宅地が共存する景観

地形

平坦な地形で、神崎川沿いには広々とした水辺のオープンスペースが広がっています。

歴史

大正期以降に神崎川の水運を利用した工場が立地し始め、その後は軍需工場、現在は化学系の工場などが立地しています。

土地利用

多くは工場や流通系の施設、業務施設などで、一部に住宅もあります。敷地の緑化や外壁の工夫などもみられます。

都市活動・暮らし

工場や業務施設では多くの方が働き、経済を支える活発な企業活動が展開されています。また、神崎川沿いに立地する企業が参加する神崎川畔企業連絡会がアドプトリバーの団体認定を受け、河畔の清掃やイベントなどの活動を行っています。



神崎川沿いの景観



幹線道路沿いの業務施設

対岸からの見え方にも配慮し、地域に溶け込み人々に親しまれる潤いある産業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間をつくる。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成に努める。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物や川に架かる橋などは、水面に映えるような演出に努める。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 37, 40, 45

景域 45 幹線道路・鉄道沿線

景域 44 までは、景観に関する特性が類似するまとまりある地域から設定していますが、市内には名神高速道路や近畿自動車道、中国自動車道といった高速道路をはじめ、新御堂筋（国道 423 号）や大阪中央環状線、大阪内環状線（国道 479 号）といった、まちの骨格をつくる幹線道路が、縦横に整備されています。

また、JR東海道本線・おおさか東線、大阪メトロ御堂筋線、北大阪急電鉄、阪急千里線・京都線、大阪モノレール、大阪モノレール彩都線といった、複数の鉄道路線が整備されており、幹線道路とともにまちの骨格をつくっています。

そこで、面的にまとまった景域とは別に、市内の主要な幹線道路沿道および鉄道沿線をひとつの景域とし、景観まちづくり方針を定めます。

市内外を結ぶ幹線道路や鉄道における多彩な沿道・沿線景観

幹線道路は沿道の土地利用などにより景観の特性が異なっています。

【沿道住宅地（沿道緑保全型）】

千里ニュータウン内などを走る幹線道路は、元々谷筋の地形を活かし造られています。計画当初から無電柱化され、きれいに整った街路樹と、歩道、斜面緑地があり、その奥に住宅地が配置されていることで、開放感があり、ゆったりとした沿道景観が形成されています。また、各道路、あるいは住区ごとに異なる樹種の街路樹が植えられ、季節の彩りや道路の個性を演出し、樹種による道路愛称もつけられています。

【沿道住宅地（住環境配慮型）】

千里ニュータウン以外の住宅地内を走る幹線道路には近年整備されたものも多く、これら道路は無電柱化されたり植栽が施されており、ゆったりとした歩道も整備されていることから、住宅地内を安全、快適に歩くことができる空間を形成しています。

【沿道商業・業務地（ロードサイド型）】

昭和に入ってから開通した大阪高槻京都線は昔から産業を支えた道路であることから、産業道路とも呼ばれ、アサヒビール工場などが立地しています。一部無電柱化が進められるなど、景観の改善も進められてきています。他にも商業系用途地域が指定されている幹線道路沿いなどでは、ロードサイド型の比較的規模の大きい店舗や、集合住宅が建ち並び、店舗や住宅などが混在しています。にぎわいや活気のある沿道では様々な大きさや形、色彩の屋外広告物が掲出されており、それらに対する規制・誘導は沿道景観の課題の一つでもあります。

【高架道路】

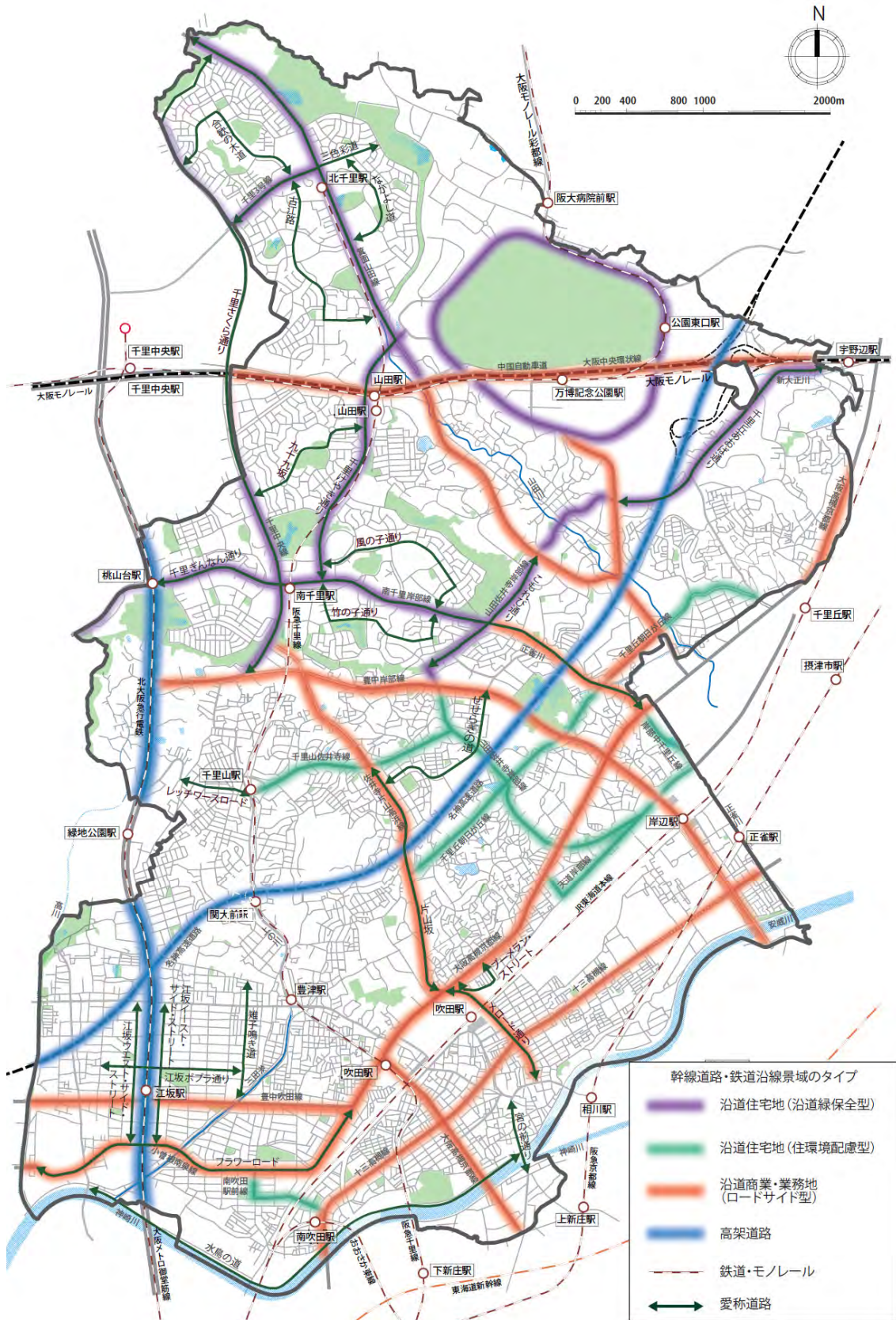
昭和 30 年代より、千里ニュータウンの開発や日本万国博覧会（大阪万博）の開催を機に整備された新御堂筋（国道 423 号線）は、大阪の都心部と北摂地域をつなぐ大動脈となっています。高架式の道路であることから、江坂駅周辺の商業施設やオフィスビル、春日の竹林など、さまざまな移り変わりゆく風景を眺めることができます。

【鉄道・モノレール】

市内には非常に充実した鉄道環境もあり、鉄道・モノレールの車窓からの眺めは多くの人の目に触れるもので、沿線の景観はまちのイメージと結びつくものとなります。また、鉄道沿いからは、列車による動きのある風景が眺められ、沿道の景観と調和した美しい眺めの場所もあり、印象的な景観を形成しています。

第2章 景観まちづくりの目標と方針
3 景域別景観まちづくり方針

幹線道路・鉄道沿線景域



潤いのある沿道・沿線景観をはぐくみ、周辺景域と調和した秩序あるまちなみをつくる

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

【沿道住宅地（沿道緑保全型）】

【沿道住宅地（住環境配慮型）】

【沿道商業・業務地（ロードサイド型）】

- 街路樹や斜面緑地の緑を保全し、適正な維持管理に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

【沿道住宅地（沿道緑保全型）】

【沿道住宅地（住環境配慮型）】

- 地形になじみ、周辺の景観に調和する敷地の演出に努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情の感じられる空間の創出を図る。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

【沿道商業・業務地（ロードサイド型）】

- 地形になじみ、周辺の景観に調和する敷地の演出に努める。
- にぎわいや楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。



三色彩道の並木



大阪内環状線（国道479号）



千里山佐井寺線沿道の住宅



千里ぎんなん通り

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

【沿道住宅地（沿道緑保全型）】

【沿道住宅地（住環境配慮型）】

【沿道商業・業務地（ロードサイド型）】

- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道の建築物等は、壁面や高さ、街路樹を活かした色彩計画により、開放感があり、洗練された質の高い沿道景観の形成を図る。
- 安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 歩道橋などの色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、周囲に調和する広告物の掲出に努め、道路からのシークエンス景観に配慮する。
- 照明灯、標識等の整理を図り、照明灯の色温度や配置・配光により夜間景観の演出を図り、安心安全な沿道景観の創出に努める。

【高架道路】

- 道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、周囲に調和する広告物の掲出に努め、道路からのシークエンス景観に配慮する。
- 照明灯、標識等の整理を図り、照明灯の色温度や配置、配光により夜間景観の演出を図る。

【鉄道・モノレール】

- 高架橋やデッキ、跨線橋などの色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 高架下や線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 周囲に調和する広告物の色や形を工夫するとともに、沿線の並木などの緑を保全するなど、車窓からのシークエンス景観に配慮する。
- ラッピング列車など、眺められる対象として、沿線の景観に配慮した車両の装飾などに努める。

配慮すべき近隣の景域

全景域



新御堂筋



阪急千里線沿線

景域ごとの景観に関する特性

景観に関する特性		景域										
		1 千里ニュータウン界隈	2 大阪大学界隈	3 北千里駅界隈	4 万博記念公園界隈	5 千里丘界隈	6 津雲台7丁目界隈	7 山田駅界隈	8 山田西界隈	9 山田東界隈	10 千里丘界隈（ミリカセンター跡地）	11 南千里駅界隈
地形	平野に広がるまち											
	丘陵部に広がるまち	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	潤いある川辺	●				●				●		
歴史	集落の面影が残る市街地									●		
	社寺が残る市街地	●								●		
	計画的に整備された市街地	●		●	●	●	●	●			●	●
	高度経済成長期時の整備											
	大学のある市街地		●									
土地利用	戸建住宅を中心とする住宅地	●				●				●		
	集合住宅を中心とする住宅地	●				●			●		●	
	多くの人が集まる商業・業務地			●	●			●				●
	生産・物流施設等の工業地						●					
	幹線道路沿い	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	駅周辺	●	●	●	●			●				●
	公園などの緑ある市街地	●	●		●	●			●			
都市活動・暮らし	住宅地で暮らす	●				●	●	●	●	●	●	●
	商業・工業地で働く			●	●		●	●				●
	大学や図書館などで学ぶ	●	●	●	●	●		●	●			●
	祭事・イベントなどを楽しむ		●	●	●					●		●
	自然を感じる	●	●		●	●			●	●		
	景色を眺望する	●			●	●	●		●	●		●

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	景域	景観に関する特性
春日界隈	千里山竹園界隈	千里山西界隈	千里山駅東側界隈	千里山東界隈	佐井寺界隈	佐井寺南・五月が丘界隈	岸部界隈	関大前駅界隈	上山手町界隈	原町・朝日が丘町・藤が丘町界隈		
							●				平野に広がるまち	地形
●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	丘陵部に広がるまち	
●								●	●		潤いある川辺	
●	●				●		●		●	●	集落の面影が残るまち	歴史
●		●			●		●				社寺が残る市街地	
	●	●	●			●					計画的に整備された市街地	
				●							高度経済成長期時の整備	
								●			大学のある市街地	土地利用
●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	戸建住宅を中心とする住宅地	
●	●		●			●			●		集合住宅を中心とする住宅地	
			●					●			多くの人が集まる商業・業務地	
											生産・物流施設等の工業地	
●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	幹線道路沿い	
		●	●					●			駅周辺	
●						●	●	●			公園などの緑ある市街地	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	住宅地で暮らす	都市活動・暮らし
			●					●			商業・工業地で働く	
			●			●	●	●			大学や図書館などで学ぶ	
			●	●	●		●	●			祭事・イベントなどを楽しむ	
●						●	●	●			自然を感じる	
●	●	●			●				●	●	景色を眺望する	

景域ごとの景観に関する特性

景観に関する特性		景域											
		23 岸部中・片山町界隈	24 北大阪健康医療都市界隈	25 江坂町界隈	26 円山町界隈	27 山手町界隈	28 出口町・片山町界隈	29 吹田貨物ターミナル駅・吹田機関区界隈	30 岸部南界隈	31 江坂駅界隈	32 垂水2丁目界隈	33 豊津駅界隈	34 JR吹田駅北口・片山商店街界隈
地形	平野に広がるまち	●	●	●				●	●	●	●	●	●
	丘陵部に広がるまち				●	●	●						
	潤いある川辺			●		●			●	●	●	●	
歴史	集落の面影が残るまち			●					●		●		
	社寺が残る市街地			●	●		●						
	計画的に整備された市街地		●		●			●		●			●
	高度経済成長期時の整備	●				●	●	●	●		●	●	●
	大学のある市街地						●						
土地利用	戸建住宅を中心とする住宅地	●		●	●	●			●		●		
	集合住宅を中心とする住宅地									●	●		
	多くの人が集まる商業・業務地		●				●		●	●		●	●
	生産・物流施設等の工業地							●					
	幹線道路沿い	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
	駅周辺		●					●	●	●		●	●
	公園などの緑ある市街地		●				●		●	●			
都市活動・暮らして	住宅地に暮らす	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●
	商業・工業地で働く	●	●				●	●	●	●		●	●
	大学や図書館などで学ぶ		●				●		●	●			
	祭り・イベントなどを楽しむ		●		●		●		●	●			●
	自然を感じる		●	●			●		●	●	●	●	
	景色を眺望する				●		●			●			●

35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	景域	景観に関する特性
泉町界隈	阪急吹田駅界隈	内本町・南高浜町界隈	J R吹田駅南口界隈	J R以南（東部）界隈	神崎川沿い（南吹田の工業地）	芳野町界隈	南吹田駅界隈	J R以南（西部）界隈	東御旅町・西御旅町界隈	幹線道路・鉄道沿線		
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平野に広がるまち	地形
											丘陵部に広がるまち	
●		●	●	●	●		●		●	●	潤いある川辺	
		●									集落の面影が残るまち	歴史
		●									社寺が残る市街地	
	●		●		●	●	●			●	計画的に整備された市街地	
●				●				●	●	●	高度経済成長期時の整備	
										●	大学のある市街地	土地利用
●		●		●		●	●	●		●	戸建住宅を中心とする住宅地	
			●	●			●	●			集合住宅を中心とする住宅地	
			●			●					多くの人が集まる商業・業務地	
					●		●		●	●	生産・物流施設等の工業地	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幹線道路沿い	
	●		●				●				駅周辺	
				●	●	●	●			●	公園などの緑ある市街地	都市活動・暮らし
●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	住宅地で暮らす	
			●		●	●	●		●	●	商業・工業地で働く	
	●	●	●	●	●	●				●	大学や図書館などで学ぶ	
●	●	●	●				●			●	祭事・イベントなどを楽しむ	
●		●		●	●	●	●		●	●	自然を感じる	
		●		●	●				●	●	景色を眺望する	

第3章 景観まちづくりの 推進に向けて

- 1 推進方策
- 2 景観まちづくり計画の運用

1 推進方策

本市がめざす景観の将来像の実現に向けて、景観の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに取り組むとともに、規制・誘導、啓発等により、計画を推進していきます。

また、将来像の実現のためには、行政だけでなく市民や事業者、専門家など様々な関係者がそれぞれの取組を積極的に行っていく、あるいは互いに連携・協働した取組を行い、それらを積み重ねていくことが重要となります。

(1)景観の質を高める

建築物に対する周辺のまちなみと調和したデザインへの誘導をはじめ、吹田の景観を構成している個々の要素について、保全だけでなく改善や育成がすすむよう、景観アドバイザー会議の活用などの働きかけを行うことにより、景観の質の向上を図ります。

1)デザインの質の向上と誘導

景観アドバイザー会議や景観形成地区の指定などを活用しながら、それぞれの景域が有する特性に調和した建築物等のデザインを誘導します。

特に公共事業は、良好な景観まちづくりの先導的役割を果たすことから、公共空間のデザインの質のさらなる向上とともに、地形や歴史、土地利用を十分に踏まえたデザインへの誘導を図ります。

2)夜間景観への配慮

商業地や住宅地、歴史的なまちなみ、緑や水辺といった特性に応じたふさわしい夜間景観のあり方を考慮し、光の明るさや強さ、色温度や配置、配光などに配慮します。公共施設においても、安全や安心を確保するための明るさなどは維持しながら、地域の特性に配慮した夜間景観の形成に努めます。

3)屋外広告物の規制・誘導

屋外広告物について、条例やガイドラインなどにより、大きさや配置、色彩などを周辺の景観と調和するように、規制・誘導を行います。

4)景観資源の保全・育成

これまでの「大阪都市景観建築賞」や「吹田市景観まちづくり賞」において表彰された建築物等や、その他の景観上重要な資源について、保全・育成に取り組むとともに、重要な建造物や樹木については、景観重要建造物および景観重要樹木に指定し、法に基づき保全を図ります。

(2)地域特性を活かした景観まちづくりを進める

地域の特性をまもり、つくり、はぐくむため、景域別景観まちづくり方針に基づき、市民や事業者等の働きかけにより地域の景観まちづくりを進めます。

1)まちを知る『きっかけづくり』

広く市民にまちのことを知ってもらうために、地域の景観特性や吹田の魅力的な景観などの情報提供を積極的に行うとともに、市民や事業者からの景観に関する意見や情報の収集に努めます。

2)景観を考える『機会づくり』

住民など地域に関わる人たちとともに景観を考え、景観まちづくりを実践していくための機会をつくっていきます。具体的には、タウンウォッチングや出前講座、地域ごとのワークショップなど景観に関する取組を実施します。

3)景観まちづくりを具体化する『仕組み・ルールづくり』

近隣住民が協力して行う景観まちづくりについて、活動の継続や発展のため、情報提供や活動への助成、花苗の提供などの各種支援に取り組みます。

地域での景観形成に向けた機運が高まり、景観の方向性が明確になってくれば、景観形成の具体化のため、景観アドバイザー派遣などの支援に取り組みます。地域住民のニーズも踏まえ、景観形成地区、景観配慮地区*をはじめとする各種地区の指定へとつなげていき、既成市街地における指定についても検討します。

* 景観配慮地区：景観形成地区以外の景観計画区域内において、景観上良好な特性を有する地域又は景観に特に配慮したまちづくりの必要性があると認める地域。

(3)規制・誘導、啓発、支援、調整により景観まちづくりを進める

景観の質の向上や地域の特性を活かした取組に対して、規制や誘導、啓発、支援などを行うほか、関連計画や施策との調整を図り、良好な景観まちづくりを進めます。

1)景観形成基準の適切な運用

景観の将来像を実現していくために、届出を必要とする行為に対して、本計画を推進するための制限などを定めた景観形成基準を適切に運用します。

2)景観デザインマニュアル等の共有

市民、事業者、専門家等、行政が景観の目標や方針を共有し、それぞれが主体的に景観まちづくりに取り組んでいけるよう、景観特性を尊重したデザインとするための考え方や視点、手法やプロセスなどを示した景観デザインマニュアル等により景観まちづくりの誘導を図っていきます。

3)景観に関する意識醸成に向けた啓発

市民が日常生活の中で景観を意識し、景観を身近に感じるため、市報への掲載やパンフレット等の作成、SNS などのツールの活用、庁舎や身近な地域での展示などにより、景観まちづくりに触れる機会を増やす取組を行います。また、景観まちづくりの担い手としての意識を醸成するため、学校教育や地域の中での景観教育に取り組みます。地域の景観資源などについて情報発信し、地域への誇りと愛着をはぐくみます。

4)吹田市景観まちづくり賞等の開催

市民が気軽に景観まちづくりに関わるきっかけとして、「吹田市景観まちづくり賞」やまち歩き、景観パネル展などを企画し、開催していきます。

5)景観アドバイザー派遣、景観まちづくり活動補助金による支援

市民団体などが自ら行う景観まちづくり活動などに対して、関連する知識や情報提供など技術的な支援を行うための景観アドバイザー派遣を引き続き実施していきます。

また、市民主体の景観まちづくり活動のさらなる活性化のために、これら活動に対して必要な経費の一部を補助する景観まちづくり活動補助金を活用し、支援を行います。

6)市内および他行政・他団体への働きかけと分野を超えた景観まちづくり

商店街でのにぎわいなど、景観に関連すると認識されづらい事柄について、景観まちづくりに関連するという認識を持ち、積極的に関連部局と連携し、事業の中での景観への意識づくりに取り組みます。

国や大阪府の行う事業についても、周辺との調和や景観の質を高めるデザインとなるよう働きかけを行います。その他、鉄道や公的住宅の建設といった本市以外が実施する公的な事業においても、良好な景観まちづくりに向けた誘導や連携を図ります。

近隣市にまたがって広がるエリアを対象とした課題に対しては、当該市等との連携を十分に図りながら、良好な景観の保全や育成、創出などに努めます。

(4)「小さな取組」と「協働」によって景観まちづくりを進める

例えば、市民や事業者が自らの敷地や建物をきれいに保つような個々の取組（これらを「小さな取組」という）も景観まちづくりの大切な要素であり、これらの取組を意識し促進していきます。また、市民、事業者、専門家等、行政、それぞれが互いに連携し、協働することによって景観まちづくりの推進を図ります。

1)「小さな取組」による景観まちづくり

市民、事業者、専門家等、行政がそれぞれの役割に応じて行う景観まちづくりに関する「小さな取組」が継続され、まちに編み込まれることにより、吹田らしい景観が形づくられていきます。

①市民

家の庭づくりや近所の道路や公園の清掃など、日常の何気ない行動が景観まちづくりにつながっていることを意識し、まちや地域に関心を持ち、まちを「住みこなす」ことを意識しながら生活を送ることが大切です。

また、若い世代を中心に、主体的にまちづくりやにぎわいづくりに関わる人たちも増えてきており、これらの「住みこなす」取組などを行政や専門家等とも連携しながら広げ、発信していくことも大切です。

②事業者

建設等の事業を行う際には、景観まちづくりの主体としての意識を持ち、周辺との調和やより良いデザインをめざすほか、日常の事業活動においても、景観まちづくりを意識し、地域に貢献していくことが大切です。

③専門家等

専門的な知識を活かし、景観まちづくりについて、市民など関係者にアドバイスするとともに、事業者や行政が行う事業等に対して、積極的に助言することが求められます。

④行政

建築物や屋外広告物等のデザインの誘導や公共施設のデザインの質の向上に取り組み、良好な景観まちづくりに努めます。

庁内研修など景観まちづくりに関する企画を検討、実施し、職員一人一人の意識醸成を図り、業務上行う小さな取組が景観まちづくりにつながる意識を高めます。

2)関係者間の協働による景観まちづくり

市民、事業者、専門家等、行政といった本市の景観まちづくりに関わる人々が互いに連携、協働し、それぞれが取組を紹介、発信することにより、個々の「小さな取組」の効果相乗的に高めていくことが可能となります。

1 推進方策

- ・日常の何気ない行動が景観まちづくりにつながっていることを意識し、まちや地域に関心を持ち、まちを「住みこなす」ことを意識する
- ・庭づくりや公園の清掃など、身近な景観まちづくりに取り組む

市民

- ・景観まちづくりの主体としての意識をもつ
- ・日常の事業活動において、景観まちづくりを意識し、地域に貢献する

事業者



専門家等

- ・専門的な知識を活かし、景観まちづくりについて市民等にアドバイスする
- ・事業者や行政が行う事業等に対して、助言する

行政

- ・建築物や屋外広告物等のデザインを誘導する
- ・景観まちづくりに関する庁内研修などを行い、職員の意識醸成を図る
- ・業務上行う「小さな取組」が景観まちづくりにつながることを意識する

● 個々の「小さな取組」



景観まちづくり



市民



事業者



専門家等



行政

2 景観まちづくり計画の運用

(1)持続可能な景観まちづくり計画とするための運用

景観の将来像を実現していくために、計画に位置付けた推進方策の継続的な業務の改善を促す「PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）」による適切な進行管理を行うことにより、持続的な取組を行っていきます。

また、景観まちづくり条例や屋外広告物条例に基づく事前協議件数や、景観アドバイザー会議を活用した助言件数とその効果を評価するとともに、重点地区（景観形成地区と景観配慮地区）の地区指定数、吹田市景観まちづくり賞の推薦物件数などの増加をめざします。

それらの指標を用いて検証・評価を行い、推進方策などの見直しに反映していきます。

PDCA サイクルによる計画の運用



- | | |
|---------------|--|
| Plan | : 景観まちづくり計画を策定（改定）する。
: 本計画に定めた将来像や目標を達成するため、推進方策に基づき市民、事業者、専門家等、行政が「小さな取組」を行う。合わせて、関係者間で協働しながら取組を推進する。 |
| Do | : 吹田市景観まちづくり審議会、吹田市まちづくり検討委員会などに、各年度の取組の進捗状況を報告し、意見を聴取する。また、定期的に目標、指標の達成状況を報告し、評価を求める。 |
| Check | : 評価の結果を踏まえ、必要に応じて方策の見直し、改善を行う。 |
| Action | |

(2)吹田市の考える景観まちづくりの成果とは

本計画において示してきたとおり、景観とは、私たちが眺めるまちの景色や、日常の様々な活動や暮らしの様子、また市民一人一人の取組などにより創り出され、市民共有の財産となります。

景観は、時間をかけて積み重ねることで形成されるものであり、景観まちづくりの目標は、指標により達成度を計ることだけでなく、市民や本市を訪れる人々が吹田のまちなみをきれいと感じ、心地よく過ごしてもらえること、いつまでも住み続けたい、また訪れてみたいと感じてもらえることであり、それらが景観（景感）まちづくりの成果となります。



参考資料

参考1 アンケート調査結果について

■調査概要

「景観まちづくり計画」の策定から十数年が経過する中、計画の見直しにあたり、これまでの本市の景観形成に関する取組について、市民の皆さまの思いや考え方をお聞きし、見直しの参考とするためにアンケート調査を実施しました。

配付日	令和元年（2019年）9月13日	
回収期限	令和元年（2019年）9月31日	
対象者	一般(市全域)	吹田市在住の18歳以上85歳以下の方（無作為抽出）
	重点地区	新芦屋上地区または長野東地区(1)在住の18歳以上85歳以下の方
配布方法	一般(市全域)	郵送
	重点地区	各戸にポスティング
配布数	一般(市全域)	2000部
	重点地区	1000部
回答数	一般(市全域)	747部(回収率：37.4%)
	重点地区	354部(回収率：35.4%)
回収方法	同封の返信用封筒を用いて市に返送	

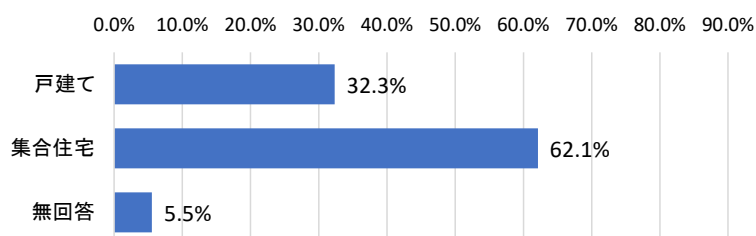
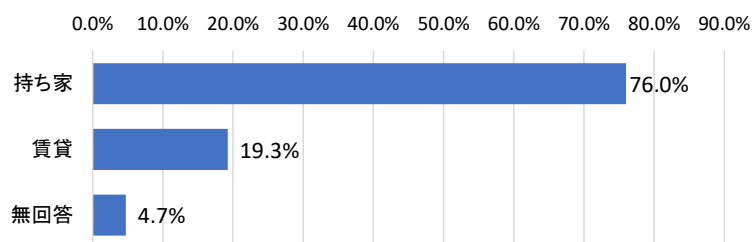
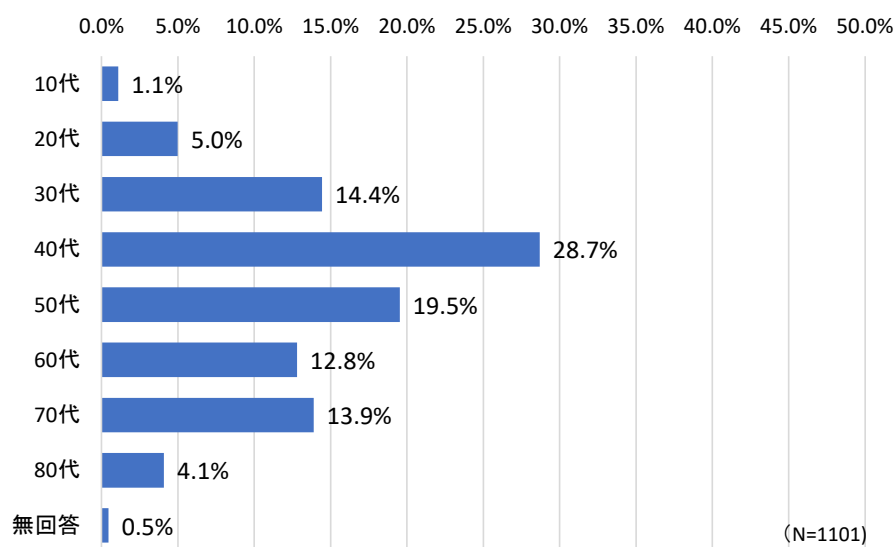
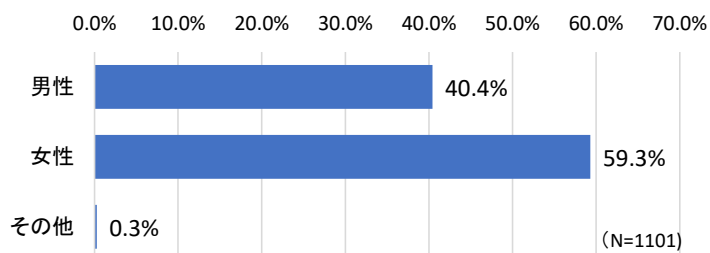
■結果概要

- ・ 回答者について
 - 住まいの所有形態は、全体的に持ち家が多い。(76%)
 - 住まいのタイプは、約 60%が集合住宅である。
- ・ 市内の景観について(問 1~3)
 - 市内各地にある魅力ある景観や環境について、約 70%以上の人がその特徴を知っている。
 - 約 70%以上の人が上記の景観や環境の特徴を大切だと感じている。
 - 吹田市を特徴づける大切な景観として、「緑豊かな景観」「万博公園周辺の新たなにぎわいの景観」などが上位に挙がっている。
 - 市内の景観の変化に対する印象については以下の通り。

良くなったと思う	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンションなど大規模建築物のデザイン・色彩 ・ 住宅地のデザイン・色彩や緑 ・ ごみのポイ捨てや自転車の放置状況 ・ 水辺や公園、道路などの公共空間の緑
良くなったとは思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前や商店街のにぎわい ・ 屋外看板や広告物の色彩や大きさ
 - 重点地区の認知度は低い。(重点地区在住者であっても多くの人知らない)。
- ・ 地域の環境や景観のルールについて(問 4)
 - 地域の環境や景観に関するルールについては、多くの人が必要を感じており、「環境を良くするためのルール」「ごみのポイ捨てなどに関するルール」「建て替えの際に守るべきルール」が上位に挙がっている。
 - ルールはいらないと回答した人は、「常識なのでルールはいらない」「ルールがなくても悪くなるとは思えない」という理由を挙げている。
- ・ 景観まちづくりへの関心や参加意識について(問 5~6)
 - 約 70%の人が景観のまちづくりに関心があると答えている。
 - 約 90%の人は景観のまちづくりに関する催しには参加したことがない。
- ・ 景観賞について(問 7)
 - 景観賞の認知度は低い。(約 95%の人が知らない)
- ・ 重点地区について(問 9)
 - 重点地区在住者であっても約 70%の人は知らない。
 - 一方でまちなみや環境については概ね高評価であり、約 70%の人が今後も住み続けたいと回答している。

参考1 アンケート調査結果について

■回答者について



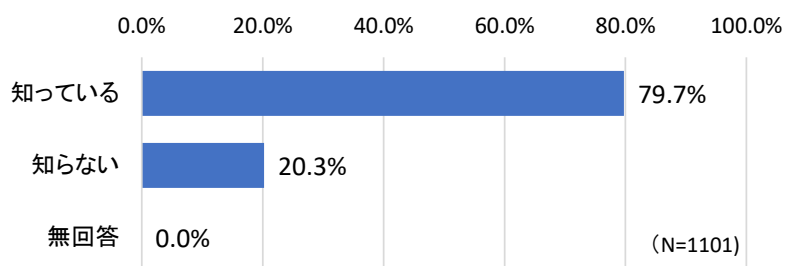
■問 1-1

景観とは「人の暮らしの様子なども含めたまちなみや都市の風景」の事です。良好で魅力のある景観は、快適な暮らしの環境の条件であると同時に、市民に愛着や誇りをもたらしてくれます。

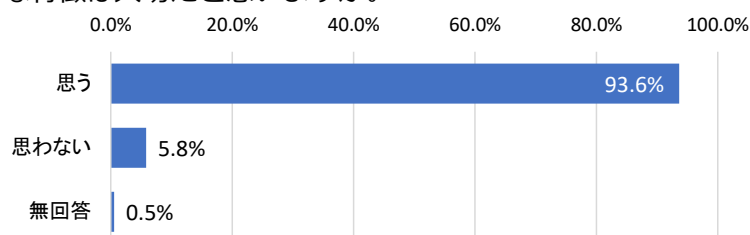
このような観点に立った時、あなたが、これからも大切にしていきたいと思う場所や景観はどのようなものですか。次の質問に対して当てはまるものを選んでください。

①吹田市は丘陵地に位置しているため、地形の変化に富み、魅力的な眺望が見られるとともに斜面緑地など緑の環境があります。

- ・ このような特徴を知っていますか。



- ・ このような特徴は大切だと思いますか。

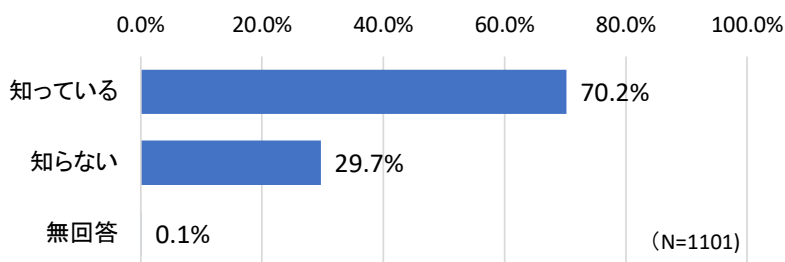


・ 「知っている」と回答した人が全体の約 80%であり、本市が地形に富み、それらによる眺望や緑など魅力的な環境が形成されていることが、多くの市民に共有されています。

・ また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 94%になっています。

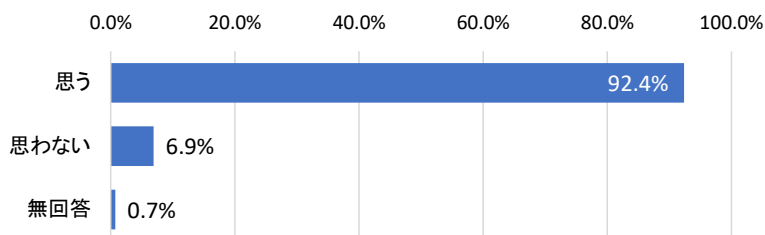
②吹田市は神崎川・安威川の河港として発展してきたことから、河川という豊かな水辺環境があり、また、ため池や公園内の池などが多く見られます。

- ・ このような特徴を知っていますか。



参考1 アンケート調査結果について

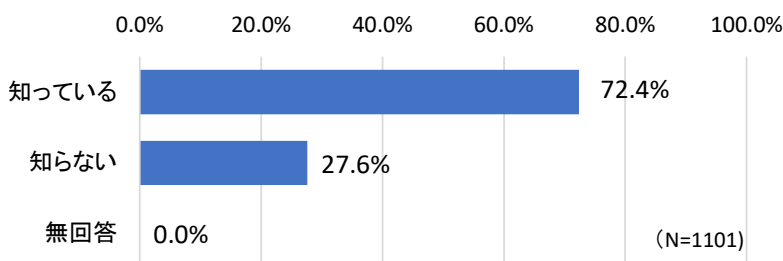
- このような特徴は大切だと思いますか。



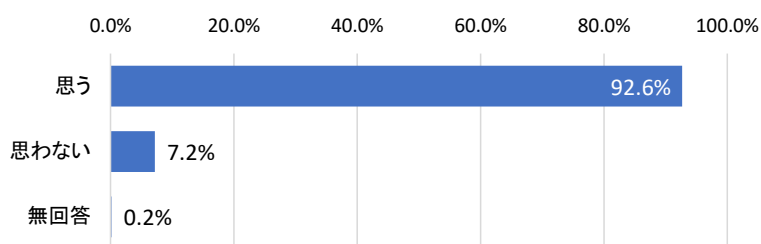
- ・「知っている」と回答した人が全体の約70%になっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約92%となり、本市の豊かな水辺環境は多くの市民に親しまれています。

③市内には江戸時代からの内本町、山田、佐井寺、岸部など旧集落や旧街道などの歴史的な趣のあるまちなみが今も残っています。

- このような特徴を知っていますか。



- このような特徴は大切だと思いますか。

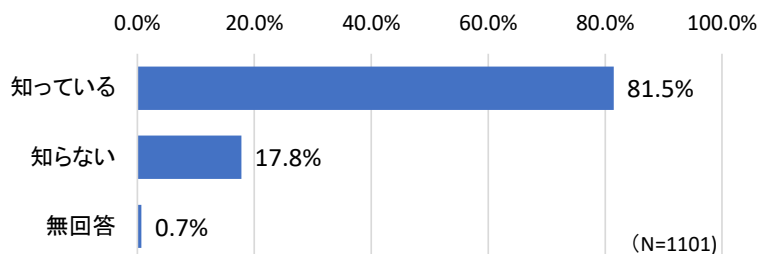


- ・「知っている」と回答した人が全体の約72%となり、本市の歴史を感じられる旧街道や旧集落、趣あるまちなみなどは多くの市民に共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約93%になっています。

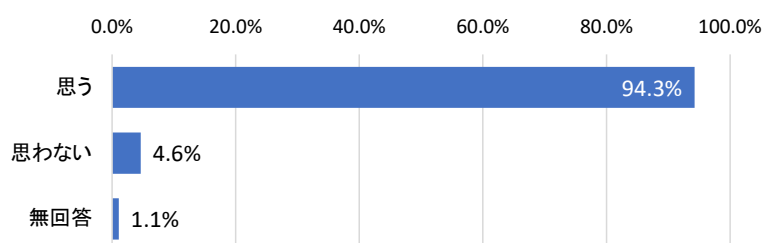
参考1 アンケート調査結果について

④明治以降、千里山の住宅地が開発され、さらには千里ニュータウンや佐井寺の住宅地が開発され、緑豊かで落ち着いた景観の住宅地が広がっています。

- このような特徴を知っていますか。



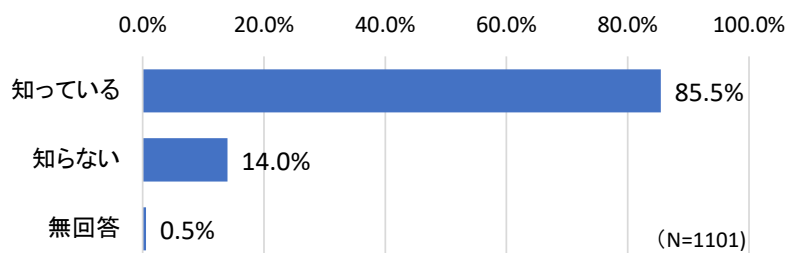
- このような特徴は大切だと思いますか。



- ・「知っている」と回答した人が全体の約 82%となり、住宅地開発によって緑豊かで落ち着いた景観が広がっていることが多くの市民に共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 94%になっています。

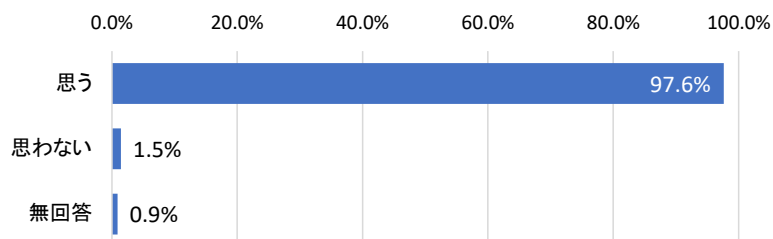
⑤まちの開発の中で江坂公園や千里南公園など緑豊かな公園が整備され、地域の緑の拠点となっています。

- このような特徴を知っていますか。



参考1 アンケート調査結果について

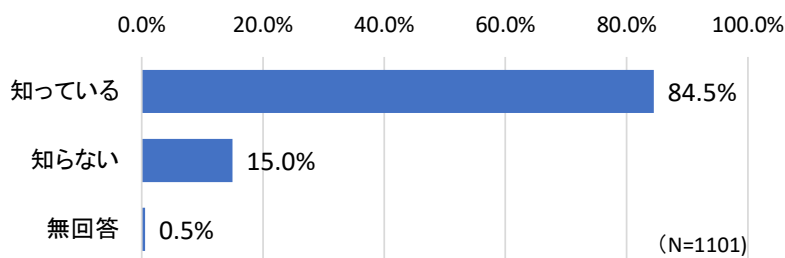
- このような特徴は大切だと思いますか。



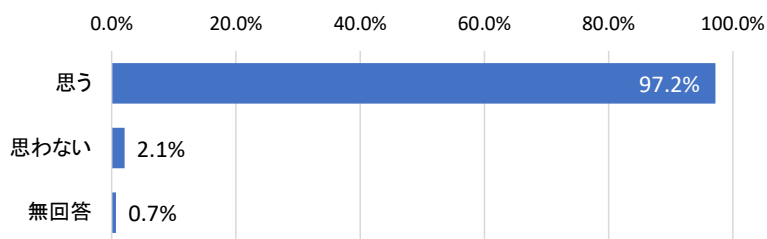
- ・「知っている」と回答した人が全体の約 86%となり、江坂公園や千里南公園などは地域の緑の拠点として、馴染みのある景観となっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 98%になっています。

⑥整備された道路には並木が植えられ、四季の表情が感じられる空間となっています。

- このような特徴を知っていますか。



- このような特徴は大切だと思いますか。

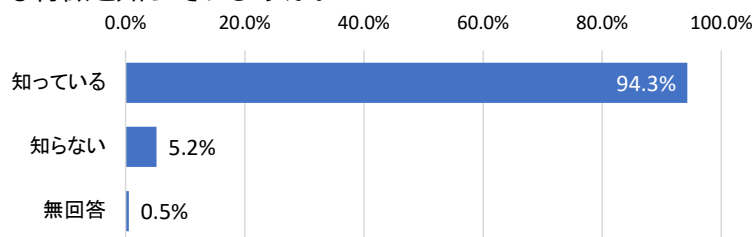


- ・「知っている」と回答した人が全体の約 85%になっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 97%になっています。

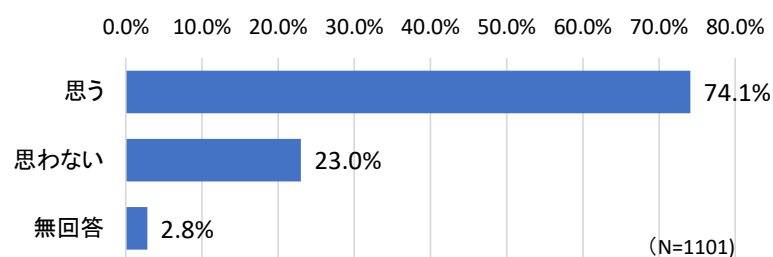
参考1 アンケート調査結果について

⑦江坂駅周辺には、高架の道路や鉄道が通り、業務・商業ビルが集積しています。

- このような特徴を知っていますか。



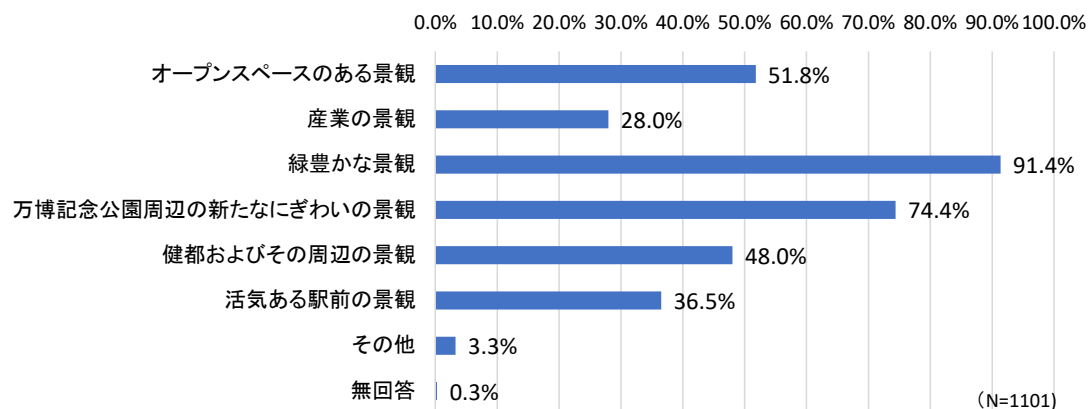
- このような特徴は大切だと思いますか。



- ・「知っている」と回答した人が全体の約 94%になり、業務・商業ビル景観が江坂駅周辺の特徴的景観の一つとして広く共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 74%になっています。

■問 1-2

吹田市を特徴付ける地区や場所であり、現在もそして将来も吹田市の魅力を高めていく大切な景観であるとあなたが思うものを選んでください。(複数回答)



・本市の魅力を高めていく大切な景観であると思うものについて、「緑豊かな景観」の約91%が最も多く、ついで「万博記念公園周辺の新たなにぎわいの景観」の約74%、「オープンスペースのある景観」の約52%になっています。みどり豊かな公園などの憩いの場や、にぎわいがあり人が集まれる景観が大切だと感じています。

■問 1-2(その他への回答内容)

吹田市を特徴付ける地区や場所であり、現在もそして将来も吹田市の魅力を高めていく大切な景観であるとあなたが思うものを選んでください。

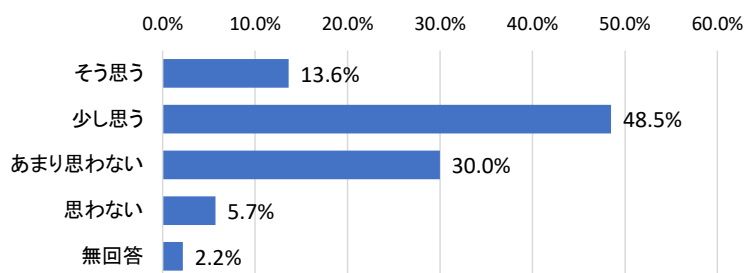
- ・その他の件数について
 - － 一般は747件のうち36件、重点地区は354件のうち17件の回答があった。
- ・回答内容について
 - － 一般：「遊歩道のような散策のできる道」「江坂駅周辺の商業・業務地区の高度集積景観」「佐井寺南ヶ丘公園や総合運動場の近隣景観」「公園で子どもたちが安心して遊んでいる姿」「公園などの緑の多い景観」
 - － 重点地区：「伊射奈岐神社等の歴史ある景観」「服部緑地・千里緑地」「ヒメボタルの保護地域」「紫金山公園など元々あった緑の景観」「緑の多い・落ち着いた住宅地の景観」

■問2

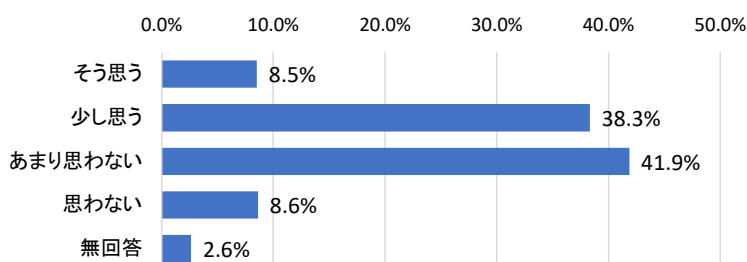
吹田市はここ10年、まちの景観について様々な取組を行ってきました。以前と比べてあなたが感じる評価をお聞きします。次の質問に対しての評価をお答えください。

①最近まちなかに建てられるマンションなどの規模が大きな建築について

- ・ デザインや色彩が良くなってきた



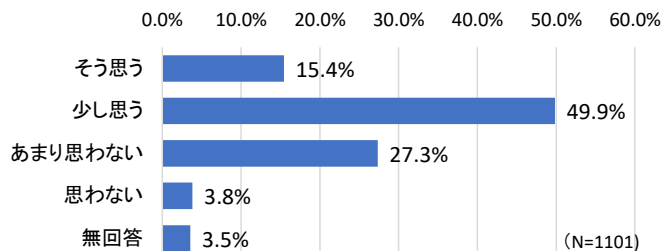
- ・ 周辺を歩いていて圧迫感を感じなくなるなど、周囲と調和するようになってきた



- ・ デザインや色彩に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約62%となっており、近年のマンションのデザインや色彩が良くなったと感じています。
- ・ また、圧迫感や周囲との調和に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約47%となり、半数近くの方が大規模建築物に圧迫感を感じる事が少なく、まちなみと調和する景観形成になっていると感じています。

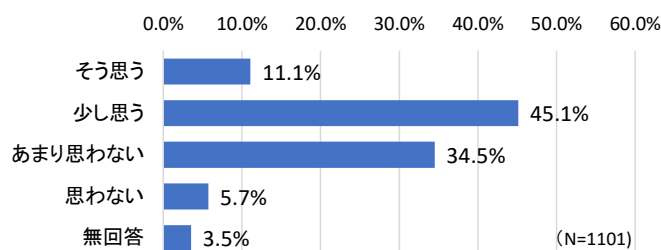
②最近建設された住宅地などの家並みについて

- ・ デザインや色彩が良くなってきた



参考1 アンケート調査結果について

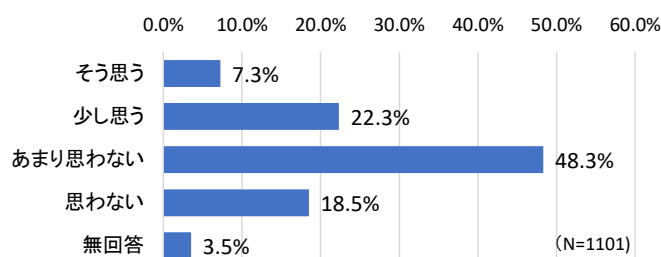
- 十分に緑が植えられ手入れも行き届いている



- デザインや色彩に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 65%になっています。
- また、緑の手入れが行き届いているかに対し「そう思う」「少し思う」と回答した人は全体の約 56%になっています。

③近年の駅前や商店街のにぎわいについて

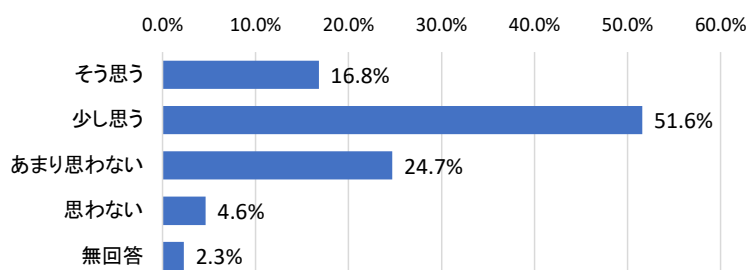
- にぎわいが出てきた



- 「思わない」「あまり思わない」と回答した人が全体の約 67%になっています。

④ごみのポイ捨てや自転車の放置状況について

- 全体的に良くなり、街がきれいになった

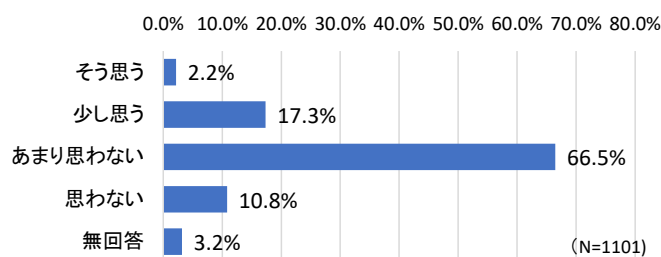


- 「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 68%になり、多くの方が、街がきれいになったと感じています。

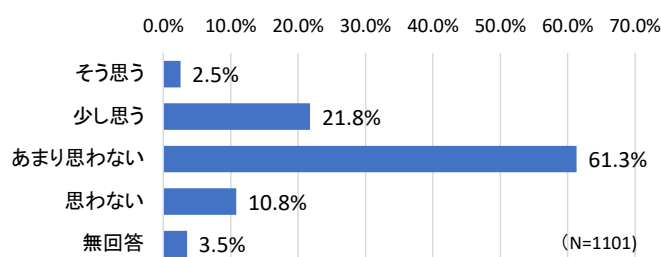
参考1 アンケート調査結果について

⑤最近の看板・広告などの色彩や大きさについて

- ・ 広告の色彩は周囲と調和するものになった



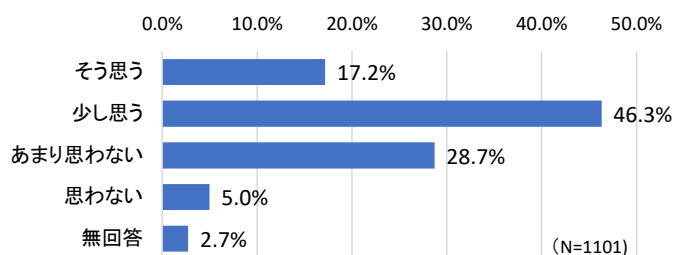
- ・ 広告の大きさは圧迫感のない適切なものになった



- ・ 周囲との調和に対し「思わない」「あまり思わない」と回答した人が全体の約 77% になっています。
- ・ また、圧迫感がない適切なものかに対し「思わない」「あまり思わない」と回答した人が約 72%となっています。どちらの回答も「思わない」「あまり思わない」が 70% 以上となっており、広告景観はあまり改善されていないと感じています。

⑥水辺や公園、道路などの公共の空間について

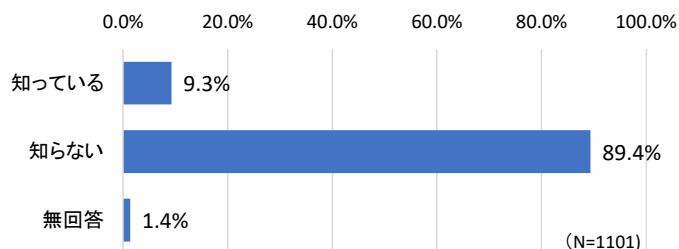
- ・ 緑が豊かになり、手入れも行き届くようになってきた



- ・ 「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 64%になり、水辺や公園、道路など公共の空間に緑豊かな景観が形成されていると多くの市民が感じています。

■問 3-1

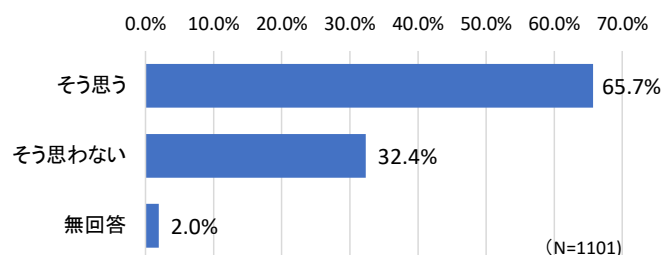
吹田市では開発に当たってその地域の特徴を活かす景観基準を個別に設けた地区(重点地区)が 21 地区あります。あなたはこのことをご存知ですか。



・「知らない」と回答した人が全体の約 89%になり、重点地区が市民にほとんど知られていない結果になりました。

■問 3-2

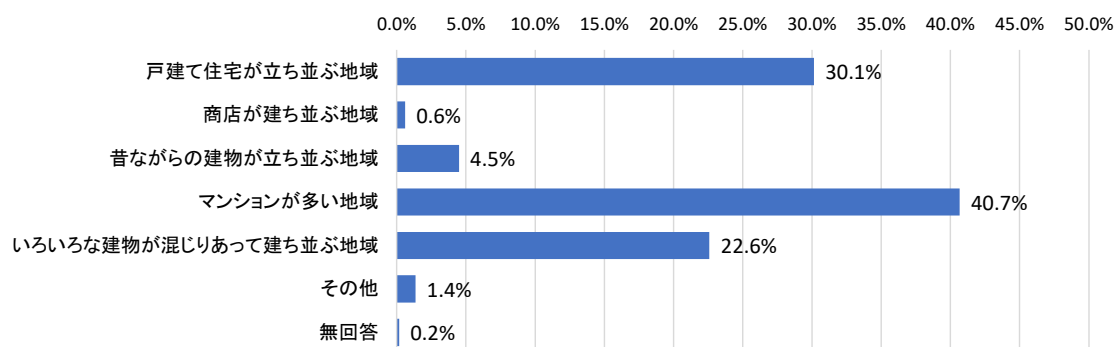
問 3-1 で「知っている」と答えた方にお聞きします。あなたは、このような取組の結果、環境に調和した魅力あるまちなみが形成されたと思いますか。



・「そう思う」と回答した人が約 66%となり、問 3-1 で「知っている」と回答した人の多くが、景観基準によって地域の特徴を活かした魅力あるまちなみ景観が形成されていると感じています。

■問 4-1

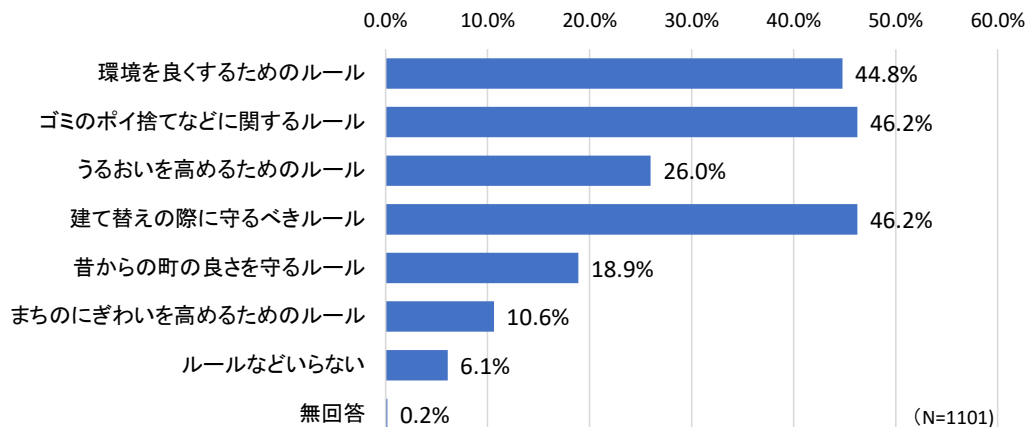
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。



・「マンションが多い地域」が約 41%と最も多く、ついで「戸建て住居が建ち並ぶ地域」の約 30%、「いろいろな建物が混じりあって建ち並ぶ地域」の約 23%となっています。マンションや戸建て住宅が建ち並ぶ地域に住む人が多い結果となりました。

■問 4-2

あなたがお住まいの地域にはどのような環境や景観に関するルールが必要だと思いますか。(複数回答)

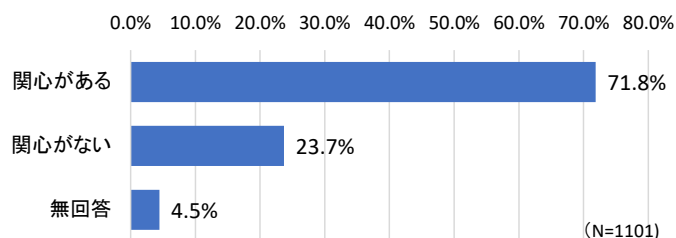


・「ゴミのポイ捨てなどに関するルール」、「建て替えの際に守るべきルール」が最も多く約 46%、ついで「環境を良くするためのルール」の約 45%、「潤いを高めるためのルール」の約 26%となっています。

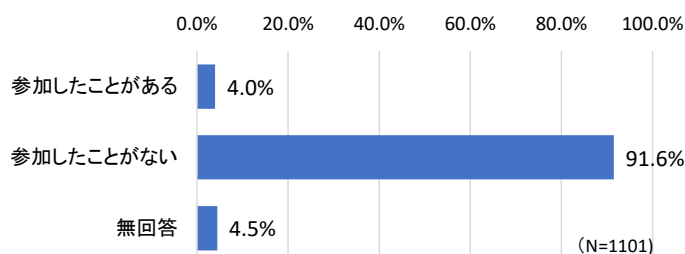
■問 5-1

市民のみなさんが関心を持つことがまちづくりの出発点です。それは環境や景観のまちづくりについても同じです。

- ・ あなたは景観のまちづくりに関心がありますか。



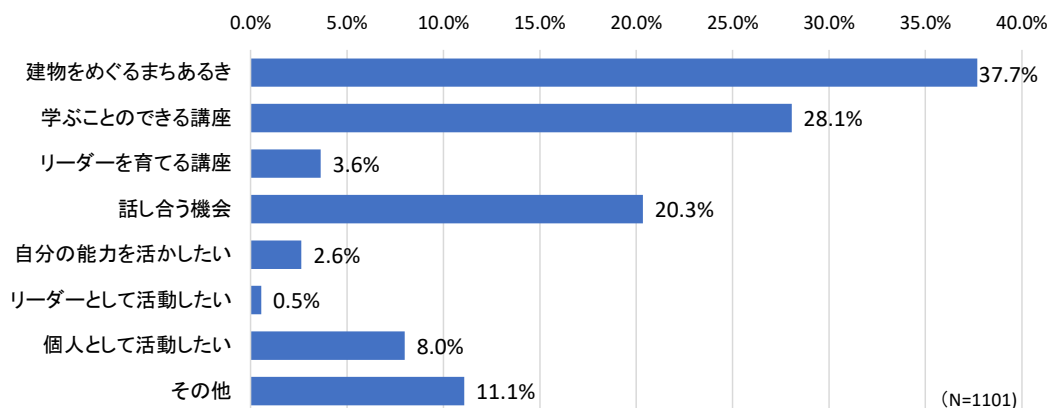
- ・ あなたは景観のまちづくりに関する催しに参加したことがありますか。



- ・ 「関心がある」と回答した人が全体の約 72%になっています。
- ・ また、参加の有無に対し「参加したことがない」と回答した人が全体の約 92%という結果になっています。

■問 5-2

あなたが参加したいと思う催しを教えてください。(複数回答)

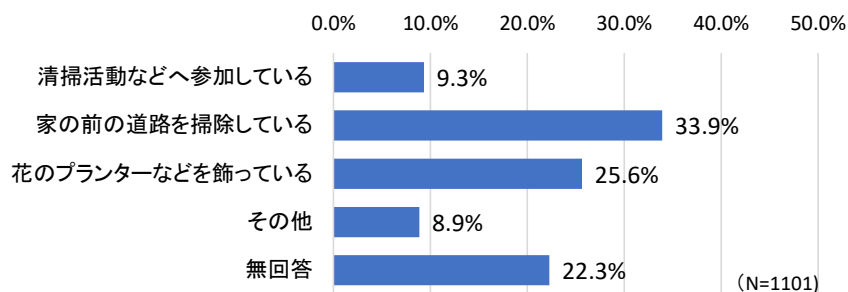


- ・ 「建物をめぐるまちあるき」の約 38%が最も多く、ついで「学ぶことのできる講座」の約 28%、「話し合う機会」の約 20%となっています。

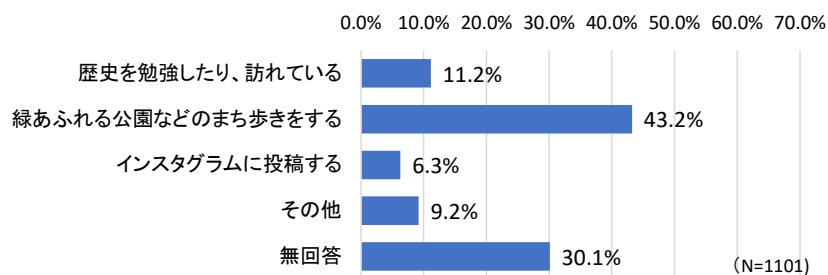
■問6

普段、お住まいの地域の環境や景観に関連して取り組んでいることはありますか。
(複数回答)

- ・ 美化や整頓・清掃



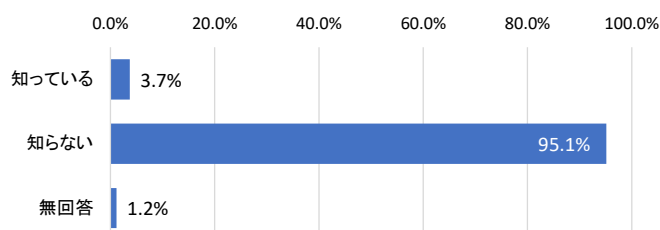
- ・ 観察や発信・情報拡散



- ・ 美化や整頓・清掃に対し「家の前の道路を掃除している」と回答した人が全体の約34%になっています。
- ・ 観察や発信・情報拡散について「緑あふれる公園などのまち歩きをする」と回答した人が全体の約43%になっています。

■問 7-1

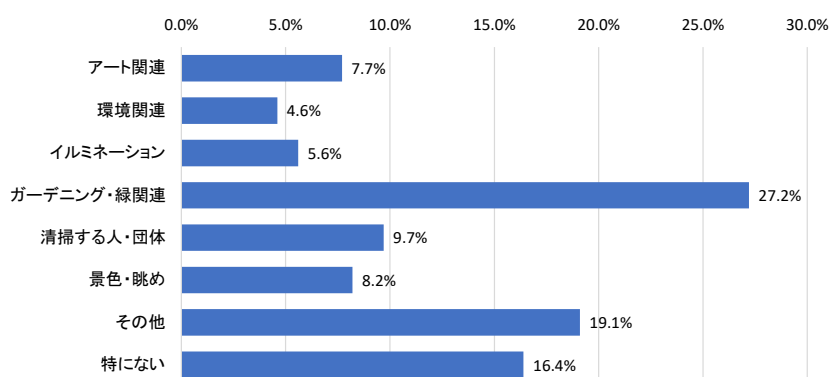
吹田市では、魅力あるまちなみの形成に貢献する建物や活動を表彰する、「吹田市都市景観賞(いいでしょこのまち賞)」を実施しています。これまでに平成 12、14、21 年度に計 3 回実施しました。今後、第 4 回目の企画を検討しています。あなたはこの景観賞をご存知ですか。



・「知らない」と回答した人が全体の約 95%を占め、知名度が低い結果となっています。

■問 7-2

現在の吹田市の景観賞(「まちなみ部門」「はぐくみ部門」)の他に、表彰すべきものとして、どのようなものがありますか。

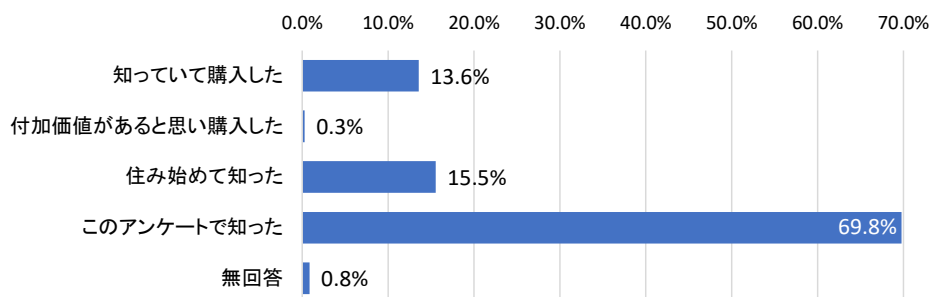


・「ガーデニング・緑関連」と回答した人が全体の約 27%となっており、ついで「清掃する人・団体」、「景色・眺め」がつづいています。

参考1 アンケート調査結果について

■問9

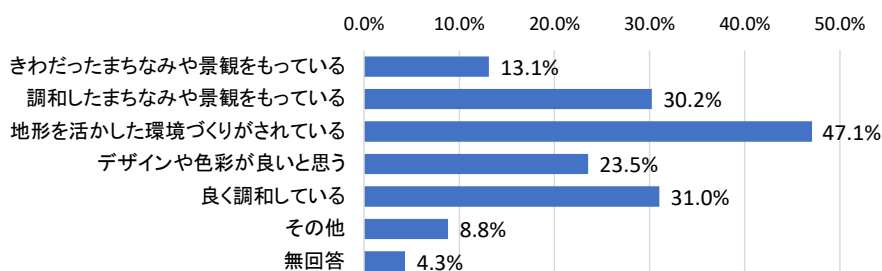
あなたがお住まいの地区は、重点的に景観まちづくりに取り組む「重点地区」((景観形成地区))に指定されています。あなたはこのことをご存じでしたか。



・「このアンケートで知った」と回答した人が全体の約 70%と最も多くなっており、ついで「住み始めて知った」、「知っていて購入した」がつついています。

■問10

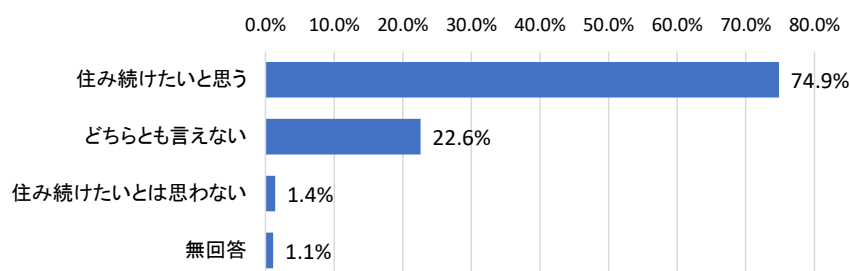
あなたがお住まいの地区のまちなみや景観について、どのように感じていますか。
(複数回答)



・「地形を活かした環境づくりがされている」と回答した人が約 47%となっており、ついで「良く調和している」、「調和したまちなみや景観をもっている」がつついています。

■問11

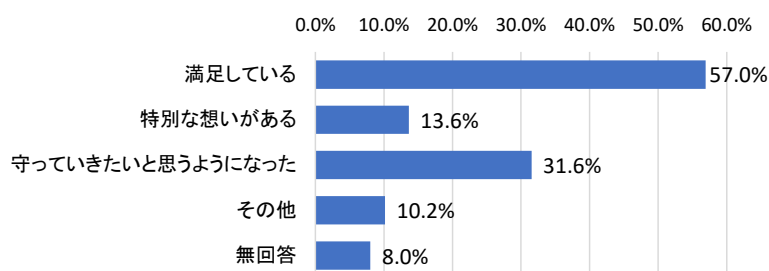
これからも重点地区に住み続けたいと思いますか。



・「住み続けたいと思う」と回答した人が全体の約 75%となっており、多くの人が住み続ける意向を示しています。

■問12

「重点地区」(景観形成地区)の特徴や役割について、あなたはどのように考えていますか。
(複数回答)



・「満足している」と回答した人が全体の約 57%となっており、ついで「守っていきたいと思うようになった」、「特別な想いがある」がつづいています。

■アンケート調査結果の計画への反映

- 本市は、様々な景観上の特性を有する地域で構成されていますが、市民からはこれらの特性を大切なものと捉えられています（問 1-1、1-2）。そこで、本計画では、地形や歴史、土地利用、都市活動・暮らしの観点でまとまりある地域を「景域」として設定し、それぞれの景域ごとに景観まちづくり方針を設定することとしました。
- 多くの市民の方が景観まちづくりに関心を持っていますが、具体的な催しなどに参加したことのある人が少ない状況です（問 5-1）。そこで、本計画において、景観まちづくりとは、市民などが日常生活の中における「小さな取組」を通じて実現できることを明示し、市民一人一人の景観への取組を誘導する内容をまとめています。

参考2 審議会等名簿

(1)吹田市景観まちづくり審議会

令和元年(2019年度)	区分	役割	氏名	役職
令和元年(2019年度)	学識経験者	会長	鳴海 邦碩	大阪大学名誉教授
		副会長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			上甫木 昭春	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
	関係機関		野間 隆康	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部長
			加藤 幸男	吹田商工会議所議員
			矢倉 マヤ	大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課課長補佐
	令和2年(2020年度)	区分	役割	氏名
令和2年(2020年度)	学識経験者	会長	鳴海 邦碩	大阪大学名誉教授
		副会長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			上甫木 昭春	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授 大阪府立大学名誉教授
			木多 彩子	摂南大学理工学部建築学科教授
			長町 志穂	株式会社 LEM 空間工房代表取締役 京都芸術大学環境デザイン学科客員教授 大阪大学大学院非常勤講師
	関係機関		佐藤 勝紀	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部長
			加藤 幸男	吹田商工会議所議員
			谷田 公宏	大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課課長補佐
			高見 徹	大阪屋外広告美術協同組合理事長
	市民		濱田 政夫	
		中村 孝之		
令和3年(2021年度)	区分	役割	氏名	役職
令和3年(2021年度)	学識経験者	会長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
		副会長	上甫木 昭春	大阪府立大学名誉教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			高原 浩之	株式会社 HTA デザイン事務所代表取締役
			長町 志穂	株式会社 LEM 空間工房代表取締役 京都芸術大学環境デザイン学科客員教授 大阪大学大学院非常勤講師
			若本 和仁	大阪大学大学院工学研究科准教授
	関係機関		長谷川 晋一	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部企画課長
			加藤 幸男	吹田商工会議所常議員
			谷田 公宏	大阪府建築部建築指導室建築企画課課長補佐
			松田 政幸	大阪屋外広告美術協同組合理事長
	市民		島本 恵司	
		中村 孝之		

参考2 審議会等名簿

(2)吹田市景観アドバイザー

氏名	役職
藤本 英子	京都市立芸術大学美術学部教授
藤崎 浩治	風景保全研究会代表
若本 和仁	大阪大学大学院工学研究科准教授

(3)吹田市まちづくり検討委員会

役割	委員	役割	委員	役割	委員
委員長	副市長	委員	行政経営部長	委員	下水道部長
副委員長	副市長		環境部長		学校教育部長
委員	危機管理監		都市計画部長		都市魅力部長
	総務部長		土木部長		消防長

(4)まちづくり検討委員会景観専門部会

役割	委員	役割	委員	
部会長	都市計画部 都市計画室 室長	委員	都市計画部 住宅政策室 参事	
職務 代理者			都市計画部 都市計画室 参事	都市計画部 資産経営室 参事
委員	総務部 総務室 参事		土木部	総務交通部 参事
	行政経営部 企画財政室 参事			道路室 参事
	市民部 市民自治推進室 参事			公園みどり室 参事
	都市魅力部			地域経済振興室 参事
			シティ°PE-ション推進室 参事	下水道部
	文化スペース推進室 参事		管路保全室 参事	
	健康医療部 健康まちづくり室 参事		水再生室 参事	
	環境部		環境政策室 参事	学校教育部
		環境保全指導課 課長	地域教育部	まなびの支援課 課長
		事業課 課長		文化財保護課 課長
都市計画部	計画調整室 参事	消防本部	総務予防室 参事	
	開発審査室 参事			

参考3 景観まちづくり計画改定の検討過程

令和元年度(2019年度)	
委員会等	時期
吹田市景観まちづくり審議会	令和元年6月21日
吹田市景観まちづくり審議会	令和元年11月1日
吹田市景観アドバイザー会議	令和元年11月13日
吹田市景観アドバイザー会議	令和2年1月28日
吹田市まちづくり検討委員会	令和2年1月29日
吹田市景観まちづくり審議会	令和2年3月24日
吹田市景観アドバイザー会議	令和2年3月26日

令和2年度(2020年度)	
委員会等	時期
まちづくり検討委員会景観専門部会(書面開催)	令和3年3月11日
吹田市景観まちづくり審議会	令和3年3月22日
吹田市まちづくり検討委員会	令和3年3月24日

令和3年度(2021年度)	
委員会等	時期
吹田市景観アドバイザー会議	令和3年5月25日
まちづくり検討委員会景観専門部会	令和3年6月29日
吹田市まちづくり検討委員会	令和3年7月15日
吹田市景観まちづくり審議会	令和3年7月27日
吹田市景観アドバイザー会議	令和3年8月24日
吹田市景観アドバイザー会議	令和3年9月14日
吹田市景観アドバイザー会議	令和3年9月28日
吹田市景観アドバイザー会議	令和3年10月15日
まちづくり検討委員会景観専門部会	令和3年10月12日
吹田市まちづくり検討委員会	令和3年11月4日
吹田市景観まちづくり審議会	令和3年11月9日
パブリックコメント	令和3年12月10日 ～令和4年1月17日
吹田市景観まちづくり審議会	令和4年2月7日

吹田市景観まちづくり計画

令和4年(2022年)4月

■ 発行

吹田市 都市計画部 都市計画室

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL:06-6384-1968 / FAX:06-6368-9901

MAIL:toshikei@city.suita.osaka.jp